

平成30年度全国学力・学習状況調査結果 分析報告書

平成30年11月
三重県教育委員会

目 次

| | |
|--|----|
| 平成 30 年度全国学力・学習状況調査の結果・分析について | 1 |
| 調査の概要 | 2 |
| 第 1 章 三重県全体概況 | |
| 1 教科に関する調査結果の概要 | |
| 平均正答率 | 3 |
| 平均無解答率 | 4 |
| 2 児童生徒・学校質問紙調査結果の概要 | |
| 児童生徒質問紙調査結果の概要 | |
| (1) 生活習慣の状況 | 5 |
| (2) 自尊感情・自己肯定感等、規範意識 | 6 |
| (3) 学習に対する意欲 | 8 |
| (4) 学習習慣・読書習慣 | 9 |
| (5) 地域との関わり | 10 |
| 学校質問紙調査結果の概要 | |
| (1) 学校での組織的な取組 | 11 |
| (2) 全国学力・学習状況調査等を活用した取組 | 13 |
| (3) 個に応じた指導 | 14 |
| (4) 家庭・地域との連携 | 15 |
| 3 平成 27 年度小学校第 6 学年、平成 30 年度中学校第 3 学年の同一児童生徒の調査結果の概要 | |
| 平均正答率・平均無解答率 | 16 |
| 領域、観点、問題形式別分析 | 17 |
| 「みえの学力向上県民運動」主な関連指標 | 18 |
| 第 2 章 教科に関する調査結果の分析 | |
| 1 小学校 | |
| 平均正答率による学校の分布 | 20 |
| 各教科の学力層 | 21 |
| 領域、観点、問題形式別分析 | 22 |
| 2 中学校 | |
| 平均正答率による学校の分布 | 23 |
| 各教科の学力層 | 24 |
| 領域、観点、問題形式別分析 | 25 |
| 3 改善の見られた設問と課題の見られた設問（経年的な課題） | 26 |
| 第 3 章 質問紙調査結果の分析 | |
| 1 児童生徒の自尊感情・自己肯定感等、学習に対する興味・関心に関する状況 | 32 |
| 2 児童生徒の放課後の過ごし方に関する状況 | 37 |
| 3 児童生徒の家の人との対話に関する状況 | 37 |
| 4 児童生徒の家庭学習に関する状況 | 38 |
| 5 児童生徒の読書習慣に関する状況 | 40 |
| 6 主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善に関する状況 | 41 |
| 7 学校の組織的な取組に関する状況 | 43 |
| 8 地域との関わりに関する状況 | 44 |
| 9 学校と児童生徒との意識の差の状況 | 45 |

| | |
|---|---|
| 第4章 県内の取組 | |
| 1 | 三重県と全国を取組の比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46 |
| 2 | 家庭・地域との連携（コミュニティ・スクール、学校支援地域本部）・・・・・・ 48 |
| 3 | 学校の取組事例 |
| | わからないことから出発し、一人ひとりの「わかった」「できた」に〔四日市市立保々小学校〕・ 49 |
| | 朝と昼の学習を活用した基礎基本の定着の徹底〔津市立敬和小学校〕・・・・ 50 |
| | 学び合いを大切にす習熟度別少人数指導の実践〔東員町立神田小学校〕・・ 51 |
| | 生徒の主体的な学びにつなげる習熟度別指導の実践〔伊勢市立二見中学校〕・・ 52 |
| | 家庭・地域との協力による基礎基本の定着を図る取組〔亀山市立神辺小学校〕・・ 53 |
| | 子どもたちが自ら本を手に取りたくなる読書活動の取組〔御浜町〕・・・・・・ 54 |
| 第5章 「みえの学力向上県民運動」主な関連指標（三重県の経年比較）・・・・・・ 55 | |
| 第6章 今後の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59 | |
| 第7章 市町等別調査結果・分析と今後の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61 | |
| 参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62 | |

| |
|---|
| 用語の説明 |
| みえの学力向上県民運動セカンドステージとは |
| <p>三重県・三重県教育委員会では、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を認識し、教育力を高めながら一体となって子どもたちの学力を育んでいくため、平成24年度からみえの学力向上県民運動を展開してきました。平成27年度末の総括において、当運動を一層充実発展させることとし、平成28年度からの4年間を「みえの学力向上県民運動セカンドステージ」と位置付け展開しています。セカンドステージでは、学校では授業改善等の取組を深め、家庭・地域では生活習慣・学習習慣・読書習慣の確立等の取組を広げ、家庭の状況により、対応が難しい問題については、地域による学習支援や居場所づくりなどにより、地域で支えるという方向性を基本としながら取組を進めています。</p> <p>子どもたちの希望と未来を支える学力を育んでいくため、教育関係者のみならず、全ての県民が教育の当事者としての自覚を持ち、それぞれの役割を果たし、子どもたちと向き合っていきます。</p> |
| 肯定的な回答とは |
| <p>質問紙調査の項目の多くは、4段階の選択肢の形式で回答するものです。それらの項目において、上位の選択肢番号1と2を、「肯定的な回答」としています。例えば、「自分には、よいところがあると思う」の選択肢「1.当てはまる」「2.どちらかといえば、当てはまる」「3.どちらかといえば、当てはまらない」「4.当てはまらない」で、肯定的な回答とは、「1.当てはまる」「2.どちらかといえば、当てはまる」と回答したものを指します。</p> |
| A層、B層、C層、D層とは |
| <p>本調査の集計対象となった児童生徒全員の正答数分布の状況から四分位により分類し、正答数の高い順に、学力層A（A層）、学力層B（B層）、学力層C（C層）、学力層D（D層）としたものです。例えば、小学校国語Aでは、A層には17問以上正答した児童、B層には15問から16問正答した児童、C層には13問から14問正答した児童、D層には12問以下正答した児童が分類されます。</p> |
| P D C A サイクルとは |
| <p>「P D C A サイクル」は、P l a n（計画）、D o（実行）、C h e c k（評価）、A c t i o n（見直し）の頭文字を取ったもので、児童生徒の学力の向上という目標に対して、学校が指導計画を作成し（P）、その指導計画に基づいた授業改善を実践し（D）、児童生徒が目標どおりの変容をしたかを評価（C）、取組全体を見直す（A）という一連のサイクルをいいます。</p> |

平成 30 年度全国学力・学習状況調査の結果・分析について

三重県教育委員会

平成 30 年 11 月

平成 30 年 4 月に実施された「平成 30 年度全国学力・学習状況調査」の結果が、7 月 31 日に文部科学省から公表されました。

本県では、全国の平均正答率を上回ったのは、10 教科中 1 教科（中学校数学 A）にとどまりましたが、小学校では、昨年度に比べ「国語 A」「算数 A」で全国の平均正答率との差が縮まり、中学校では、小学校 6 年生時と比べ「国語 A」「数学 A」「理科」で全国の平均正答率との差が縮まりました。

また、児童生徒質問紙調査からは、「自分には、よいところがある」と回答している児童生徒の割合が増えていること、「新しい問題を解いてみたい・できるようになりたい」と回答している児童生徒の割合や地域と積極的に関わっている児童生徒の割合が全国に比べ高いことから、たくさんの大人に見守られる中で子どもたちの自尊感情や、やる気が育まれていることがうかがえます。このことは、市町等教育委員会と学校とが、家庭・地域と連携し、取組を進められたことによるものだと考えます。

一方、小学校国語・算数、中学校数学の活用力を問う B 問題で全国との差が広がるとともに、経年的な課題である「文章を正確に読み取り考えを書くこと」（国語）や「割合・図形」（算数・数学）について改善につなげることができませんでした。これまで様々な取組を進めるなかで、子どもたちの学習内容の理解・定着状況を確認することが不十分であったと考えます。

今回の結果をふまえ、各学校においては、学習内容の理解・定着状況を確認するための取組や経年的な課題の改善に向けた取組を進めることが、また、家庭・地域においては、引き続き課題である生活習慣・学習習慣・読書習慣の確立に向けた取組を広げていくことが大切です。

子どもたちの学力が向上することは、自尊感情・自己肯定感やチャレンジする力を高め、将来の夢を実現するための可能性や選択肢を広げることにつながります。私たち大人一人ひとは、子どもたちのために、そのやる気や頑張りに応じていく必要があります。

現在、みえの子どもたちの夢や希望をかなえる学力を育てていくため、県・市町等教育委員会、学校・家庭・地域が一体となって「みえの学力向上県民運動セカンドステージ」に取り組んでいます。子どもたちの豊かな未来の実現に向け、引き続き県民の皆様方の御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

～全ては「子どもたちの笑顔」のために～

※調査結果の取扱いについては、文部科学省が示す実施要領における「5（5）調査結果の取扱いに関する配慮事項」をご覧ください。（P. 61 に抜粋して掲載しています。）

調査の概要

以下、1～4については、文部科学省が示す「平成30年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」に基づきます。

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象学年

- ・小学校第6学年及び中学校第3学年の原則として全児童生徒を対象とする。
- ・特別支援学校小学部第6学年及び中学部第3学年の原則として全児童生徒を対象とする。
- ・ただし、特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。
 - (1) 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
 - (2) 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

| A：主として「知識」に関する問題 | B：主として「活用」に関する問題 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など | <ul style="list-style-type: none">・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 など |

※理科については、「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」を一体的に問う。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

| 児童生徒に対する調査 | 学校に対する調査 |
|------------------------------|------------------------------------|
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 |

4 調査実施日

平成30年4月17日（火）

5 調査を実施した学校、児童生徒数〔三重県：公立〕

【小学校調査】

| | 対象学校数 | 実施学校数(実施率) | 児童数 |
|-----|-------|--------------|----------|
| 小学校 | 356 | 356 (100.0%) | 約15,900人 |

※学校数には、義務教育学校前期課程、県立特別支援学校を含む。

【中学校調査】

| | 対象学校数 | 実施学校数(実施率) | 生徒数 |
|-----|-------|--------------|----------|
| 中学校 | 158 | 158 (100.0%) | 約15,600人 |

※学校数には、義務教育学校後期課程、県立特別支援学校を含む。

第1章 三重県全体概況

1 教科に関する調査結果の概要

【関連：第2章 P.20～】【参考資料：P.62～】

平均正答率

○10教科中9教科で全国の平均正答率を下回りました。中学校では数学Aで全国の平均正答率を上回りました。

昨年度と比べ、小学校では、国語A、算数Aで全国の平均正答率との差が縮まり、国語Aはこれまでで最も改善が図られました。中学校では、数学Aで全国の平均正答率を上回りました。また、小中学校ともに平成27年度と比べ、理科で全国の平均正答率との差が縮まりました。

一方で、昨年度と比べ、小学校では国語B、算数Bで全国の平均正答率との差が広がりました。中学校では、国語A、数学Bで全国の平均正答率との差が広がりました。

| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|-----|-----|----------------|------|------------------|------|-----------------|------|-----------------|------|
| | | 平均正答率 | | 平均正答率 | | 平均正答率 | | 平均正答率 | |
| | | 全国 | 三重県 | 全国 | 三重県 | 全国 | 三重県 | 全国 | 三重県 |
| 小学校 | 国語A | 70.0 <-2.0> | 68.0 | 72.9 <-1.2> | 71.7 | 74.8 <-1.2> | 73.6 | 70.7 ◎<-0.6> | 70.1 |
| | 国語B | 65.4 <-0.1> | 65.3 | 57.8 ◎<+0.3>* | 58.1 | 57.5 <-0.5> | 57.0 | 54.7 <-1.1> | 53.6 |
| | 算数A | 75.2 <-0.4> | 74.8 | 77.6 ◎<+0.7>* | 78.3 | 78.6 <-1.2> | 77.4 | 63.5 <-0.7> | 62.8 |
| | 算数B | 45.0 <-0.9> | 44.1 | 47.2 ◎<-0.1> | 47.1 | 45.9 <-1.3> | 44.6 | 51.5 <-1.4> | 50.1 |
| | 理科 | 60.8 <-1.6> | 59.2 | | | | | 60.3 ◎<-1.5> | 58.8 |
| 中学校 | 国語A | 75.8 <-0.8> | 75.0 | 75.6 <-1.2> | 74.4 | 77.4 <-0.5> | 76.9 | 76.1 <-0.8> | 75.3 |
| | 国語B | 65.8 <-1.5> | 64.3 | 66.5 <-2.2> | 64.3 | 72.2 <-1.5> | 70.7 | 61.2 <-1.5> | 59.7 |
| | 数学A | 64.4 <-0.1> | 64.3 | 62.2 <0.0> | 62.2 | 64.6 <+0.7>* | 65.3 | 66.1 <+0.5>* | 66.6 |
| | 数学B | 41.6 <-1.0> | 40.6 | 44.1 <-0.9> | 43.2 | 48.1 <-0.8> | 47.3 | 46.9 <-1.2> | 45.7 |
| | 理科 | 53.0 <-1.1> | 51.9 | | | | | 66.1 ◎<-0.1> | 66.0 |

※< >内の数値は、（三重県の平均正答率）－（全国の平均正答率）の値を示し、全国の平均正答率との差において、

◎：11回（平成19年度以降）の中で最も良かった値 *：全国の平均正答率より良かった値

右上がりの矢印：昨年度から改善された場合 右下がりの矢印：昨年度から改善されていない場合を示しています。

平均無解答率

○10教科中6教科（小学校：国語A、算数A、中学校：国語A、数学A、数学B、理科）で、全国の平均無解答率を下回りました。（全国よりも良好な水準）

小学校では、国語A、算数Aで全国の平均無解答率を下回り、両教科ともこれまでで最も改善が図られました。中学校では、国語Bを除く4教科で全国の平均無解答率を下回り、数学Bはこれまでで最も改善が図られました。

| | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|-----|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|------|
| | | 平均無解答率 | | 平均無解答率 | | 平均無解答率 | | 平均無解答率 | |
| | | 全国 | 三重県 | 全国 | 三重県 | 全国 | 三重県 | 全国 | 三重県 |
| 小学校 | 国語A | 3.56 | 3.34 | 5.29 | 5.05 | 2.77 | 2.26 | 3.51 | 2.98 |
| | | <-0.22>* | | <-0.24>* | | <-0.51>* → | | ◎<-0.53>* ← | |
| | 国語B | 6.09 | 6.11 | 4.62 | 4.38 | 4.31 | 4.32 | 3.76 | 3.89 |
| | | <0.02> | | ◎<-0.24>* ← | | <0.01> | | <0.13> | |
| | 算数A | 1.79 | 1.66 | 1.79 | 1.48 | 1.59 | 1.44 | 2.48 | 2.03 |
| | <-0.13>* → | | <-0.31>* → | | <-0.15>* → | | ◎<-0.45>* ← | | |
| 算数B | 9.12 | 9.64 | 7.37 | 7.08 | 6.42 | 6.64 | 7.93 | 8.26 | |
| | <0.52> | | ◎<-0.29>* ← | | <0.22> | | ↑<0.33> | | |
| 理科 | 3.21 | 3.26 | | | | | 1.21 | 1.23 | |
| | <0.05> | | | | | | ◎<0.02> | | |
| 中学校 | 国語A | 2.57 | 2.40 | 2.05 | 1.92 | 2.43 | 2.01 | 3.15 | 2.89 |
| | | <-0.17>* → | | <-0.13>* → | | ◎<-0.42>* → | | ↑<-0.26>* ← | |
| | 国語B | 2.23 | 2.29 | 4.39 | 4.46 | 3.80 | 3.72 | 3.01 | 3.01 |
| | | <0.06> | | <0.07> | | ◎<-0.08>* → | | ↑<0.00> | |
| | 数学A | 3.72 | 3.24 | 6.30 | 5.62 | 6.25 | 5.39 | 3.28 | 2.84 |
| | <-0.48>* → | | <-0.68>* → | | ◎<-0.86>* → | | ↑<-0.44>* ← | | |
| 数学B | 15.34 | 14.85 | 14.69 | 13.95 | 11.71 | 10.95 | 12.61 | 11.55 | |
| | <-0.49>* → | | <-0.74>* → | | <-0.76>* → | | ↑◎<-1.06>* ← | | |
| 理科 | 6.98 | 6.70 | | | | | 5.04 | 4.96 | |
| | ◎<-0.28>* → | | | | | | <-0.08>* → | | |

※< >内の数値は、（三重県の平均無解答率）-（全国平均無解答率）の値を示し、全国平均無解答率との差において、
 ◎：11回（平成19年度以降）の中で最も良かった値 *：全国平均より良かった値
 右下がりの矢印：昨年度から改善された場合 右上がりの矢印：昨年度から改善されていない場合
 を示しています。

◆◆児童生徒質問紙調査結果の概要◆◆

(1) 生活習慣の状況

○「家の人と学校での出来事について話をしますか」との質問に、肯定的に回答した児童生徒（小中学生）の割合は、昨年度より増加していますが、全国平均を下回る状況が続いています。

○放課後に家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている児童生徒の割合は、昨年度より増加し、8割を超える状況です。

※表の（ ）の数値は、全国平均との差を示します。

| 項目 | 結果 | | | | |
|------------------------------------|--|---|------------|------------|------------|
| ・家の人との対話(学校での出来事について) 【児童生徒質問紙】 | <肯定的な回答> | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 児童質問紙(小) | 78.6(-0.9) | 78.2(-1.0) | 77.6(-0.5) | 80.0(-0.5) |
| | 生徒質問紙(中) | 73.4(-0.3) | 73.7(-0.4) | 74.0(-0.3) | 75.4(-0.6) |
| | ・肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度より増加し、過去4年間の中で最も高い状況である。しかし、全国を下回る状況が続いている。 | | | | |
| ・放課後の過ごし方 【児童生徒質問紙】 | <選択回答(当てはまるもの全てを選択)> | | | | |
| | | 選択肢 | H29 | H30 | |
| | 児童質問紙(小) | 1: 家で勉強や読書をしている | 58.0(-2.9) | 60.8(-3.3) | |
| | | 2: 放課後子ども教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している | 6.4(0.2) | 7.3(0.3) | |
| | | 3: 地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民等による学習・体験プログラムを含む) | 3.0(-0.3) | 5.8(-0.3) | |
| | | 4: 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している | 30.9(1.3) | 33.0(0.8) | |
| | | 5: 習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている | 47.8(5.4) | 50.7(4.2) | |
| | | 6: スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている | 43.2(-1.9) | 47.0(-0.2) | |
| | | 7: 家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている | 74.7(2.1) | 83.0(2.0) | |
| | | 8: 家族と過ごしている | 63.1(1.4) | 68.6(1.5) | |
| | | 9: 友達と遊んでいる | 74.8(3.1) | 78.0(3.5) | |
| | 生徒質問紙(中) | 1: 学校の部活動に参加している | 88.0(6.2) | 88.0(5.8) | |
| | | 2: 家で勉強や読書をしている | 37.2(-2.2) | 40.6(-1.6) | |
| | | 3: 地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民等による学習・体験プログラムを含む) | 1.6(0.1) | 2.7(0.4) | |
| | | 4: 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している | 42.7(2.7) | 44.7(2.6) | |
| | | 5: 習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている | 17.4(2.3) | 20.4(2.7) | |
| | | 6: スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている | 19.7(1.3) | 22.2(0.6) | |
| | | 7: 家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている | 71.5(2.7) | 80.3(3.0) | |
| | | 8: 家族と過ごしている | 47.4(3.2) | 53.5(3.3) | |
| 9: 友達と遊んでいる | | 36.8(3.4) | 42.7(5.8) | | |
| | ・「家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている」と回答した児童(小学生)の割合は、全ての項目の中で最も高い。(生徒(中学生)の割合は、「学校の部活動に参加している」に次いで高い。) | | | | |
| | ・全国平均を3ポイント以上上回る項目は、児童では<習い事><友達と遊ぶ>で、生徒では<部活動><テレビ、ゲーム、インターネット><家族と過ごす><友達と遊ぶ>である。 | | | | |

(2) 自尊感情・自己肯定感等、規範意識

○「自分には、よいところがあると思いますか」との質問に、肯定的に回答した児童生徒の割合は、増加傾向が見られ、生徒の割合は、全国平均を上回る状況が続いています。

○「将来の夢や目標を持っていますか」との質問に、肯定的に回答した児童の割合は8割を超えており、生徒の割合は7割を超えています。しかし、児童の割合は、全国平均を下回る状況が続いています。

※表の()の数值は、全国平均との差を示します。また[]の数值は、全国の数值を示します。

| 項目 | 結果 | | | | |
|---|--|---------------|---------------|---------------|---------------|
| ・自分には、よいところがある 【児童生徒質問紙】 | <肯定的な回答> | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 児童質問紙(小) | 75.1 (-1.3) | 75.5 (-0.8) | 77.4 (-0.5) | 83.4 (-0.6) |
| | 生徒質問紙(中) | 69.4 (1.3) | 71.3 (2.0) | 73.2 (2.5) | 79.9 (1.1) |
| | ・肯定的に回答した児童生徒の割合は、増加傾向が見られ、過去4年間の中で最も高い状況である。 ・児童の割合は、全国平均を下回る状況が続いており、生徒の割合は、全国平均を上回る状況が続いている。 | | | | |
| ・先生はよいところを認めてくれる 【児童生徒質問紙】 ・学校生活の中で子どもたち一人ひとりのよい点や可能性を見付け、評価する取組 【学校質問紙】 | <肯定的な回答及び乖離(小学校)> | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 児童質問紙 | — | 83.8(1.2) | 87.2(1.2) | 86.4(1.1) |
| | 学校質問紙 | 97.6(0.9) | 99.4(1.0) | 98.1(0.7) | 99.4(0.4) |
| | 乖離 | — | -15.6[-15.8] | -10.9[-11.4] | -13.0[-13.7] |
| | <肯定的な回答及び乖離(中学校)> | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 生徒質問紙 | — | 79.6(1.6) | 82.2(1.8) | 84.2(2.0) |
| 学校質問紙 | 99.4(3.6) | 98.8(1.6) | 96.8(1.3) | 99.4(1.5) | |
| 乖離 | — | -19.2[-19.2] | -14.6[-15.1] | -15.2[-15.7] | |
| | ・肯定的に回答した生徒の割合は、増加傾向が見られる。 ・児童生徒の割合は、全国平均を上回る状況が続いている。 | | | | |
| ・将来の夢や目標を持っている 【児童生徒質問紙】 ・将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導 【学校質問紙】 | <肯定的な回答(小学校)> | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 児童質問紙 | 85.3 (-1.2) | 83.7 (-1.6) | 84.4 (-1.5) | 83.7 (-1.4) |
| | 学校質問紙 | 68.4 (-4.0) | 77.7 (3.1) | 73.6 (-2.1) | 84.0 (0.7) |
| | 乖離 | 16.9 [14.1] | 6.0 [10.7] | 10.8 [10.2] | -0.3 [1.8] |
| | <肯定的な回答(中学校)> | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 生徒質問紙 | 71.7 (0.0) | 71.0 (-0.1) | 71.2 (0.7) | 72.5 (0.1) |
| | 学校質問紙 | 98.2 (1.8) | 97.5 (0.4) | 98.8 (1.3) | 99.4 (1.3) |
| | 乖離 | -26.5 [-24.7] | -26.5 [-26.0] | -27.6 [-27.0] | -26.9 [-26.2] |
| | ・肯定的に回答した児童の割合は8割を超えているが、全国平均を下回る状況が続いている。 ・生徒の割合は、全国平均を上回り、過去4年間の中で最も高い状況であるが、生徒と中学校の意識に20ポイント以上の差がある状況が続いている。 | | | | |

| <p>・学校のきまり（規則）を守っている 【児童生徒質問紙】</p> | <p><肯定的な回答></p> <table border="1" data-bbox="448 226 1450 349"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童質問紙(小)</td> <td>91.0(-0.1)</td> <td>91.8(0.3)</td> <td>92.8(0.2)</td> <td>88.6(-0.9)</td> </tr> <tr> <td>生徒質問紙(中)</td> <td>95.2(0.8)</td> <td>95.9(1.2)</td> <td>96.5(1.3)</td> <td>96.0(0.9)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・肯定的に回答した生徒の割合は、全国平均を上回る状況が続いている。 ・児童の割合は、全国平均を下回る状況となった。</p> | | | | | | H27 | H28 | H29 | H30 | 児童質問紙(小) | 91.0(-0.1) | 91.8(0.3) | 92.8(0.2) | 88.6(-0.9) | 生徒質問紙(中) | 95.2(0.8) | 95.9(1.2) | 96.5(1.3) | 96.0(0.9) |
|---|--|-----------|-----------|------------|--|--|-----|-----|-----|-----|----------|------------|-----------|-----------|------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | H27 | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童質問紙(小) | 91.0(-0.1) | 91.8(0.3) | 92.8(0.2) | 88.6(-0.9) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒質問紙(中) | 95.2(0.8) | 95.9(1.2) | 96.5(1.3) | 96.0(0.9) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う 【児童生徒質問紙】</p> | <p><肯定的な回答></p> <table border="1" data-bbox="448 555 1450 678"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童質問紙(小)</td> <td>96.5(0.3)</td> <td>96.8(0.2)</td> <td>96.4(0.3)</td> <td>97.0(0.2)</td> </tr> <tr> <td>生徒質問紙(中)</td> <td>93.9(0.2)</td> <td>94.0(0.4)</td> <td>93.0(0.2)</td> <td>96.2(0.7)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国平均を上回る状況が続き、過去4年間の中で最も高い状況である。</p> | | | | | | H27 | H28 | H29 | H30 | 児童質問紙(小) | 96.5(0.3) | 96.8(0.2) | 96.4(0.3) | 97.0(0.2) | 生徒質問紙(中) | 93.9(0.2) | 94.0(0.4) | 93.0(0.2) | 96.2(0.7) |
| | H27 | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童質問紙(小) | 96.5(0.3) | 96.8(0.2) | 96.4(0.3) | 97.0(0.2) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒質問紙(中) | 93.9(0.2) | 94.0(0.4) | 93.0(0.2) | 96.2(0.7) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>・人の役に立つ人間になりたいと思う 【児童生徒質問紙】</p> | <p><肯定的な回答></p> <table border="1" data-bbox="448 824 1450 947"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童質問紙(小)</td> <td>93.7(0.0)</td> <td>94.5(0.7)</td> <td>92.8(0.3)</td> <td>95.5(0.3)</td> </tr> <tr> <td>生徒質問紙(中)</td> <td>94.1(0.4)</td> <td>93.0(0.2)</td> <td>92.7(0.8)</td> <td>95.5(0.6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国平均を上回る状況が続き、過去4年間の中で最も高い状況である。</p> | | | | | | H27 | H28 | H29 | H30 | 児童質問紙(小) | 93.7(0.0) | 94.5(0.7) | 92.8(0.3) | 95.5(0.3) | 生徒質問紙(中) | 94.1(0.4) | 93.0(0.2) | 92.7(0.8) | 95.5(0.6) |
| | H27 | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童質問紙(小) | 93.7(0.0) | 94.5(0.7) | 92.8(0.3) | 95.5(0.3) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒質問紙(中) | 94.1(0.4) | 93.0(0.2) | 92.7(0.8) | 95.5(0.6) | | | | | | | | | | | | | | | | |

(3) 学習に対する意欲

○「算数の授業で新しい問題を解いてみたい」「数学ができるようになりたい」「算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」との質問に、肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国平均を上回る状況が続いています。

※表の（ ）の数值は、全国平均との差を示します。

| 項目 | 結果 | | | | |
|--|----------|------------|-----------|------------|------------|
| ・算数（数学）の勉強は好き 【児童生徒質問紙】 | ＜肯定的な回答＞ | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 児童質問紙(小) | 64.9(-1.7) | 67.6(1.6) | 66.7(0.8) | 64.9(0.9) |
| | 生徒質問紙(中) | 56.8(0.8) | 59.5(3.5) | 57.7(2.3) | 54.4(0.5) |
| ・肯定的に回答した児童生徒の割合は、平成28年度以降、全国平均を上回る状況が続いている。 | | | | | |
| ・算数の授業で新しい問題を解いてみたい 【児童質問紙】 ・数学ができるようになりたい 【生徒質問紙】 | ＜肯定的な回答＞ | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 児童質問紙(小) | 78.1(0.6) | 78.0(2.2) | 76.8(1.1) | 75.6(1.3) |
| | 生徒質問紙(中) | 92.0(0.5) | 91.9(0.6) | 92.3(1.1) | 93.1(0.6) |
| ・肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国平均を上回る状況が続いている。 ・「数学ができるようになりたい」と肯定的に回答した生徒の割合は9割を超える状況が続き、過去4年間の中で最も高い状況である。 | | | | | |
| ・算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える 【児童生徒質問紙】 | ＜肯定的な回答＞ | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 児童質問紙(小) | 79.7(0.1) | 82.7(1.7) | 82.0(0.9) | 79.2(0.8) |
| | 生徒質問紙(中) | 71.8(2.0) | 75.3(3.2) | 76.2(2.7) | 72.7(2.4) |
| ・肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国平均を上回る状況が続いている。 特に生徒の割合は、全国平均を2ポイント以上上回る状況が続いている。 | | | | | |
| ・算数（数学）の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える 【児童生徒質問紙】 | ＜肯定的な回答＞ | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 児童質問紙(小) | 65.7(-2.0) | 67.8(0.4) | 68.4(-0.7) | 64.3(-0.1) |
| | 生徒質問紙(中) | 39.8(-1.1) | 42.9(1.0) | 45.4(0.1) | 38.2(-0.5) |
| ・肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国平均を下回る状況となった。 | | | | | |
| ・算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ 【児童生徒質問紙】 | ＜肯定的な回答＞ | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 児童質問紙(小) | 90.0(-0.3) | 90.5(0.6) | 89.3(0.2) | 91.2(0.9) |
| | 生徒質問紙(中) | 73.2(0.7) | 73.1(1.6) | 74.3(1.9) | 74.8(1.9) |
| ・肯定的に回答した児童生徒の割合は、平成28年度以降、全国平均を上回る状況が続き、過去4年間の中で最も高い状況である。 | | | | | |

(4) 学習習慣・読書習慣

○「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）どれくらいの時間、勉強しますか」との質問に、「1時間以上する」と回答した児童生徒の割合は、全国平均を下回る状況が続いています。本年度の児童生徒の割合は、ともに全国平均を3ポイント以上下回る状況となりました。

○「学校の授業時間以外に、普段どれくらいの時間、読書をしますか」との質問に、「10分以上する」と回答した児童生徒の割合は、全国平均を下回る状況が続いています。

※表の（ ）の数値は、全国平均との差を示します。

| 項目 | 結果 | | | | |
|--|--------------|------------|------------|------------|------------|
| ・平日の学習時間 （平日1時間以上） 【児童生徒質問紙】 | ＜平日1時間以上と回答＞ | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 児童質問紙(小) | 58.4(-4.3) | 60.4(-2.1) | 61.6(-2.8) | 62.7(-3.5) |
| | 生徒質問紙(中) | 66.5(-2.5) | 65.2(-2.7) | 66.5(-3.1) | 67.5(-3.1) |
| ・「1時間以上する」と回答した児童生徒の割合は、昨年度より増加し、過去4年間の中で最も高い状況であるが、全国平均を下回る状況が続いている。 ・本年度の児童生徒の割合は、ともに全国平均を3ポイント以上下回る状況となった。 | | | | | |
| ・計画的な学習 【児童生徒質問紙】 | ＜肯定的な回答＞ | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 児童質問紙(小) | 60.5(-2.3) | 61.7(-0.5) | 62.8(-1.7) | 67.6(0.0) |
| | 生徒質問紙(中) | 51.0(2.2) | 50.3(1.9) | 54.3(2.8) | 54.8(2.7) |
| ・肯定的に回答した児童生徒の割合は、増加傾向が見られ、過去4年間の中で最も高い状況である。 | | | | | |
| ・宿題をする 【児童生徒質問紙】 | ＜肯定的な回答＞ | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 児童質問紙(小) | 97.3(0.5) | 97.7(0.7) | 97.0(0.1) | 97.8(0.7) |
| | 生徒質問紙(中) | 90.9(1.6) | 91.8(1.7) | 91.7(2.2) | 93.5(1.9) |
| ・肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国平均を上回る状況が続き、過去4年間の中で最も高い状況である。 | | | | | |
| ・授業時間以外の読書時間 （平日10分以上） 【児童生徒質問紙】 | ＜平日10分以上と回答＞ | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 児童質問紙(小) | 61.1(-3.1) | 62.4(-1.1) | 61.8(-1.5) | 64.4(-1.8) |
| | 生徒質問紙(中) | 48.6(-3.6) | 46.4(-3.3) | 47.7(-3.7) | 49.6(-3.9) |
| ・「10分以上する」と回答した児童生徒の割合は、昨年度より増加し、過去4年間の中で最も高い状況であるが、全国平均を下回る状況が続いている。特に生徒の割合は、全国平均を3ポイント以上下回る状況が続いている。 | | | | | |
| ・新聞を読んでいる 【児童生徒質問紙】 | ＜肯定的な回答＞ | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 児童質問紙(小) | 24.2(0.5) | 24.7(0.7) | 21.3(0.3) | 20.4(0.5) |
| | 生徒質問紙(中) | 19.3(0.5) | 19.4(1.1) | 15.6(0.7) | 14.3(0.4) |
| ・肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国平均を上回る状況が続いているが、平成28年度以降、減少傾向が見られる。 | | | | | |

(5) 地域との関わり

○「今住んでいる地域の行事に参加していますか」との質問に、肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国平均を上回る（4ポイント以上）状況が続いています。

○一方で、「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」との質問に、肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国平均を下回る状況が続いています。

※表の（ ）の数値は、全国平均との差を示します。

| 項目 | 結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|------------|------------|------------|--|-----|-----|----------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|
| ・地域のことを調べたり、地域の人との関わったりする機会がある 【児童生徒質問紙】 | <肯定的な回答> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">H29</th> <th style="text-align: center;">H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童質問紙(小)</td> <td style="text-align: center;">72.4(2.2)</td> <td style="text-align: center;">74.9(0.5)</td> </tr> <tr> <td>生徒質問紙(中)</td> <td style="text-align: center;">55.0(1.3)</td> <td style="text-align: center;">68.5(-0.2)</td> </tr> </tbody> </table> ・肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度より増加しているが、生徒の割合は、全国平均を下回る状況となった。 | | | | | H29 | H30 | 児童質問紙(小) | 72.4(2.2) | 74.9(0.5) | 生徒質問紙(中) | 55.0(1.3) | 68.5(-0.2) | | | | | | |
| | H29 | H30 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童質問紙(小) | 72.4(2.2) | 74.9(0.5) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒質問紙(中) | 55.0(1.3) | 68.5(-0.2) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・地域行事への参加 【児童生徒質問紙】 | <肯定的な回答> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">H27</th> <th style="text-align: center;">H28</th> <th style="text-align: center;">H29</th> <th style="text-align: center;">H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童質問紙(小)</td> <td style="text-align: center;">72.0(5.1)</td> <td style="text-align: center;">73.1(5.2)</td> <td style="text-align: center;">68.3(5.7)</td> <td style="text-align: center;">66.7(4.0)</td> </tr> <tr> <td>生徒質問紙(中)</td> <td style="text-align: center;">50.7(5.9)</td> <td style="text-align: center;">50.9(5.7)</td> <td style="text-align: center;">47.2(5.1)</td> <td style="text-align: center;">49.6(4.0)</td> </tr> </tbody> </table> ・肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国平均を上回る（4ポイント以上）状況が続いているが、児童の割合は平成28年度以降、減少傾向が見られる。 | | | | | H27 | H28 | H29 | H30 | 児童質問紙(小) | 72.0(5.1) | 73.1(5.2) | 68.3(5.7) | 66.7(4.0) | 生徒質問紙(中) | 50.7(5.9) | 50.9(5.7) | 47.2(5.1) | 49.6(4.0) |
| | H27 | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童質問紙(小) | 72.0(5.1) | 73.1(5.2) | 68.3(5.7) | 66.7(4.0) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒質問紙(中) | 50.7(5.9) | 50.9(5.7) | 47.2(5.1) | 49.6(4.0) | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある 【児童生徒質問紙】 | <肯定的な回答> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">H27</th> <th style="text-align: center;">H28</th> <th style="text-align: center;">H29</th> <th style="text-align: center;">H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童質問紙(小)</td> <td style="text-align: center;">60.9(-3.0)</td> <td style="text-align: center;">71.3(0.7)</td> <td style="text-align: center;">62.0(-1.9)</td> <td style="text-align: center;">62.0(-1.8)</td> </tr> <tr> <td>生徒質問紙(中)</td> <td style="text-align: center;">53.6(-2.3)</td> <td style="text-align: center;">65.9(0.1)</td> <td style="text-align: center;">57.8(-1.4)</td> <td style="text-align: center;">58.5(-0.8)</td> </tr> </tbody> </table> ・肯定的に回答した児童生徒の割合は、平成29年度以降、全国平均を下回る状況が続いている。 | | | | | H27 | H28 | H29 | H30 | 児童質問紙(小) | 60.9(-3.0) | 71.3(0.7) | 62.0(-1.9) | 62.0(-1.8) | 生徒質問紙(中) | 53.6(-2.3) | 65.9(0.1) | 57.8(-1.4) | 58.5(-0.8) |
| | H27 | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童質問紙(小) | 60.9(-3.0) | 71.3(0.7) | 62.0(-1.9) | 62.0(-1.8) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒質問紙(中) | 53.6(-2.3) | 65.9(0.1) | 57.8(-1.4) | 58.5(-0.8) | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考える 【児童生徒質問紙】 | <肯定的な回答> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">H27</th> <th style="text-align: center;">H28</th> <th style="text-align: center;">H29</th> <th style="text-align: center;">H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童質問紙(小)</td> <td style="text-align: center;">41.3(-3.5)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">40.1(-2.2)</td> <td style="text-align: center;">46.0(-3.9)</td> </tr> <tr> <td>生徒質問紙(中)</td> <td style="text-align: center;">30.0(-2.9)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">31.6(-1.8)</td> <td style="text-align: center;">38.0(-0.7)</td> </tr> </tbody> </table> ・肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度より増加している（約6ポイント）が、全国平均を下回る状況が続いている。 | | | | | H27 | H28 | H29 | H30 | 児童質問紙(小) | 41.3(-3.5) | — | 40.1(-2.2) | 46.0(-3.9) | 生徒質問紙(中) | 30.0(-2.9) | — | 31.6(-1.8) | 38.0(-0.7) |
| | H27 | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童質問紙(小) | 41.3(-3.5) | — | 40.1(-2.2) | 46.0(-3.9) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒質問紙(中) | 30.0(-2.9) | — | 31.6(-1.8) | 38.0(-0.7) | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・地域社会などでのボランティア活動に参加 【児童生徒質問紙】 | <肯定的な回答> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">H28</th> <th style="text-align: center;">H29</th> <th style="text-align: center;">H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童質問紙(小)</td> <td style="text-align: center;">30.8(-5.4)</td> <td style="text-align: center;">30.3(-5.1)</td> <td style="text-align: center;">30.8(-5.3)</td> </tr> <tr> <td>生徒質問紙(中)</td> <td style="text-align: center;">45.7(-3.0)</td> <td style="text-align: center;">46.3(-3.4)</td> <td style="text-align: center;">47.7(-4.1)</td> </tr> </tbody> </table> ・肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度より増加しているが、全国平均を下回る状況が続いている。 | | | | | H28 | H29 | H30 | 児童質問紙(小) | 30.8(-5.4) | 30.3(-5.1) | 30.8(-5.3) | 生徒質問紙(中) | 45.7(-3.0) | 46.3(-3.4) | 47.7(-4.1) | | | |
| | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童質問紙(小) | 30.8(-5.4) | 30.3(-5.1) | 30.8(-5.3) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒質問紙(中) | 45.7(-3.0) | 46.3(-3.4) | 47.7(-4.1) | | | | | | | | | | | | | | | | |

◆◆学校質問紙調査結果の概要◆◆

(1) 学校での組織的な取組

○「児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか」との質問に、肯定的に回答した小中学校の割合は、昨年度より増加しています。しかし、「よくしている」と回答した小中学校の割合は、全国平均を下回っている状況です。

※表の()の数値は、全国平均との差を示します。また[]の数値は、全国の数値を示します。

| 項目 | 結果 | | | | |
|--|---|------------|------------|------------|-----------|
| ・児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立 【学校質問紙】 | ＜「よくしている」と回答（トップボックス）＞ | | | | |
| | | H28 | H29 | H30 | |
| | 学校質問紙(小) | 18.3(-7.9) | 20.2(-8.7) | 25.6(-9.2) | |
| | 学校質問紙(中) | 18.9(-4.3) | 18.5(-6.8) | 23.4(-7.3) | |
| | ＜肯定的な回答＞ | | | | |
| | | H28 | H29 | H30 | |
| | 学校質問紙(小) | 86.0(-2.5) | 89.6(-1.9) | 95.5(0.6) | |
| | 学校質問紙(中) | 87.5(1.2) | 84.7(-3.1) | 90.5(-2.6) | |
| | ・肯定的に回答した小中学校の割合は、昨年度より増加している。しかし、「よくしている」と回答した小中学校の割合は、ともに全国平均を下回る状況（本年度は小学校で9ポイント以上、中学校で7ポイント以上）が続いている。 | | | | |
| | ・指導計画の作成に当たって、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列 【学校質問紙】 | ＜肯定的な回答＞ | | | |
| | | H28 | H29 | H30 | |
| 学校質問紙(小) | | 87.1(1.3) | 87.9(1.2) | 95.8(1.1) | |
| 学校質問紙(中) | | 84.9(6.9) | 82.8(4.5) | 89.9(-0.3) | |
| ・肯定的に回答した小中学校の割合は、昨年度より増加している。しかし、中学校の割合は、全国平均を下回る状況となった。 | | | | | |
| ・教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成 【学校質問紙】 | ＜肯定的な回答＞ | | | | |
| | | H28 | H29 | H30 | |
| | 学校質問紙(小) | 83.0(-2.6) | 81.2(-4.6) | 94.4(1.2) | |
| | 学校質問紙(中) | 83.6(5.8) | 82.8(5.3) | 89.2(0.5) | |
| | ・肯定的に回答した小中学校の割合は、昨年度より増加（小学校で13ポイント以上、中学校で6ポイント以上）し、ともに全国平均を上回る状況となった。 | | | | |
| ・模擬授業や事例研究など、実践的な研修を実施 【学校質問紙】 | ＜肯定的な回答＞ | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 学校質問紙(小) | 96.0(0.5) | 94.0(1.2) | 98.1(2.5) | 97.8(1.1) |
| | 学校質問紙(中) | 88.2(0.7) | 88.7(4.5) | 94.3(4.3) | 93.7(2.8) |
| | ・肯定的に回答した小中学校の割合は、昨年度より減少しているが、全国平均を上回る状況が続いている。 | | | | |

| <p>・学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で検討 【学校質問紙】</p> | <p><肯定的な回答></p> <table border="1" data-bbox="451 210 1444 320"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校質問紙(小)</td> <td>90.6(2.0)</td> <td>92.7(1.9)</td> <td>94.1(3.0)</td> <td>95.8(2.7)</td> </tr> <tr> <td>学校質問紙(中)</td> <td>75.2(-2.4)</td> <td>82.4(0.9)</td> <td>88.5(6.0)</td> <td>86.7(0.7)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・肯定的に回答した小中学校の割合は、平成28年度以降、全国平均を上回る状況が続いている。</p> | | H27 | H28 | H29 | H30 | 学校質問紙(小) | 90.6(2.0) | 92.7(1.9) | 94.1(3.0) | 95.8(2.7) | 学校質問紙(中) | 75.2(-2.4) | 82.4(0.9) | 88.5(6.0) | 86.7(0.7) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------------|------------|------------|-----|-------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|----|------------|------------|------------|-----|-------|------------|------------|------------|-------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|---|----|------------|-------------|------------|---|
| | H27 | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校質問紙(小) | 90.6(2.0) | 92.7(1.9) | 94.1(3.0) | 95.8(2.7) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校質問紙(中) | 75.2(-2.4) | 82.4(0.9) | 88.5(6.0) | 86.7(0.7) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>・言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組む 【学校質問紙】</p> | <p><肯定的な回答></p> <table border="1" data-bbox="451 421 1444 530"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校質問紙(小)</td> <td>90.4(-1.2)</td> <td>92.7(1.0)</td> <td>91.3(-1.0)</td> <td>95.5(1.3)</td> </tr> <tr> <td>学校質問紙(中)</td> <td>83.8(-2.7)</td> <td>87.4(-0.9)</td> <td>87.9(-0.9)</td> <td>89.2(-1.5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・肯定的に回答した小中学校の割合は、昨年度より増加し、過去4年間の中で最も高い状況である。しかし、中学校の割合は、全国平均を下回る状況が続いている。</p> | | H27 | H28 | H29 | H30 | 学校質問紙(小) | 90.4(-1.2) | 92.7(1.0) | 91.3(-1.0) | 95.5(1.3) | 学校質問紙(中) | 83.8(-2.7) | 87.4(-0.9) | 87.9(-0.9) | 89.2(-1.5) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H27 | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校質問紙(小) | 90.4(-1.2) | 92.7(1.0) | 91.3(-1.0) | 95.5(1.3) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校質問紙(中) | 83.8(-2.7) | 87.4(-0.9) | 87.9(-0.9) | 89.2(-1.5) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>・児童生徒は学級やグループでの話し合うなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う 【児童生徒質問紙】 【学校質問紙】</p> | <p><肯定的な回答(小学校)></p> <table border="1" data-bbox="451 759 1425 907"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童質問紙</td> <td>65.3(-1.6)</td> <td>67.5(-0.8)</td> <td>67.3(-0.9)</td> <td>76.4(-1.3)</td> </tr> <tr> <td>学校質問紙</td> <td>67.7(1.6)</td> <td>71.8(2.6)</td> <td>69.1(-2.6)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>乖離</td> <td>-2.4[0.8]</td> <td>-4.3[-0.9]</td> <td>-1.8[-3.5]</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p><肯定的な回答(中学校)></p> <table border="1" data-bbox="451 940 1425 1088"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒質問紙</td> <td>62.6(-0.3)</td> <td>64.8(0.0)</td> <td>64.5(-0.3)</td> <td>76.5(0.2)</td> </tr> <tr> <td>学校質問紙</td> <td>65.4(-1.9)</td> <td>78.0(7.5)</td> <td>72.7(-0.2)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>乖離</td> <td>-2.8[-4.4]</td> <td>-12.8[-5.7]</td> <td>-8.2[-8.1]</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>・肯定的に回答した児童生徒の割合は、本年度7割を超え、過去4年間の中で最も高い状況である。 *本年度、同趣旨の学校質問紙調査は行われていない。</p> | | H27 | H28 | H29 | H30 | 児童質問紙 | 65.3(-1.6) | 67.5(-0.8) | 67.3(-0.9) | 76.4(-1.3) | 学校質問紙 | 67.7(1.6) | 71.8(2.6) | 69.1(-2.6) | — | 乖離 | -2.4[0.8] | -4.3[-0.9] | -1.8[-3.5] | — | | H27 | H28 | H29 | H30 | 生徒質問紙 | 62.6(-0.3) | 64.8(0.0) | 64.5(-0.3) | 76.5(0.2) | 学校質問紙 | 65.4(-1.9) | 78.0(7.5) | 72.7(-0.2) | — | 乖離 | -2.8[-4.4] | -12.8[-5.7] | -8.2[-8.1] | — |
| | H27 | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童質問紙 | 65.3(-1.6) | 67.5(-0.8) | 67.3(-0.9) | 76.4(-1.3) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校質問紙 | 67.7(1.6) | 71.8(2.6) | 69.1(-2.6) | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乖離 | -2.4[0.8] | -4.3[-0.9] | -1.8[-3.5] | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H27 | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒質問紙 | 62.6(-0.3) | 64.8(0.0) | 64.5(-0.3) | 76.5(0.2) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校質問紙 | 65.4(-1.9) | 78.0(7.5) | 72.7(-0.2) | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乖離 | -2.8[-4.4] | -12.8[-5.7] | -8.2[-8.1] | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>・自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していると思う 【児童生徒質問紙】 【学校質問紙】</p> | <p><肯定的な回答(小学校)></p> <table border="1" data-bbox="451 1252 1173 1400"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童質問紙</td> <td>63.3(-0.9)</td> <td>63.6(-1.3)</td> <td>58.9(-2.1)</td> </tr> <tr> <td>学校質問紙</td> <td>60.0(-1.2)</td> <td>61.8(-1.2)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>乖離</td> <td>3.3[3.0]</td> <td>1.8[1.9]</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p><肯定的な回答(中学校)></p> <table border="1" data-bbox="451 1433 1173 1581"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒質問紙</td> <td>58.0(0.3)</td> <td>56.9(-1.0)</td> <td>53.0(-0.8)</td> </tr> <tr> <td>学校質問紙</td> <td>57.2(-2.5)</td> <td>61.8(0.6)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>乖離</td> <td>0.8[-4.5]</td> <td>-4.9[-3.3]</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>・肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度より減少していて、全国平均を下回る状況が続いている。 *本年度、同趣旨の学校質問紙調査は行われていない。</p> | | H28 | H29 | H30 | 児童質問紙 | 63.3(-0.9) | 63.6(-1.3) | 58.9(-2.1) | 学校質問紙 | 60.0(-1.2) | 61.8(-1.2) | — | 乖離 | 3.3[3.0] | 1.8[1.9] | — | | H28 | H29 | H30 | 生徒質問紙 | 58.0(0.3) | 56.9(-1.0) | 53.0(-0.8) | 学校質問紙 | 57.2(-2.5) | 61.8(0.6) | — | 乖離 | 0.8[-4.5] | -4.9[-3.3] | — | | | | | | | | |
| | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 児童質問紙 | 63.3(-0.9) | 63.6(-1.3) | 58.9(-2.1) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校質問紙 | 60.0(-1.2) | 61.8(-1.2) | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乖離 | 3.3[3.0] | 1.8[1.9] | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒質問紙 | 58.0(0.3) | 56.9(-1.0) | 53.0(-0.8) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校質問紙 | 57.2(-2.5) | 61.8(0.6) | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 乖離 | 0.8[-4.5] | -4.9[-3.3] | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>・校長の授業の見回り(週に2回以上) 【学校質問紙】</p> | <p><週に2回以上と回答></p> <table border="1" data-bbox="451 1744 1444 1854"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校質問紙(小)</td> <td>95.4(2.3)</td> <td>98.2(4.0)</td> <td>96.6(2.1)</td> <td>96.9(1.8)</td> </tr> <tr> <td>学校質問紙(中)</td> <td>81.4(0.0)</td> <td>88.1(5.5)</td> <td>88.5(5.0)</td> <td>91.8(6.4)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「週に2回以上」と回答した小中学校の割合は、全国平均を上回る状況が続いている。特に、中学校の割合は増加傾向が見られるとともに、本年度は全国平均を6ポイント以上上回る状況となった。</p> | | H27 | H28 | H29 | H30 | 学校質問紙(小) | 95.4(2.3) | 98.2(4.0) | 96.6(2.1) | 96.9(1.8) | 学校質問紙(中) | 81.4(0.0) | 88.1(5.5) | 88.5(5.0) | 91.8(6.4) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | H27 | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校質問紙(小) | 95.4(2.3) | 98.2(4.0) | 96.6(2.1) | 96.9(1.8) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校質問紙(中) | 81.4(0.0) | 88.1(5.5) | 88.5(5.0) | 91.8(6.4) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(2) 全国学力・学習状況調査等を活用した取組

○「全国学力・学習状況調査（全国学調）の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用していますか」との質問に、肯定的に回答した小中学校の割合は、全国平均を上回る状況です。しかし、「よく行った」と回答した小中学校の割合は、全国平均を下回る状況であり、平成28年度以降、減少傾向が見られます。

※表の（ ）の数値は、全国平均との差を示します。

| 項目 | 結果 | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|------------|------------|------------|------------|-----|----------|------------|-----------|------------|------------|----------|------------|------------|------------|------------|
| ・全国学調の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用 【学校質問紙】 | <「よく行った」と回答（トップボックス）> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校質問紙(小)</td> <td>36.1(-4.5)</td> <td>49.2(3.0)</td> <td>43.8(-0.6)</td> <td>39.2(-3.5)</td> </tr> <tr> <td>学校質問紙(中)</td> <td>29.2(-3.8)</td> <td>35.8(-1.3)</td> <td>35.0(-0.4)</td> <td>34.2(-0.1)</td> </tr> </tbody> </table> | | H27 | H28 | H29 | H30 | 学校質問紙(小) | 36.1(-4.5) | 49.2(3.0) | 43.8(-0.6) | 39.2(-3.5) | 学校質問紙(中) | 29.2(-3.8) | 35.8(-1.3) | 35.0(-0.4) | 34.2(-0.1) |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | |
| | 学校質問紙(小) | 36.1(-4.5) | 49.2(3.0) | 43.8(-0.6) | 39.2(-3.5) | | | | | | | | | | | |
| | 学校質問紙(中) | 29.2(-3.8) | 35.8(-1.3) | 35.0(-0.4) | 34.2(-0.1) | | | | | | | | | | | |
| | <肯定的な回答> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校質問紙(小)</td> <td>98.1(2.3)</td> <td>97.6(0.6)</td> <td>98.9(2.3)</td> <td>98.4(0.8)</td> </tr> <tr> <td>学校質問紙(中)</td> <td>94.4(1.2)</td> <td>95.5(0.7)</td> <td>94.2(-0.2)</td> <td>97.5(1.4)</td> </tr> </tbody> </table> | | H27 | H28 | H29 | H30 | 学校質問紙(小) | 98.1(2.3) | 97.6(0.6) | 98.9(2.3) | 98.4(0.8) | 学校質問紙(中) | 94.4(1.2) | 95.5(0.7) | 94.2(-0.2) | 97.5(1.4) |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | |
| 学校質問紙(小) | 98.1(2.3) | 97.6(0.6) | 98.9(2.3) | 98.4(0.8) | | | | | | | | | | | | |
| 学校質問紙(中) | 94.4(1.2) | 95.5(0.7) | 94.2(-0.2) | 97.5(1.4) | | | | | | | | | | | | |
| ・肯定的に回答した小中学校の割合は、全国平均を上回る状況である。しかし、「よく行った」と回答した小中学校の割合は、全国平均を下回る状況であり、平成28年度以降、減少傾向が見られる。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・全国学調の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明 【学校質問紙】 | <肯定的な回答> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校質問紙(小)</td> <td>96.5(8.5)</td> <td>98.4(7.5)</td> <td>98.9(8.1)</td> <td>97.8(5.5)</td> </tr> <tr> <td>学校質問紙(中)</td> <td>95.6(11.7)</td> <td>95.6(8.7)</td> <td>98.1(11.3)</td> <td>96.8(8.3)</td> </tr> </tbody> </table> | | H27 | H28 | H29 | H30 | 学校質問紙(小) | 96.5(8.5) | 98.4(7.5) | 98.9(8.1) | 97.8(5.5) | 学校質問紙(中) | 95.6(11.7) | 95.6(8.7) | 98.1(11.3) | 96.8(8.3) |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | |
| | 学校質問紙(小) | 96.5(8.5) | 98.4(7.5) | 98.9(8.1) | 97.8(5.5) | | | | | | | | | | | |
| 学校質問紙(中) | 95.6(11.7) | 95.6(8.7) | 98.1(11.3) | 96.8(8.3) | | | | | | | | | | | | |
| ・肯定的に回答した小中学校の割合は、全国平均を上回る状況が続いているが、昨年度より減少している。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・全国学調の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育活動の改善や指導計画等への反映 【学校質問紙】 | <肯定的な回答> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校質問紙(小)</td> <td>95.2(3.3)</td> <td>98.1(4.9)</td> <td>97.2(3.7)</td> <td>97.7(3.3)</td> </tr> <tr> <td>学校質問紙(中)</td> <td>85.7(-2.2)</td> <td>94.4(4.4)</td> <td>95.6(5.5)</td> <td>96.9(5.1)</td> </tr> </tbody> </table> | | H27 | H28 | H29 | H30 | 学校質問紙(小) | 95.2(3.3) | 98.1(4.9) | 97.2(3.7) | 97.7(3.3) | 学校質問紙(中) | 85.7(-2.2) | 94.4(4.4) | 95.6(5.5) | 96.9(5.1) |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 | | | | | | | | | | | |
| | 学校質問紙(小) | 95.2(3.3) | 98.1(4.9) | 97.2(3.7) | 97.7(3.3) | | | | | | | | | | | |
| 学校質問紙(中) | 85.7(-2.2) | 94.4(4.4) | 95.6(5.5) | 96.9(5.1) | | | | | | | | | | | | |
| ・肯定的に回答した小中学校の割合は、平成28年度以降、全国平均を上回る状況が続いている。特に、中学校の割合は増加傾向が見られ、本年度は過去4年間の中で最も高い状況である。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※全国学調の自校採点の実施 | [参考]実施状況（集計支援ツール提出・授業改善サイクル支援ネット入力校） 小 H27:約37%→H28:約54%→H29:約66%→H30:約77% 中 H27:約33%→H28:約40%→H29:約45%→H30:約56% | | | | | | | | | | | | | | | |

(3) 個に応じた指導

○「習熟の遅い(早い)グループに対して少人数指導による指導を行いましたか」との質問に、「年間の授業のうち、およそ1/2以上で行った」と回答した小中学校の割合は、全国平均を下回る状況が続いています。

※表の()の数値は、全国平均との差を示します。

| 項目 | 結果 | | | | |
|--|---|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ・前年度に、算数(数学)の指導における、習熟の遅いグループに対する少人数による指導 【学校質問紙】 | <「年間の授業のうち、およそ1/2以上で行った」と回答> | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 学校質問紙(小) | 15.3(-17.1) | 13.4(-20.2) | 17.7(-17.5) | 20.0(-15.2) |
| | 学校質問紙(中) | 13.1(-12.2) | 12.0(-14.4) | 26.8(-0.5) | 23.5(-5.1) |
| | ・「年間の授業のうち、およそ1/2以上で行った」と回答した小中学校の割合は、全国平均を下回る状況が続いている。 | | | | |
| ・前年度に、算数(数学)の指導における、習熟の早いグループに対する少人数による指導 【学校質問紙】 | <「年間の授業のうち、およそ1/2以上で行った」と回答> | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 学校質問紙(小) | 8.0(-15.4) | 9.4(-15.5) | 13.2(-12.6) | 16.0(-9.7) |
| | 学校質問紙(中) | 8.7(-11.1) | 8.8(-12.1) | 21.7(-0.2) | 22.2(-0.7) |
| | ・「年間の授業のうち、およそ1/2以上で行った」と回答した小中学校の割合は、全国平均を下回る状況が続いているが、本年度は過去4年間の中で最も高い状況である。 | | | | |
| ・算数(数学)の指導に関して、補充的な学習の指導を行う 【学校質問紙】 | <肯定的な回答> | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 学校質問紙(小) | 89.3(-2.5) | 91.6(-0.8) | 92.7(-0.6) | 93.8(-0.5) |
| | 学校質問紙(中) | 88.8(-0.3) | 88.7(-1.9) | 92.4(0.5) | 95.6(4.2) |
| | ・肯定的に回答した小中学校の割合は、昨年度より増加し、本年度は過去4年間の中で最も高い状況である。 | | | | |
| ・算数(数学)の指導に関して、発展的な学習の指導を行う 【学校質問紙】 | <肯定的な回答> | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 学校質問紙(小) | 58.3(-3.5) | 67.8(2.6) | 69.1(2.0) | 68.2(3.4) |
| | 学校質問紙(中) | 69.6(3.1) | 69.9(-0.2) | 72.6(0.5) | 74.1(6.6) |
| | ・肯定的に回答した小中学校の割合は、平成29年度以降、全国平均を上回る状況が続いている。中学校の割合は、増加傾向が見られ、本年度は過去4年間の中で最も高い状況である。 | | | | |

(4) 家庭・地域との連携

- 「家庭や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果があるか」との質問に、肯定的に回答した学校の割合は、小学校で9割、中学校で8割を超えています。
- 「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、家庭や地域の人との協働による活動を行っている」との質問に、肯定的に回答した学校の割合は、小学校で7割、中学校で6割を超え、全国平均を上回る状況です。

※表の()の数値は、全国平均との差を示します。

| 項目 | 結果 | | | | |
|---|--|------------|------------|------------|-------------|
| ・ボランティア等による授業サポート(補助)の実施 【学校質問紙】 | <肯定的な回答> | | | | |
| | | H27 | H28 | H29 | H30 |
| | 学校質問紙(小) | 38.5(-2.1) | 41.6(-6.5) | 46.0(-3.9) | 47.1(-2.1) |
| | 学校質問紙(中) | 19.8(-4.4) | 23.3(-6.5) | 26.1(-5.3) | 22.2(-10.8) |
| | ・肯定的に回答した小中学校の割合は、全国平均を下回る状況が続いている。特に中学校は、全国平均を10.8ポイント下回っている。 | | | | |
| ・家庭・地域との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がある(新規項目) 【学校質問紙】 | <肯定的な回答> | | | | |
| | | H30 | | | |
| | 学校質問紙(小) | 96.1(0.7) | | | |
| | 学校質問紙(中) | 82.3(-6.3) | | | |
| | ・肯定的に回答した小中学校の割合は、小学校で9割、中学校で8割を超えているが、中学校は全国平均を6.3ポイント下回っている。 | | | | |
| ・コミュニティ・スクールなどを生かした、家庭・地域との協働による活動(新規項目) 【学校質問紙】 | <肯定的な回答> | | | | |
| | | H30 | | | |
| | 学校質問紙(小) | 77.7(4.9) | | | |
| | 学校質問紙(中) | 62.6(1.9) | | | |
| | ・肯定的に回答した小中学校の割合は、小学校で7割、中学校で6割を超え、ともに全国平均を上回る状況である。 | | | | |
| ・家庭・地域による学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動の参加(新規項目) 【学校質問紙】 | <肯定的な回答> | | | | |
| | | H30 | | | |
| | 学校質問紙(小) | 97.8(0.1) | | | |
| | 学校質問紙(中) | 85.5(-4.9) | | | |
| | ・肯定的に回答した小中学校の割合は、小学校で9割、中学校で8割を超えているが、中学校は全国平均を4.9ポイント下回っている。 | | | | |

◆◆平均正答率・平均無解答率◆◆

○平均正答率は、国語A、算数・数学A、理科で、平均無解答率は、全教科で全国平均との差において改善が見られます。

【平均正答率】

| | 平成27年度 小6 | | 伸び | 平成30年度 中3 | | |
|-----|-----------|------|------|-----------|------|-----|
| | 全国 | 三重県 | | 全国 | 三重県 | |
| 小国A | 70.0 | 68.0 | +1.2 | 76.1 | 75.3 | 中国A |
| | <-2.0> | | | <-0.8> | | |
| 小国B | 65.4 | 65.3 | -1.4 | 61.2 | 59.7 | 中国B |
| | <-0.1> | | | <-1.5> | | |
| 小算A | 75.2 | 74.8 | +0.9 | 66.1 | 66.6 | 中数A |
| | <-0.4> | | | <+0.5> | | |
| 小算B | 45.0 | 44.1 | -0.3 | 46.9 | 45.7 | 中数B |
| | <-0.9> | | | <-1.2> | | |
| 小理 | 60.8 | 59.2 | +1.5 | 66.1 | 66.0 | 中理 |
| | <-1.6> | | | <-0.1> | | |

※< >内の数値は全国の平均正答率との差を示す。

【平均無解答率】

| | 平成27年度 小6 | | 伸び | 平成30年度 中3 | | |
|-----|-----------|------|-------|-----------|-------|-----|
| | 全国 | 三重県 | | 全国 | 三重県 | |
| 小国A | 3.56 | 3.34 | -0.04 | 3.15 | 2.89 | 中国A |
| | <-0.22> | | | <-0.26> | | |
| 小国B | 6.09 | 6.11 | -0.02 | 3.01 | 3.01 | 中国B |
| | <+0.02> | | | <0.00> | | |
| 小算A | 1.79 | 1.66 | -0.31 | 3.28 | 2.84 | 中数A |
| | <-0.13> | | | <-0.44> | | |
| 小算B | 9.12 | 9.64 | -1.58 | 12.61 | 11.55 | 中数B |
| | <+0.52> | | | <-1.06> | | |
| 小理 | 3.21 | 3.26 | -0.13 | 5.04 | 4.96 | 中理 |
| | <+0.05> | | | <-0.08> | | |

※< >内の数値は全国の平均無解答率との差を示す。

平成27年度の小学校調査の結果と平成30年度の中学校調査の結果を比較しました。平均正答率について、全国の平均正答率との差を比較すると、国語A、算数・数学A、理科で差が縮まり伸びが見られ、知識や技能の定着が図られたと言えます。

平均無解答率について、全国の平均無解答率との差を比較すると、平成27年度は国語B、算数B、理科で平均無解答率が全国を上回っていましたが、平成30年度では全ての教科で改善され、伸びが見られます。特に、算数・数学Bの伸びが大きく（-1.58の伸び）、諦めずに問題に取り組む姿勢・意欲が向上したと言えます。

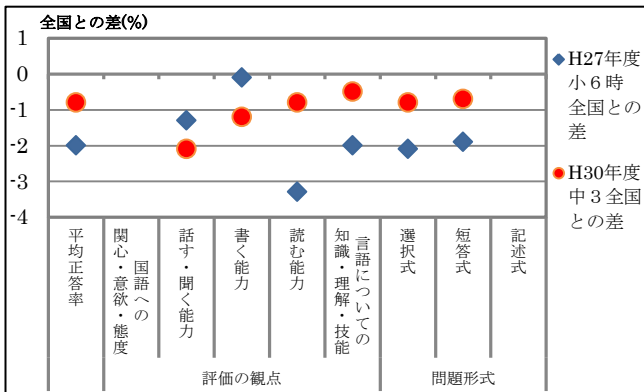
◆◆領域、観点、問題形式別分析◆◆

【国語】

○国語Aでは「話す・聞く能力」「書く能力」を除く全ての項目で改善が見られました。「書く能力」「記述式」の項目で全国との差が広がっています。

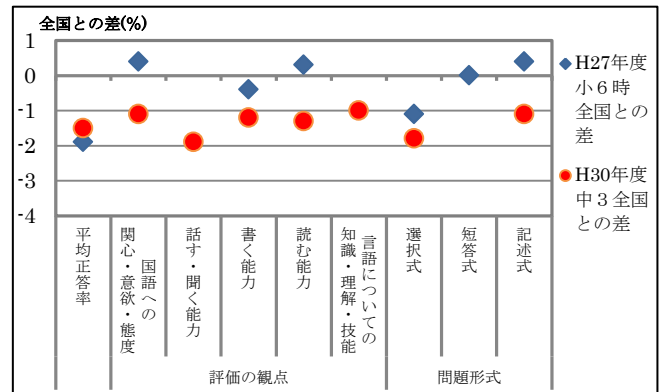
国語Aでは「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の観点で改善が見られ、特に「読む能力」で2.5ポイントの改善が図られました。一方、国語Bの「書く能力」「記述式」で全国との差が広がっていることから、目的に応じて内容をまとめて書いたり自分の意見を相手に伝わるように書いたりすることに課題があると考えられます。

＜国語A＞



※該当の出題がない年度には印がありません。

＜国語B＞



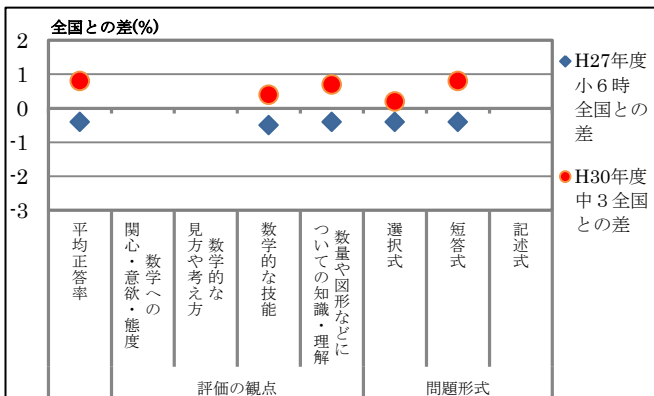
※該当の出題がない年度には印がありません。

【算数・数学】

○算数・数学Aでは全ての項目が改善され、全国平均を上回りました。算数・数学Bでは「記述式」の問題で1.1ポイントの改善が見られました。

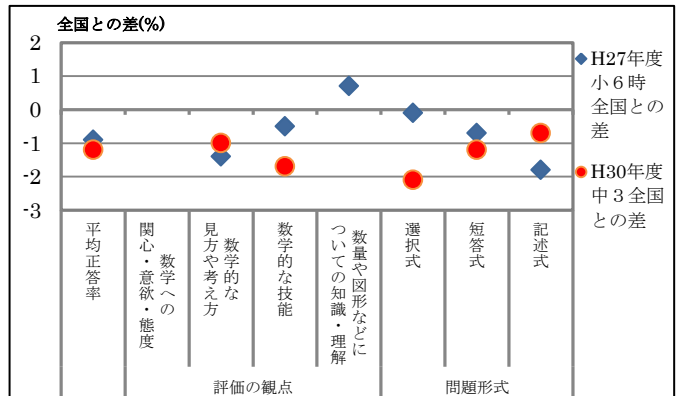
算数・数学Bでは「記述式」で1.1ポイントの改善が見られ、自分の考えを式や言葉を用いて記述する力が少しずつ身に付いてきたと考えられます。しかし、「数学的な技能」「選択式」で全国との差が広がっています。

＜算数・数学A＞



※該当の出題がない年度には印がありません。

＜算数・数学B＞

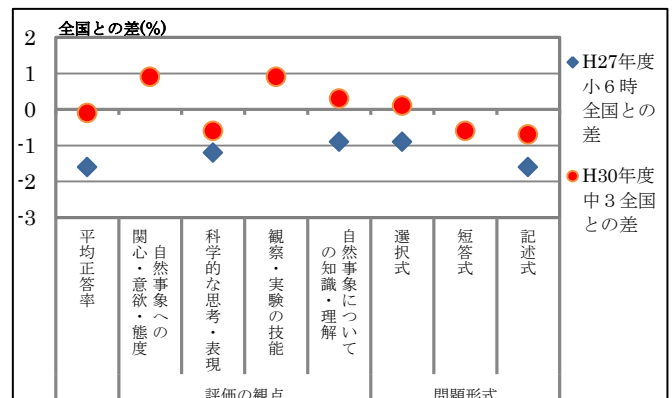


※該当の出題がない年度には印がありません。

【理科】

○全ての項目で改善が見られ、4つの項目で全国平均を上回りました。

全ての項目で改善が見られます。しかし、「科学的な思考・表現」が依然として全国平均を下回っていることから、実験・観察の結果を考察し、記録することなどに課題があると考えられます。



※該当の出題がない年度には印がありません。

◆◆「みえの学力向上県民運動」主な関連指標◆◆

【関連：第5章 P.55～】

(平成27年度小学校第6学年、平成30年度中学校第3学年の同一児童生徒の調査結果推移一覧)

○「自分にはよいところがあると思う」との質問に、肯定的に回答した生徒の割合は、小学校6年生時より改善(75.1%→79.9%)され、全国平均を上回る状況(-1.3→+1.1)となりました。
 ○「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日どれぐらいの時間、勉強をしますか」との質問に、「1時間以上する」と回答した生徒の割合は、小学校6年生時より改善されていますが、なお全国平均を下回る状況です。

みえの学力向上県民運動セカンドステージでは、全国学力・学習状況調査の質問紙調査項目のうち33項目を「主な関連指標」として位置付け、取組を進めています。

本年度中学校第3学年は、平成27年度当時小学校第6学年です。児童生徒の発達段階の違い、社会情勢の変化等により、比較が難しい項目もあることに留意しつつ、今後の児童生徒への指導の参考としてください。

【表の見方】

- ・表中のA・B・Cは、「全国との差」の変位を表し、Aは「改善・上昇」を、Bは「変動なし」、Cは「下降」を表す。
- ・表中の+・-は、三重県の割合の変位を表し、+は「改善・上昇」を、-は「下降」を表す。
- ・表中の○は、上記に示した「A・B・C」及び「+・-」の数値が±5ポイント以上離れていることを表す。
- ・なお、「+・-」は、小学校在籍時と中学校在籍時の児童生徒の発達段階の違い、社会情勢の変化等により比較が難しい項目もあることに留意が必要である。
- ・表中の網掛けは、当該年度に同じ質問項目がなかったものである。

≪児童生徒質問紙≫

※該当の出題がない年度には印がありません。

| 質問紙番号 | 質問項目 | H27→H30 | | | 質問紙番号 | 質問項目 | H27→H30 | | | | |
|---------------------|--|---------------------------|--------------------|------|-------|---------------------------------|--------------------------------------|--------------------|------|------|--|
| | | H27 小学校6 年生時 | H30 中学校3 年生時 | 変位 | | | H27 小学校6 年生時 | H30 中学校3 年生時 | 変位 | | |
| ① | 基本的生活習慣の状況 「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらの時刻に寝ている」「毎日、同じくらの時刻に起きている」の平均値 | 三重県 | 88.3 | - | 85.2 | ④ 削除 | 平日のテレビゲーム等の使用(スマホのゲームを含む) (3時間以上) | 三重県 | 18.2 | | |
| | | 全国 | 88.7 | A | 85.5 | | | 全国 | 17.0 | | |
| | | 全国との差 | -0.4 | | -0.3 | | | 全国との差 | 1.2 | | |
| | (7) 朝食を毎日食べている | 三重県 | 95.3 | - | 92.0 | ⑤ 削除 | 平日のスマホの通話やメール、インターネットの使用(3時間以上) | 三重県 | 6.3 | | |
| | | 全国 | 95.6 | A | 91.9 | | | 全国 | 5.7 | | |
| | | 全国との差 | -0.3 | | 0.1 | | | 全国との差 | 0.6 | | |
| | (8) 毎日、同じくらの時刻に寝ている | 三重県 | 79.0 | ⊖ | 74.0 | ⑥ (14) 平日の学習時間(1時間以上) | 三重県 | 58.4 | ⊕ | 67.5 | |
| | | 全国 | 79.5 | A | 74.2 | | 全国 | 62.7 | A | 70.6 | |
| | | 全国との差 | -0.5 | | -0.2 | | 全国との差 | -4.3 | | -3.1 | |
| | (9) 毎日、同じくらの時刻に起きている | 三重県 | 90.7 | - | 89.6 | ⑦ 削除 | 休みの日の学習時間(1時間以上) | 三重県 | 45.8 | | |
| 全国 | | 91.0 | C | 90.3 | 全国 | | | 56.7 | | | |
| 全国との差 | | -0.3 | | -0.7 | 全国との差 | | | -10.9 | | | |
| ② | 子どもたちの自尊感情の状況 「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦する」「自分には、よいところがあると思う」の平均値 | 三重県 | 82.1 | | | ⑧ (15) 授業時間以外の読書時間(平日10分以上) | 三重県 | 61.1 | ⊖ | 49.6 | |
| | | 全国 | 82.4 | | | | 全国 | 64.2 | C | 53.5 | |
| | | 全国との差 | -0.3 | | | | 全国との差 | -3.1 | | -3.9 | |
| | 削除 | ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある | 三重県 | 94.5 | | | 三重県 | 78.6 | - | 75.4 | |
| | | 全国 | 94.5 | | | 全国 | 79.5 | A | 76.0 | | |
| | | 全国との差 | 0.0 | | | 全国との差 | -0.9 | | -0.6 | | |
| | 削除 | 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦する | 三重県 | 76.6 | | | ⑩ 削除 | 家の手伝いをしていますか | 三重県 | | |
| | | 全国 | 76.4 | | | 全国 | | | | | |
| | | 全国との差 | 0.2 | | | 全国との差 | | | | | |
| | (1) 自分には、よいところがあると思う | 三重県 | 75.1 | ⊕ | 79.9 | ⑪ (10) 家で、自分で計画を立てて勉強している | 三重県 | 60.5 | ⊖ | 54.8 | |
| 全国 | | 76.4 | A | 78.8 | 全国 | | 62.8 | A | 52.1 | | |
| 全国との差 | | -1.3 | | 1.1 | 全国との差 | | -2.3 | | 2.7 | | |
| ③ (3) 将来の夢や目標を持っている | 三重県 | 85.3 | ⊖ | 72.5 | ⑫ 削除 | 家で、学校の授業の復習をしている | 三重県 | 50.1 | | | |
| | 全国 | 86.5 | A | 72.4 | | | 全国 | 54.5 | | | |
| | 全国との差 | -1.2 | | 0.1 | | | 全国との差 | -4.4 | | | |
| ④ | 平日の子どもたちのテレビ・テレビゲーム等の使用状況 「平日のテレビ等の視聴(3時間以上)」「平日のテレビゲーム等の使用(3時間以上)」の平均値 | 三重県 | 27.0 | | | ⑬ 削除 | 学校に行くのが楽しい | 三重県 | 86.9 | | |
| | | 全国 | 26.6 | | | | | 全国 | 87.0 | | |
| | | 全国との差 | 0.4 | | | | | 全国との差 | -0.1 | | |
| 削除 | 平日のテレビ等の視聴(3時間以上) | 三重県 | 35.8 | | | ⑭ (2) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う | 三重県 | | 84.2 | | |
| | 全国 | 36.1 | | | 全国 | | | 82.2 | | | |
| | 全国との差 | -0.3 | | | 全国との差 | | | 2.0 | | | |

《児童生徒質問紙》

※該当の出題がない年度には印がありません。

| 質問紙番号 | 質問項目 | H27 小学校6 年生時 | H27~H30 H27-H30 | H30 中学校3 年生時 |
|--------|--|--------------------|--------------------|--------------------|
| ⑮ 削除 | 先生は、授業やテストで間違えたことや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる | 三重県 | | |
| | | 全国 | | |
| | | 全国との差 | | |
| ⑯ (20) | 地域行事への参加 | 三重県 | 72.0 | 49.6 |
| | | 全国 | 66.9 | 45.6 |
| | | 全国との差 | 5.1 | 4.0 |
| ⑰ (21) | 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある | 三重県 | 60.9 | 58.5 |
| | | 全国 | 63.9 | 59.3 |
| | | 全国との差 | -3.0 | -0.8 |
| ⑱ (23) | 地域社会などでボランティア活動に参加したことがある | 三重県 | | 47.7 |
| | | 全国 | | 51.8 |
| | | 全国との差 | | -4.1 |
| | 子どもたちの規範意識の状況 「学校のきまりを守っている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」の平均値 | 三重県 | 93.7 | 95.9 |
| | | 全国 | 93.7 | 95.2 |
| | | 全国との差 | 0.0 | 0.7 |
| ⑳ (4) | 学校のきまりを守っている | 三重県 | 91.0 | 96.0 |
| | | 全国 | 91.1 | 95.1 |
| | | 全国との差 | -0.1 | 0.9 |
| ㉑ (5) | いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う | 三重県 | 96.5 | 96.2 |
| | | 全国 | 96.2 | 95.5 |
| | | 全国との差 | 0.3 | 0.7 |
| ㉒ (6) | 人の役に立つ人間になりたいと思う | 三重県 | 93.7 | 95.5 |
| | | 全国 | 93.7 | 94.9 |
| | | 全国との差 | 0.0 | 0.6 |
| ㉓ 削除 | 主体的・協働的な授業に取り組んでいる授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいる。 | 三重県 | 71.0 | |
| | | 全国 | 74.2 | |
| | | 全国との差 | -3.2 | |
| ㉔ 削除 | 授業の中で目標（めあて・ねらい）の提示 ※H27までは「授業のはじめに」 | 三重県 | 83.0 | |
| | | 全国 | 86.3 | |
| | | 全国との差 | -3.3 | |
| ㉕ 削除 | 授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定 | 三重県 | 71.4 | |
| | | 全国 | 75.3 | |
| | | 全国との差 | -3.9 | |
| ㉖ 削除 | 国語の授業の内容がよく分かる | 三重県 | 82.2 | |
| | | 全国 | 82.0 | |
| | | 全国との差 | 0.2 | |
| ㉗ (29) | 算数（数学）の授業の内容がよく分かる | 三重県 | 81.3 | 75.0 |
| | | 全国 | 81.0 | 71.0 |
| | | 全国との差 | 0.3 | 4.0 |

| 質問紙番号 | 質問項目 | H27 小学校6 年生時 | H27~H30 H27-H30 | H30 中学校3 年生時 |
|--------|---|--------------------|--------------------|--------------------|
| | 授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つ ※国語、算数（数学）の平均値 | 三重県 | 89.0 | |
| | | 全国 | 89.5 | |
| | | 全国との差 | -0.5 | |
| ㉘ 削除 | 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ | 三重県 | 88.0 | |
| | | 全国 | 88.6 | |
| | | 全国との差 | -0.6 | |
| ㉙ (33) | 算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ | 三重県 | 90.0 | 74.8 |
| | | 全国 | 90.3 | 72.9 |
| | | 全国との差 | -0.3 | 1.9 |

《学校質問紙》

| 質問紙番号 | 質問項目 | H27 小学校6 年生時 | H27~H30 H27-H30 | H30 中学校3 年生時 |
|--------|---|--------------------|--------------------|--------------------|
| ㉚ 削除 | 対象児童生徒に対して、前年度に、図書館資料を活用した授業を計画的に実施（学期に数回以上） ※H28までは「学校図書館を活用」 | 三重県 | 81.8 | |
| | | 全国 | 82.6 | |
| | | 全国との差 | -0.8 | |
| ㉛ 削除 | 対象児童生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施（週に2回以上） | 三重県 | 22.7 | |
| | | 全国 | 17.7 | |
| | | 全国との差 | 5.0 | |
| ㉜ 削除 | 授業の中で目標（めあて・ねらい）の提示 ※H27までは「授業のはじめに」 | 三重県 | 97.8 | |
| | | 全国 | 98.1 | |
| | | 全国との差 | -0.3 | |
| ㉝ 削除 | 授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定 | 三重県 | 89.9 | |
| | | 全国 | 93.9 | |
| | | 全国との差 | -4.0 | |
| ㉞ (30) | (30) 学校生活の中で子どもたち一人ひとりのよい点や可能性を見つけ、児童生徒に伝えるなど積極的に評価した | 三重県 | 97.6 | 99.4 |
| | | 全国 | 96.7 | 97.9 |
| | | 全国との差 | 0.9 | 1.5 |
| ㉟ (31) | (31) 前年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用 | 三重県 | 98.1 | 97.5 |
| | | 全国 | 95.8 | 96.1 |
| | | 全国との差 | 2.3 | 1.4 |
| ㊱ (53) | (51) 地域等の人材を招へいた授業等の実施 | 三重県 | 82.9 | 75.9 |
| | | 全国 | 76.3 | 70.1 |
| | | 全国との差 | 6.6 | 5.8 |
| ㊲ (84) | (81) 校長の授業の見回り（週に2日以上） | 三重県 | 95.4 | 91.8 |
| | | 全国 | 93.1 | 85.4 |
| | | 全国との差 | 2.3 | 6.4 |

- 児童生徒質問紙調査の「自分には、よいところがあると思う」「学校のきまり（規則）を守っていますか」との質問に、肯定的に回答した生徒の割合は小学校6年生時より改善され、全国平均を上回る状況となりました。学校質問紙調査の「学校生活の中で、児童（生徒）一人ひとりのよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行った」との質問に、肯定的に回答した学校の割合が、小学校時より改善され、全国平均を上回る状況となっていることから、学校の取組、適切な評価が、子どもたちの自尊感情、規範意識の高まりにつながったと考えられます。
- しかし、児童生徒質問紙調査の「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）1日どれぐらいの時間、勉強をしますか」との質問に、「1時間以上する」と回答した生徒の割合は、小学校6年生時より改善されていますが、なお全国平均を下回る状況です。
- 今後も引き続き子どもたちのやる気と意欲を育む取組を、学校・家庭・地域が連携して進めることが大切です。

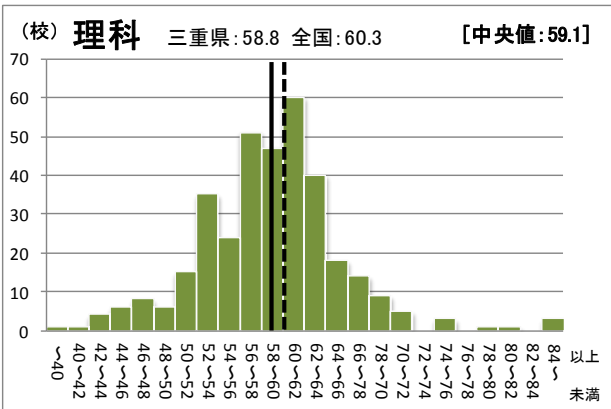
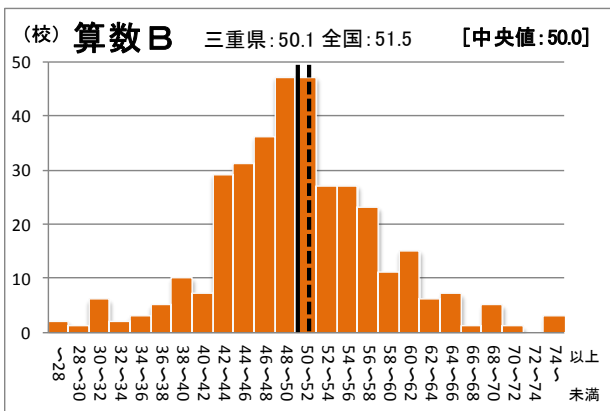
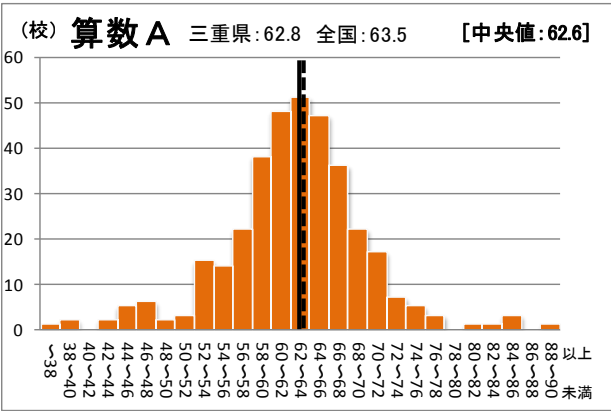
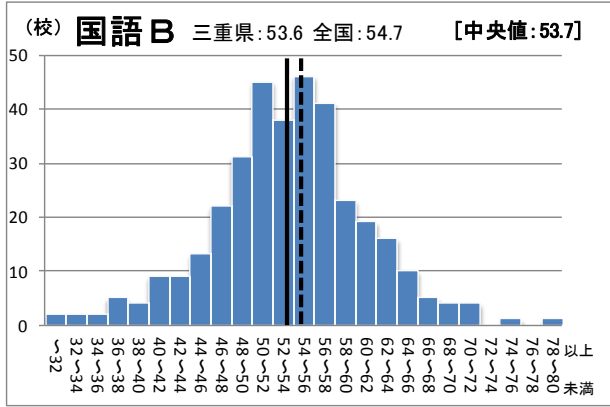
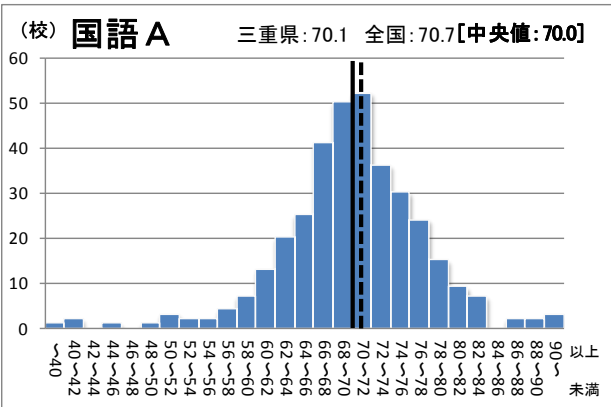
第2章 教科に関する調査結果の分析

1 小学校

平均正答率による学校の分布

○算数Bでは、本県の平均正答率から左側の階級（平均正答率42～48%）に多くの学校（96校：小学校全体の27.0%）があり、左に寄った分布となっています。

○国語A、算数A・B、理科で全国平均を上回る学校数の割合が増加しました。



※各教科の全国の平均正答率を上回る学校数

| | 国語A | 国語B | 算数A | 算数B | 理科 |
|--------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 平成30年度 | 157校 (44.6%) | 156校 (44.3%) | 154校 (43.8%) | 134校 (38.1%) | 142校 (40.3%) |
| 平成29年度 | 141校 (38.1%) | 166校 (44.9%) | 150校 (40.5%) | 134校 (36.2%) | 148校 (39.6%) |

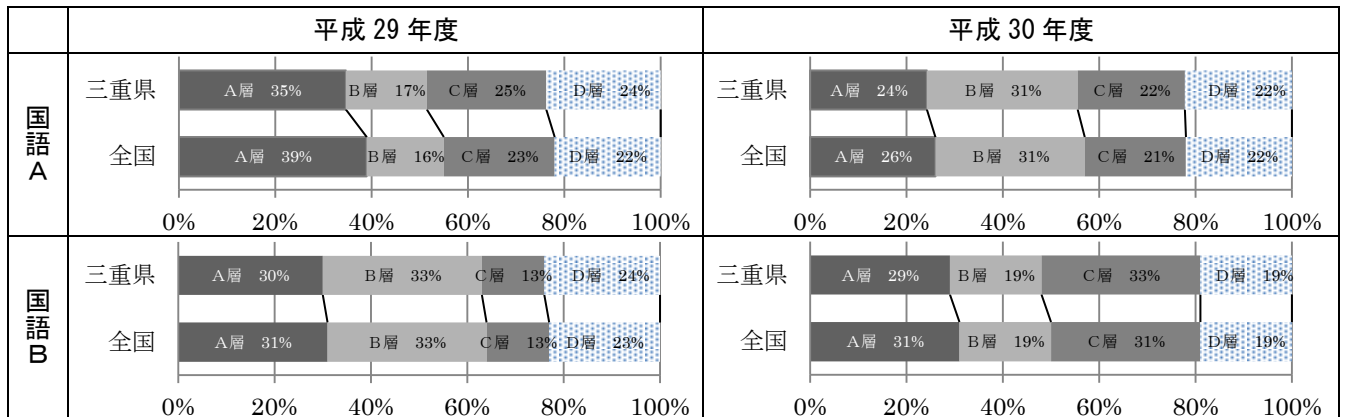
※平成27年度

各教科の学力層

教科に関する調査の各教科の学力層について、全国の状況及び昨年度の状況と比較しました。

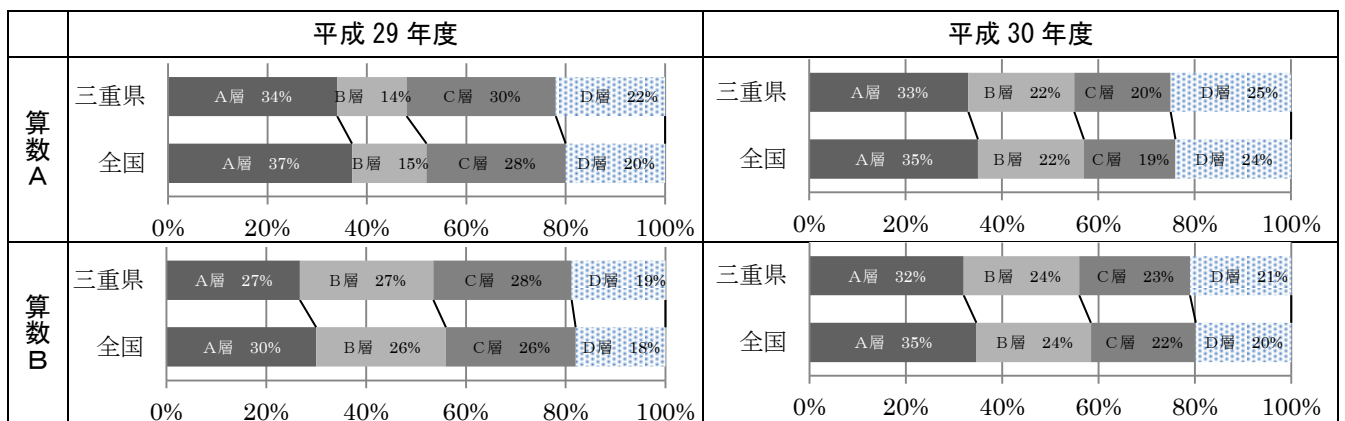
(1) 国語

○国語A・Bともに、昨年度に引き続き、全国よりC・D層の割合が高い状況です。平成29年度調査と平成30年度調査で問題の難易度等は異なりますが、国語Aでは、昨年度に比べB層の割合が増加（14ポイント）し、国語Bでは、昨年度に比べC層の割合が増加（20ポイント）しています。



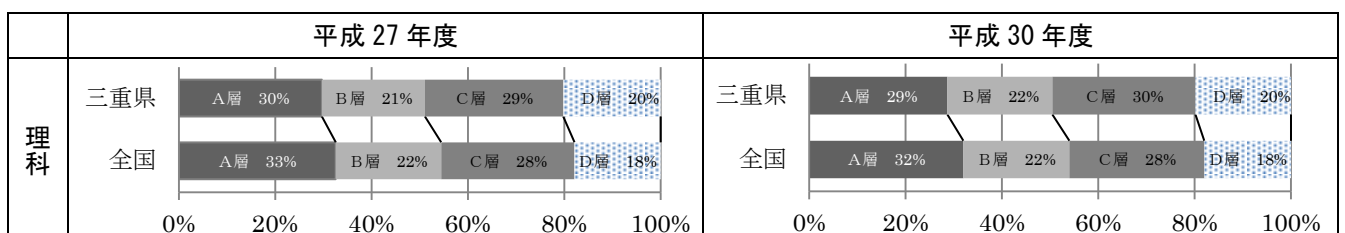
(2) 算数

○算数A・Bともに、昨年度に引き続き、全国よりC・D層の割合が高い状況です。平成29年度調査と平成30年度調査で問題の難易度等は異なりますが、算数A・Bともに、昨年度に比べC層の割合が減少（A：10ポイント、B：5ポイント）しています。



(3) 理科

○各学力層は、前回調査とほぼ同様の割合です。前回に引き続き、全国よりC・D層の割合が高い状況です。



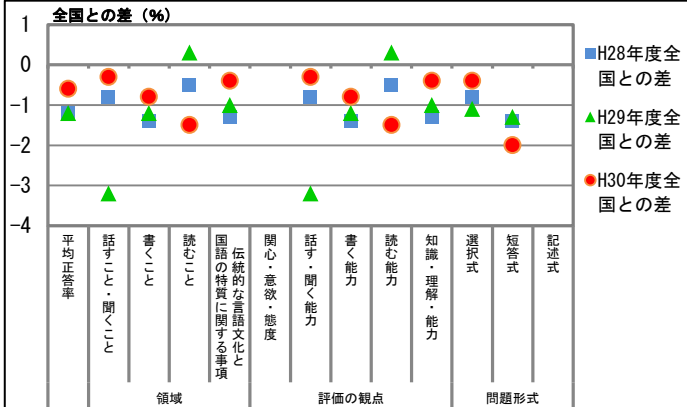
領域、観点、問題形式別分析

(1) 国語

○国語Aでは、「話すこと・聞くこと」の領域において、昨年度より2.9ポイント改善され、全国平均との差が縮まりました。一方、「読むこと」の領域において、昨年度より1.8ポイント下降するとともに、全国平均を下回る状況となりました。

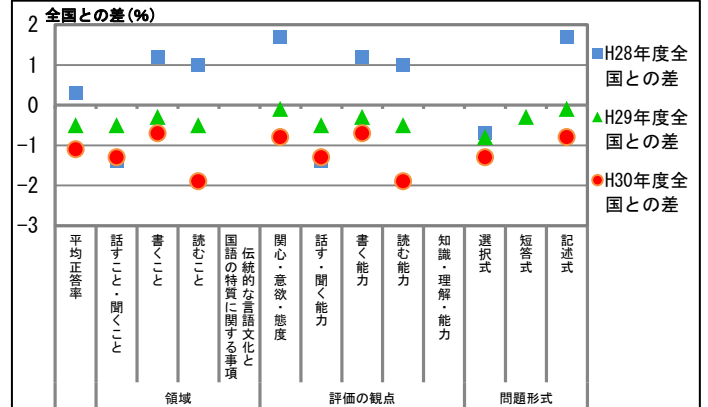
○国語Bでも、「読むこと」の領域において、昨年度より1.4ポイント下降しました。(国語Bは、全体として下降傾向が見られます。)

<国語A>



※該当の出題がない年度には印がありません。

<国語B>

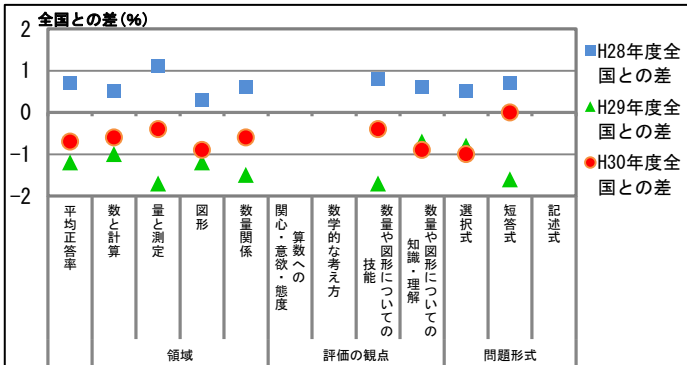


※該当の出題がない年度には印がありません。

(2) 算数

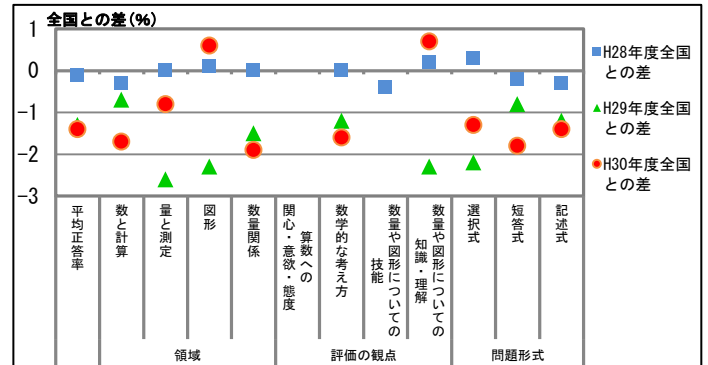
○算数A・Bともに、「量と測定」の領域において、昨年度より改善(A:1.3ポイント、B:1.8ポイント)し、全国平均との差が縮まりました。また、算数Bの「図形」の領域で昨年度より2.9ポイント改善され、全国平均を上回る状況となりました。

<算数A>



※該当の出題がない年度には印がありません。

<算数B>

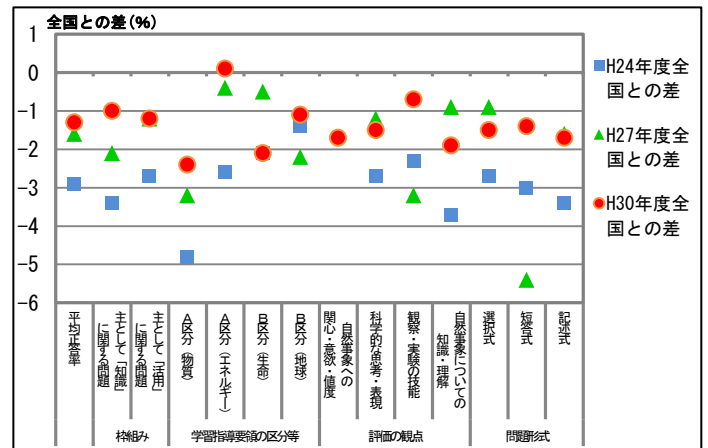


※該当の出題がない年度には印がありません。

(3) 理科

○「物質」、「エネルギー」、「地球」の区分において、前回より改善されました。一方、「生命」の区分では、前回より1.6ポイント下降しました。

○評価の観点の「観察・実験の技能」は、前回より2.5ポイント改善されました。

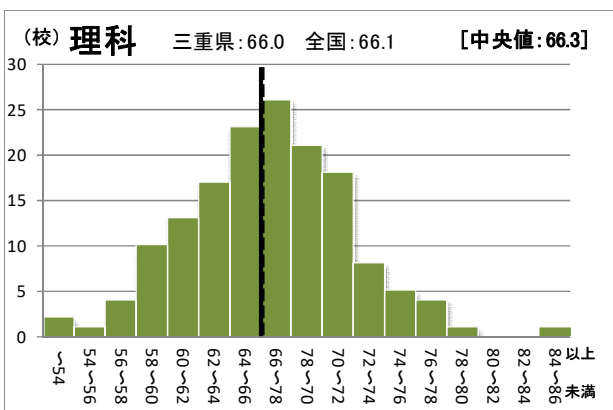
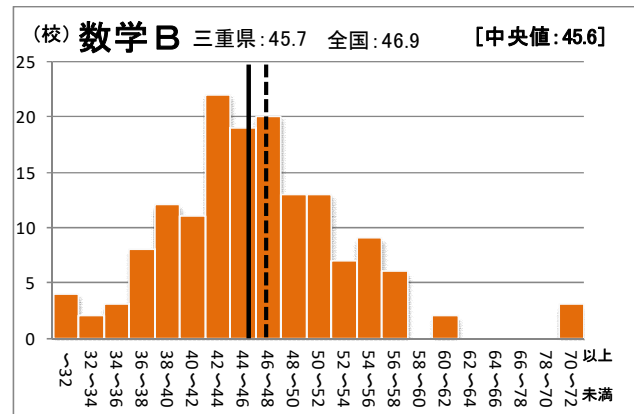
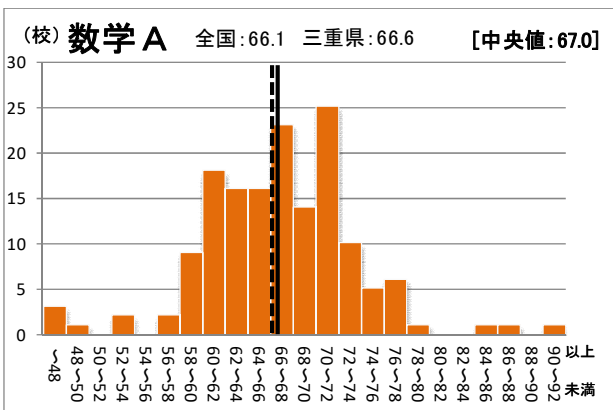
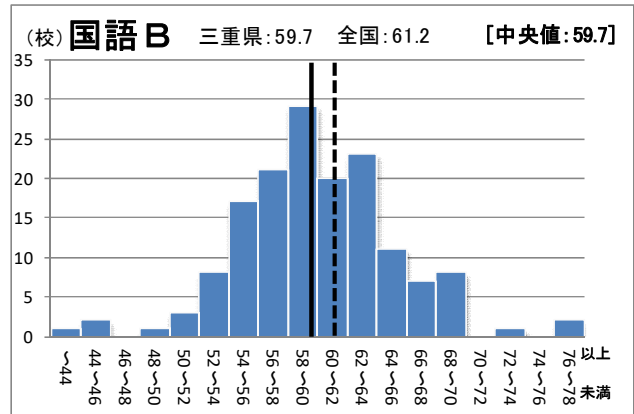
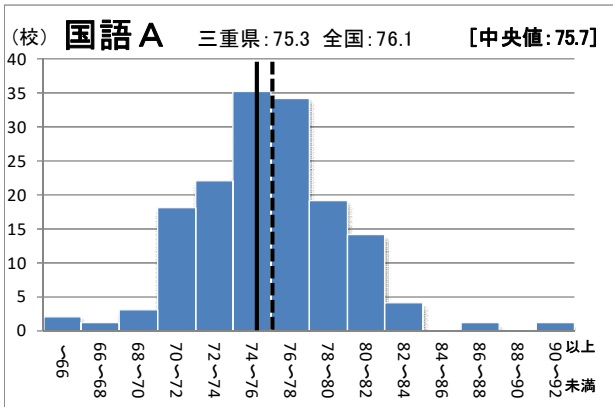


※該当の出題がない年度には印がありません。

2 中学校

平均正答率による学校の分布

- 数学Aでは、全国の平均正答率を上回りましたが、最頻値が平均値及び中央値より右に寄っており、平均正答率の低い学校との差が広がっています。
- 国語A、数学B、理科で、全国の平均正答率を上回る学校数の割合が増加しました。



※各教科の全国の平均正答率を上回る学校数

| | 国語A | 国語B | 数学A | 数学B | 理科 |
|--------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 平成30年度 | 71校 (46.1%) | 55校 (35.7%) | 86校 (55.8%) | 67校 (43.5%) | 83校 (53.9%) |
| 平成29年度 | 68校 (44.2%) | 58校 (37.7%) | 87校 (56.5%) | 65校 (42.2%) | 67校 (41.6%) |

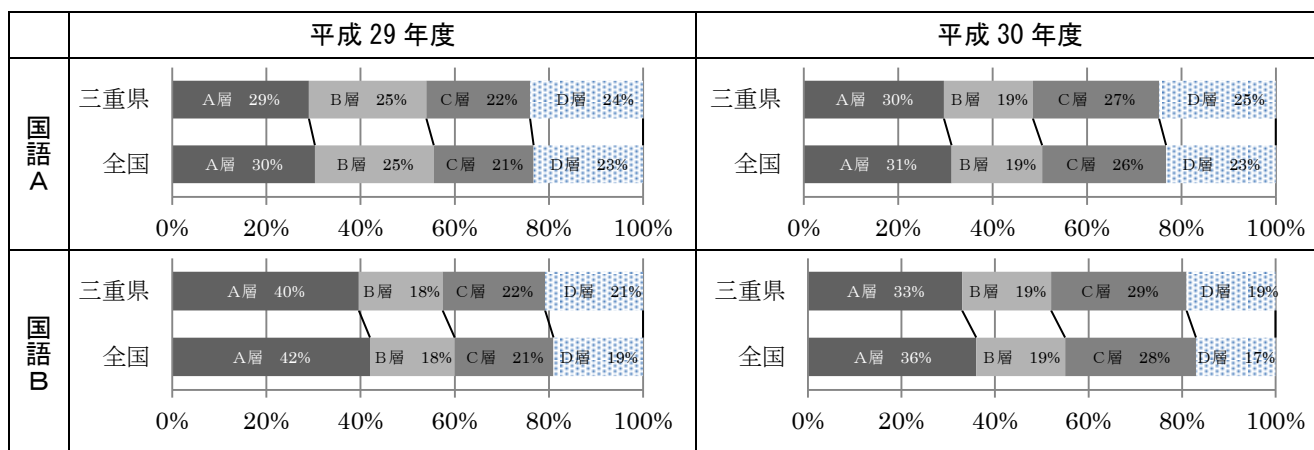
※平成27年度

各教科の学力層

教科に関する調査の各教科の学力層について、全国の状況及び昨年度の状況と比較しました。

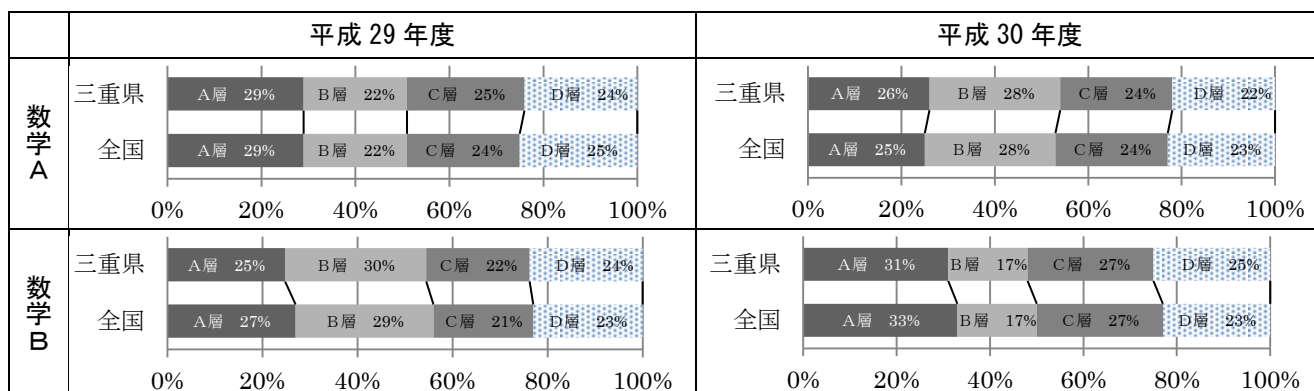
(1) 国語

○国語A・Bともに、昨年度に引き続き、全国よりC・D層の割合が高い状況です。平成29年度調査と平成30年度調査で問題の難易度等は異なりますが、国語Aでは、昨年度に比べB層の割合が減少しC層の割合が増加しています。国語Bでは、昨年度に比べA層の割合が減少しC層の割合が増加しています。



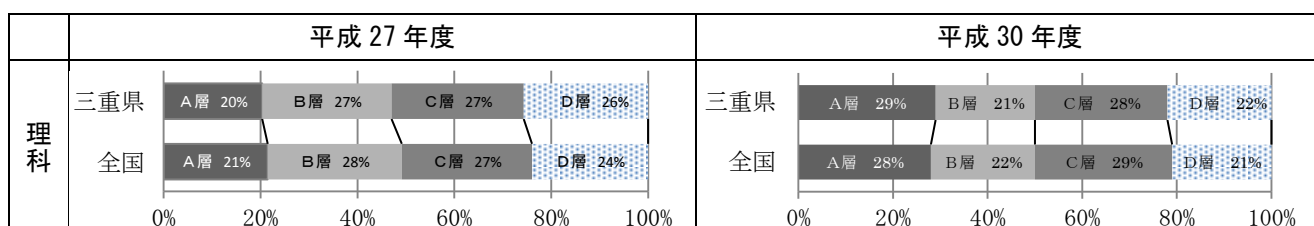
(2) 数学

○数学Aでは、全国よりC・D層の割合が低い状況であり、昨年度より減少しています。
○数学Bでは、全国よりC・D層の割合が高い状況であり、昨年度よりC・D層あわせて6ポイント増加しています。



(3) 理科

○前回よりA層の割合が増加（9ポイント）し、本年度のA・B層の割合が、全国の割合と同じ状況となっています。

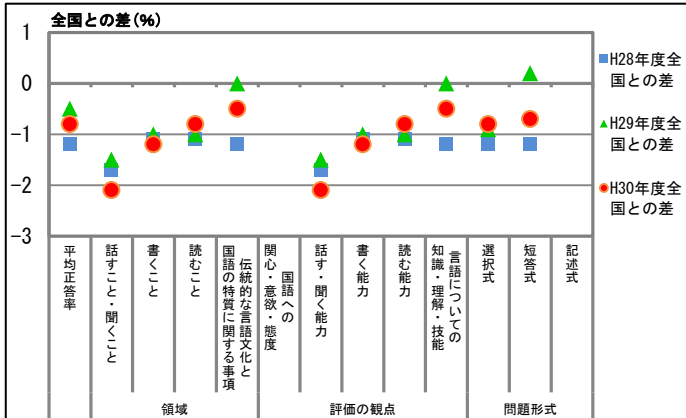


領域、観点、問題形式別分析

(1) 国語

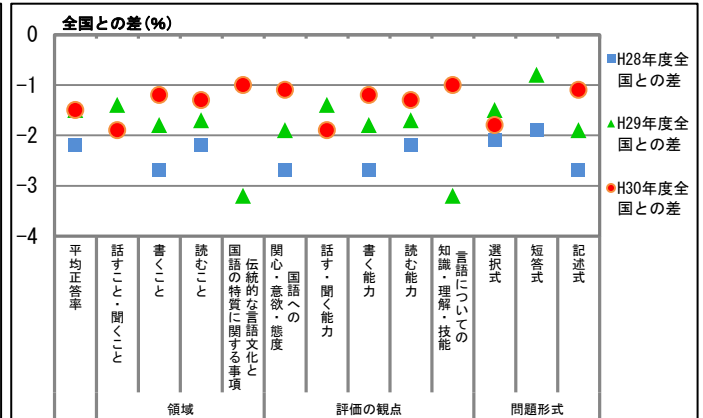
○国語Bでは、「話すこと・聞くこと」以外の領域において、昨年度より改善されました。特に「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域において、昨年度より2.2ポイント改善されました。
 ○国語A・Bともに、「話すこと・聞くこと」の領域において、昨年度より全国平均との差が、広がっています。

<国語A>



※該当の出題がない年度には印がありません。

<国語B>

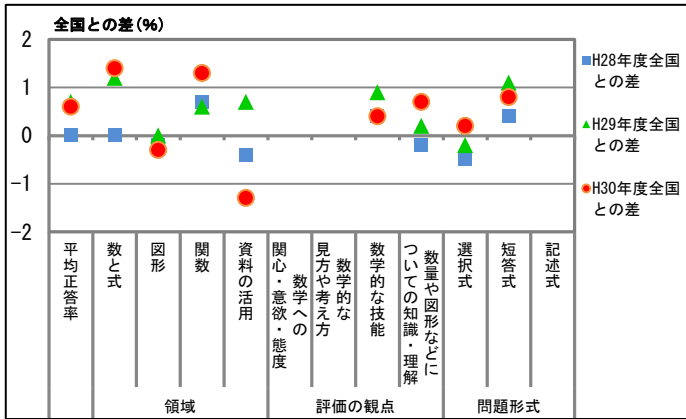


※該当の出題がない年度には印がありません。

(2) 数学

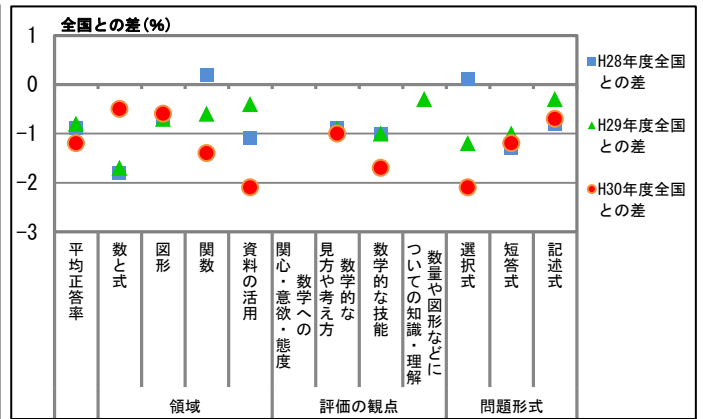
○数学Aでは、「数と式」「関数」の領域において、昨年度より改善されました。
 ○数学Bでは、全ての領域において、全国平均を下回る状況です。
 ○数学A、数学Bともに、「資料の活用」の領域において、昨年度より下降(A:2.0ポイント、B:1.7ポイント)しました。

<数学A>



※該当の出題がない年度には印がありません。

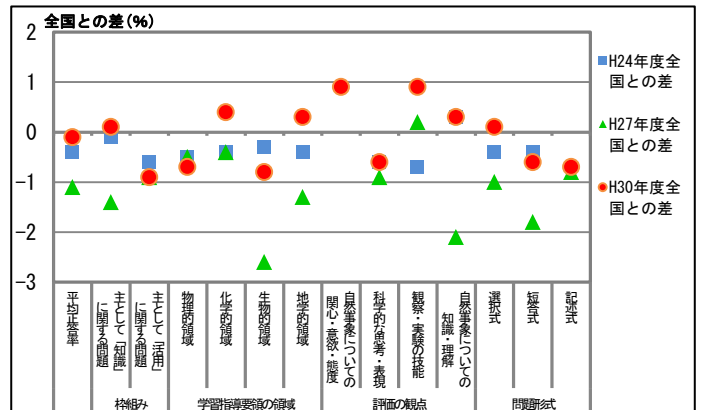
<数学B>



※該当の出題がない年度には印がありません。

(3) 理科

○「化学的領域」、「生物的領域」、「地学的領域」において、前回より改善されました。
 ○評価の観点の「自然事象についての知識・理解」は、前回より2.4ポイント改善され、全国平均を上回る状況になりました。



- 25 - ※該当の出題がない年度には印がありません。

小学校国語

●改善の見られた設問●

国語A 8ウ 【問題の概要】 文の中で漢字を使う

文の中で用いる漢字を正しく選択することができます。

正答と主な誤答例の反応率

1 しょう毒する（①説明をはぶく、②文字をけす、③赤組がかつ から同じ漢字が使われているものを選択）

正 答【②を選択しているもの】反応率：82.5%（全国との差：+0.3）

主な誤答例【①を選択しているもの】反応率：8.4%（全国との差：+0.6）

2 品質をしっかりとかん理している（①かん成した作品、②警察かん、③試験かん から同じ漢字が使われているものを選択）

正 答【③を選択しているもの】反応率：65.5%（全国との差：+0.5）

主な誤答例【②を選択しているもの】反応率：21.1%（全国との差：+0.6）

●課題の見られた設問●

国語B 1三

【問題の概要】これから言葉をどのように使っていきたいかについて、【話し合いの様子の一部】の北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、自分の考えを書く

根拠に基づいて自分の考えを書くことに課題が見られました。

正答と主な誤答例の反応率

正答の条件

① 以下の内容を取り上げて書いている。

a：北川さん、小池さんのいずれかの意見 b：取り上げたことに対してどう考えるのか

② 「これから言葉をどのように使っていきたいか」について自分の考えを書いている。

③ 80字以上、100字以内で書いている。

正 答【条件①a、bの両方と、条件②、③を満たしているもの】 反応率：32.7%（全国との差：-1.1）

主な誤答例

【解答類型3 条件①a、bは満たしているが、②は満たしていないもの】 反応率：17.5%（全国との差：+1.4）

【解答類型8 条件②は満たしているが、条件①a、bは満たしていないもの】 反応率：17.6%（全国との差：-0.7）

＜解答類型別に見たつまずきと指導のポイント＞

自分の考えをまとめる際には、相手の意見を聞いて考えたことや、共感したり納得したりした内容や事例（説明的文章や文学的文章では叙述）を根拠として取り上げ、その根拠に基づいて、自分の考えを筋道を立ててまとめることができるよう指導することが大切です。

解答類型3：自分の考え(これから言葉をどのように使っていきたいか)について書いていない

つまずき1 自分の考えをもつことができない

【指導のポイント】まず、自分の考えをもつ時間や場を明確に設定しましょう。「書くこと」の時間だけでなく、「話すこと・聞くこと」や「読むこと」においても自分の考えをもつ時間や場を意図的に設定しましょう。（全学年）

つまずき2 「言葉や文を取り上げた＝自分の考えを書いた」と誤って捉えている

【指導のポイント】「なぜ、そのように考えたのか。」と問うた時、「○ページの○行目に△△と書いてあるからです。」とのやりとりで終わるだけでなく、「そこからどのようにあなたは考えたのか。」と自分の考えまで言えるように指導しましょう。（第3・4学年）

解答類型8：北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げて書いていない 取り上げた意見に対してどう考えるのかを書いていない

つまずき3 何を根拠として取り上げれば良いのかが分からない

【指導のポイント】自分の考えを伝える場合には、なぜ、そのように考えたのかについての根拠を明確にして伝えることを意識させましょう。話し合い活動では話し手の意見と自分の意見を比べながら聞き、話し手の意見を根拠として取り上げ、自分の考えを伝えるように指導しましょう。（第5・6学年）

つまずき4 取り上げたことに対してどのようにまとめていくのかが分からない

【指導のポイント】事実と感想、意見を区別できるように指導するとともに、具体的事例をどのように配置し、それを自分の意見とどのように結び付けるかなどの文章全体の構成の見本を示すことも大切です。（第5・6学年）

●課題に対応したワークシート●

・三重の学-Viva!!セット第9弾 「話し合いをしよう」【第5学年】

・三重の学-Viva!!セット第10弾 「情景から人物の心情を想像しよう」【第5学年】

中学校国語

●改善の見られた設問●

国語A [8]六1

【問題の概要】「韓非子」の中の語句（いはく）の意味を、現代語訳から抜き出す

古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉えることができています。

1 正答と主な誤答例の反応率

正 答 【「言うには」「言う」「言うに」のいずれかを解答しているもの】

反応率：92.0%（全国との差：+0.9）

主な誤答例【無解答】反応率：4.4%（全国との差：-0.7）

2 過去の類題との経年比較

平成29年度出題 A[9]七1 「徒然草」の中の語句（あやしう）の意味を、現代語訳から抜き出す

正 答 【「不思議と」または「不思議」と解答しているもの】反応率：76.5%（全国との差：-0.7）

主な誤答例【正答以外の解答】反応率：19.8%（全国との差：+0.9）

●課題の見られた設問●

国語A [8]四2

【問題の概要】「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにした上で、「誰（何）」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く

主語を明らかにして文を書くことに課題が見られました。

正答と主な誤答例の反応率

正答の条件

- ① 「心を打たれた」の正しい意味を理解して書いている。
- ② 「心を打たれた」の主語を明確にして書いている。
- ③ 「誰（何）」のことに「心を打たれた」のかが分かるように書いている。
- ④ 「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書いている。
- ⑤ 一文で書いている。

正 答 【解答類型1 条件①②③④⑤を満たしているもの】反応率：20.1%（全国との差：-2.2）

主な誤答例【解答類型5 条件①③④⑤を満たし、②を満たしていないもの】

反応率：65.7%（全国との差：+2.2）

<解答類型別に見たつまずきと指導のポイント>

主語と述語については小学校第1学年から、適切な係り受け、文の構成について各学年で繰り返し学習します。書き言葉としての文章だけでなく、話し言葉としての話の中に含まれる文においても、日常的に意識させて指導することが大切です。

○各学年の指導事項

【小学校第1・2学年】文の中における主語と述語の関係に気付くこと

【小学校第3・4学年】主語と述語の関係について理解すること

【小学校第5・6学年】文の中で語句の係り方や語順について理解すること

【中学校第1学年】単語の類別について理解すること

【中学校第2学年】文の成分の順序や照応などの文の構成について理解すること

解答類型5：主語を明らかにせずに書いている

つまずき1 主語と述語の照応が理解できていない

【指導のポイント】主語を正しく理解していないため、条件の『誰（何）』の』を『誰（何）』が』と混同してしまっていることが考えられます。

文を書く際には、文の成分の順序や主語と述語の照応などを整え、伝えたいことが相手に適切に伝わるようになってきているかを常に吟味するように指導することが大切です。「書くこと」の学習との関連を図り、推敲の際の一つの観点として取り入れることも効果的です。

つまずき2 問題文の文章表現を適切に読み取ることができていない

【指導のポイント】問題文の強調されているところのみに注目し、「主語を明らかにした上で」という条件を読み飛ばしていることが考えられます。

複数の条件がある場合、はじめに出てきた条件を忘れてしまうことがあります。条件に線を引いて確認しながら読むなど、何が求められているのか正確に把握できるよう工夫することが大切です。

●課題に対応したワークシート●

・三重の学-Viva!!セット第11弾 「主述の関係を理解しよう」【(中)第1学年】

・三重の学-Viva!!セット第12弾 「主語・述語の関係を理解しよう」【(中)第1学年】

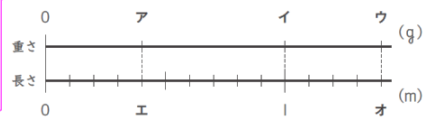
小学校算数

●改善の見られた設問●

算数A[1] (2)

【問題の概要】針金0.4mと、0.4mの重さの60gと、1mの重さが、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ

<選択肢>



1に当たる大きさを求める問題場面において数量の関係を理解し、数直線上に表すことができています。

1 正答と主な誤答例の反応率

正 答【解答類型1 (順にエ、ア、イ) を選択] 反応率：68.0% (全国との差：+1.3)
 主な誤答例【解答類型2～7 (□の場所をイと解答) を選択] 反応率：10.4% (全国との差：-0.4)

2 過去の類題との経年比較

平成29年度出題 A[1] (2) 買ったリボンの長さ、1m当たりのリボンの値段(60円)と、代金が、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ
 正 答【解答類型1 (順にイ、エ、ア) を選択] 反応率：70.4% (全国との差：+0.5)
 主な誤答例【解答類型2～5 (60の場所をイと解答) を選択] 反応率：10.5% (全国との差：-0.7)

●課題の見られた設問●

算数A[7] (1)

【問題の概要】円周率を求める式として正しいものを選ぶ

<選択肢>

- 1 円周の長さ × 半径の長さ
- 2 円周の長さ × 直径の長さ
- 3 円周の長さ ÷ 直径の長さ
- 4 直径の長さ ÷ 円周の長さ

円周率の意味について理解することに課題が見られました。

1 正答と主な誤答例の反応率

正 答【解答類型3 (円周の長さ÷直径の長さ) を選択] 反応率：39.0% (全国との差：-2.6)
 主な誤答例【解答類型2 (円周の長さ×直径の長さ) を選択] 反応率：39.1% (全国との差：+2.1)

2 過去の類題との経年比較

平成20年度出題 A[7] 円周率を求める式として正しいものを選ぶ(円周率は、円周÷□)
 正 答【解答類型2 (直径の長さ) を選択] 反応率：75.3% (全国との差：-1.5)
 主な誤答例【解答類型4 (円の面積) を選択] 反応率：10.7% (全国との差：+1.0)

<解答類型別に見たつまずきと指導のポイント>

円周率について学習する際には、作業的・体験的な活動を通して、「円周率が円周の直径に対する割合」であることを理解できるようにすることが大切です。

解答類型2：「円周の長さ×直径の長さ」を選択

つまずき1

円周率を求める式と円周を求める式を混同して、円周率が「円周の直径に対する割合」であることを捉えられていない



直径の長さの
3倍より長い



直径の長さの
4倍より短い

【指導のポイント】

第3学年「円と球」、第5学年「円周率」
円周の長さは直径の長さの何倍になっているかとの見通しを持たせて捉えさせる

・半径と直径の長さの関係から、正多角形と直径とを比較させ、「直径の長さの3倍より長く、4倍より短い」ことをとらえられるように指導しましょう。

解答類型4：「直径の長さ÷円周の長さ」を選択

つまずき2

もとなる量が「直径の長さ」であることを捉えられていない

【指導のポイント】第5学年「円周率」

身のまわりの円を調べる活動を通して、いつでも円周の長さが「直径の長さの約3.14倍になる」ことに気づかせる

・円周の長さ、直径の長さとの関係に着目させ、円周の長さは直径の長さの何倍になるのかについて見通しをもつことが大切です。表などにまとめさせ、計算して約3.14倍を確かめさせましょう。

| 測ったもの | コップ | お皿 | おぼん | タイヤ |
|-------------|-------|-------|-------|-------|
| 円周の長さ(cm) | 22 | 36.1 | 78.6 | 125.7 |
| 直径の長さ(cm) | 7 | 11.5 | 25 | 40 |
| 円周の長さ÷直径の長さ | 約3.14 | 約3.14 | 約3.14 | 約3.14 |

●課題に対応したワークシート●

- ・三重の学-Viva!!セット第11弾 「円周の長さを比べよう」【第5学年】
- ・わかる・できる育成カリキュラム(図形編) P27 たしかめプリント「円を調べよう」【第3学年】

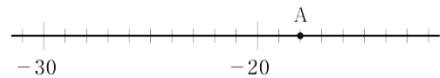
中学校数学

●改善の見られた設問●

数学A 1 (1)

【問題の概要】数直線上の点が表す負の整数の値を読み取る

数直線上に示された負の整数を読み取ることができています。



1 正答と主な誤答例の反応率

正 答【解答類型1 -18と解答しているもの】 反応率：94.8% (全国との差：+0.2)
 主な誤答例【解答類型3 -22と解答しているもの】 反応率：3.3% (全国との差：-0.2)

2 過去の類題との経年比較

平成24年度A 1 (3) 数直線上の点が表す負の整数の値を読み取る
 正 答【解答類型1 -970と解答しているもの】 反応率：65.1% (全国との差：-1.3)
 主な誤答例【解答類型2 -700と解答しているもの】 反応率：11.4% (全国との差：-0.8)

●課題の見られた設問●

数学B 5 (1)

【問題の概要】S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く

里奈さんが作った表

| | S社 | T社 |
|-------------|---------|------------|
| プラン名 | 史跡巡りプラン | 史跡巡りプラン |
| 通常料金 | 1人3500円 | 1人3200円 |
| 団体料金 | 1人2940円 | 通常料金の10%引き |
| 団体料金の利用可能人数 | 8人以上 | 10人以上 |

与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することに課題が見られました。

1 正答と主な誤答例の反応率

◎正答【解答類型1 $\frac{560}{3500} \times 100$ と解答しているもの】 反応率：11.9% (全国との差：-0.9)
 ○正答【解答類型2 16など上記1を計算して百分率を解答しているもの】 反応率：2.5% (全国との差：-0.6)
 主な誤答例【解答類型3 $\frac{560}{3500}$ と解答しているもの】 反応率：20.4% (全国との差：+0.6)

2 過去の類題との経年比較

平成27年度B 5 (1) 1回目の調査で、落とし物の合計のうち、文房具の占める割合を求める式を答える
 ◎正答【解答類型1 $201 \div 305$ または、 $201 \div 305$ を用いた正しい式を解答しているもの】 反応率：37.1% (全国との差：-2.0)
 ○正答【解答類型2 0.66や66%など、上記1を計算して割合を解答しているもの】 反応率：0.0% (全国との差：0.0)
 主な誤答例【解答類型3 $305 \div 201$ または、 $305 \div 201$ を用いた式を解答しているもの】 反応率：14.2% (全国との差：+0.4)

<解答類型別に見たつまずきと指導のポイント>

実生活の場面で、事象を目的に応じて数値化して判断する場面を設定し、与えられた情報から必要な情報を選択して、的確に処理することができるように指導することが大切です。

解答類型3：560/3500と解答しているもの

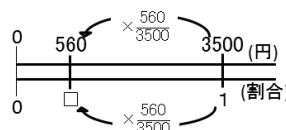
つまずき1
 基準量や比較量を捉えているが、百分率を求める式と割合を求める式の区別ができていない

【指導のポイント】小学校第5学年「百分率」基準とする量の大きさを100として、それに対する割合で表す方法が百分率（パーセント）であることを理解させる
 ・日常生活の場面で百分率を用いる活動を通して、その意味を理解できるように指導しましょう。

解答類型6：3500/560と解答しているもの

つまずき2
 分母にする数と分子にする数を逆にしており、基準量と比較量を捉えられていない

【指導のポイント】小学校第5学年「割合」基準量・比較量・割合を捉え、それらを的確に式に表す活動をさせる
 ・数直線図や比例式を用いて指導しましょう。



3500を1とみたときの値を求めればよいので、
 $560:3500=x:1$
 $x=\frac{560}{3500}$

●課題に対応したワークシート●

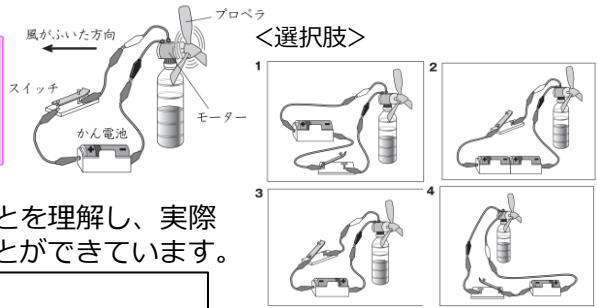
・三重の学-Viva!!セット第12弾 「文字を用いた式（割合）」【第1学年】

小学校理科

●改善が見られた設問●

理科 3 (1)

【問題の概要】 風が吹く方向を変えるためにモーターの回転が逆になる回路を選ぶ



乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを理解し、実際の回路において、電流の向きが逆になる回路を選ぶことができます。

正答と主な誤答例の反応率

正 答【解答類型 3 を選択】 反応率：64.4% (全国との差：+0.9)
 主な誤答例【解答類型 4 を選択】 反応率：17.7% (全国との差：±0.0)

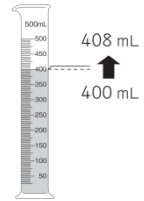
●課題が見られた設問●

理科 4 (3)

【問題の概要】 400mL (400g) の水に 12g の食塩をとかしたら、体積は 408mL になったが、その時の食塩水の重さを求める

<選択肢>

- 1 400g になる。
- 2 408g になる。
- 3 412g になる。
- 4 420g になる。



1 正答と主な誤答例の反応率

正 答【解答類型 3 (412g) を選択】 反応率：38.4% (全国との差：-4.3)
 主な誤答例【解答類型 2 (408g) を選択】 反応率：29.9% (全国との差：+2.0)

2 過去の類題との経年比較

平成 24 年度出題 1 (2) 氷砂糖を水に溶かしたときの全体の重さについて、当てはまるものを選ぶ
 正 答【解答類型 2 (192g と変わっていない) を選択】 反応率：64.2% (全国との差：-12.1)
 主な誤答例【解答類型 3 (192g より重くなっていた) を選択】 反応率：17.4% (全国との差：+ 6.7)

<解答類型別に見たつまずきと指導のポイント>

「物が水に溶ける」ということについては、水に溶けた物は視覚で捉えることができないため、水溶液の重さや体積をはかり、定量的に考えることができるようにすることが大切です。さらに、物が水に溶ける様子を絵や図等を用いて表現することで、質的・実体的な視点で捉えることができるようにすることも考えられます。

解答類型 1 : 「400g」を選択

つまずき 1

食塩が水に溶けると、食塩の重さが無くなると考えていて、物を水に溶かしても「全体の重さは変わらない」ことを捉えられていない

【指導のポイント】 第 5 学年「物の溶け方」

水に溶けて見えなくなった食塩の存在を意識させて考えさせましょう

・物が水に溶ける様子を絵や図等を用いて表現することで、質的・実体的な視点で捉えさせましょう。

解答類型 2 : 「408g」を選択

つまずき 2

食塩水の増えた体積分だけ全体の重さも増えると考えていて、増えた体積分 (8 mL) が、溶かした食塩の重さと捉えている

【指導のポイント】 第 3 学年「物と重さ」

物は、体積が同じでも重さは違うことがあることを捉えさせる

・「水は 1 mL が 1 g」という既習の内容とともに、「同じ体積のものは、物の種類がちがうと重さがちがう」とこと関連付けて、食塩水 8 mL は 8g でないことを捉えさせましょう。

●課題に対応したワークシート●

- ・三重の学-Viva!!セット第 11 弾 「水に溶けた物のゆくえ」【第 5 学年】
- ・平成 26 年度 ワークシート 「物が水に溶ける・溶けない」【第 5 学年】

中学校理科

●改善の見られた設問●

理科 8 (1)

【問題の概要】アルミニウムの原子の記号を選ぶ

<選択肢>

ア AL イ Al ウ aL エ al

アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身に付けています。

1 正答と主な誤答例の反応率

正 答【イを選択】 反応率：84.1% (全国との差：+0.6)
 主な誤答例【アを選択】 反応率：6.2% (全国との差：-0.3)
 【エを選択】 反応率：6.4% (全国との差：-0.3)

2 過去の類題との経年比較

平成27年度出題

1 (1) 塩化ナトリウムの化学式を選ぶ

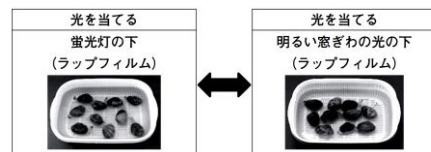
ア NaCl イ ClNa ウ Nacl エ Clna

正 答【アを選択】 反応率：79.2% (全国との差：-0.4)
 主な誤答例【イを選択】 反応率：10.7% (全国との差：-0.1)
 【ウを選択】 反応率：9.1% (全国との差：+0.7)

●課題の見られた設問●

理科 2 (4)

【問題の概要】1つの要因を変えるとその他にも変わる可能性のある要因を指摘できる



アサリが出す砂の質量と明るさの関係について調べる実験において、1つの要因（明るさ）を変え（蛍光灯の下と明るい窓ぎわの光の下で比較する）と、その他にも変わる可能性のある要因（水温、気温、温度など）を指摘することに課題が見られました。

正答と主な誤答例の反応率

正 答【「温度」「蒸発による水の量の変化」「蒸発による濃度の変化」「水温の上昇による水に溶けた気体の量」に関して記述しているもの】 反応率：57.4% (全国との差：-3.9)
 主な誤答例【「光」に関して記述しているもの】 反応率：13.8% (全国との差：+1.8)
 【「砂」に関して記述しているもの】 反応率：5.6% (全国との差：+0.8)
 【「アサリ」に関して記述しているもの】 反応率：5.1% (全国との差：+0.2)

<解答類型別に見たつまずきと指導のポイント>

科学的に探究する能力の基礎や態度を育成する上で、自然の事物・現象の中から要因を抽出し、適切に条件を制御して観察・実験を計画することが大切です。

次に示す解答類型5～7には、実験の条件を制御することに課題があると考えられます。

解答類型5：「光」に関して記述しているもの

つまずき1

「光」は「変える条件」(独立変数)であることを捉えられていない

【指導のポイント】

第2学年「動物の生活の生物の変遷」

解答類型6：「砂」に関して記述しているもの

つまずき2

「砂の量」は条件を制御して実験を行った「結果」(従属変数)であることを捉えられていない

はじめに「変化すること(従属変数)」と「原因として考えられる要因」を全て挙げ、それらの妥当性を検討します。次にそれらの要因を「変える条件(独立変数)」と「変えない条件」に整理して、実験を計画する学習場面を設定することが考えられます。

解答類型7：「アサリ」に関して記述しているもの

つまずき3

アサリの状態や個体差を考慮して、複数の個体を使って「変えない条件」として制御していることを捉えられていない

その際、「変化すること(従属変数)」以外に「変える条件(独立変数)」に伴って「変わってしまう条件」について検討することが大切です。

●課題に対応したワークシート●

・三重の学-Viva!!セット第12弾 「種子の発芽に必要な条件」【第1学年】

第3章 質問紙調査結果の分析

1

児童生徒の自尊感情・自己肯定感等、学習に対する興味・関心に関する状況

「自分には、よいところがある」「先生はあなたのよいところを認めてくれる」との質問に、肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度より増加し、本年度、児童（小学生）は約8割となりました。生徒（中学生）は全国を上回る状況にあります。また、「算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」との質問に、肯定的に回答している児童生徒（小中学生）の割合も、昨年度より増加し、全国を上回る状況にあるなど、学習に対する興味・関心に関する質問の肯定的に回答している児童生徒の割合が、全国と比較して上回る質問項目もあります。

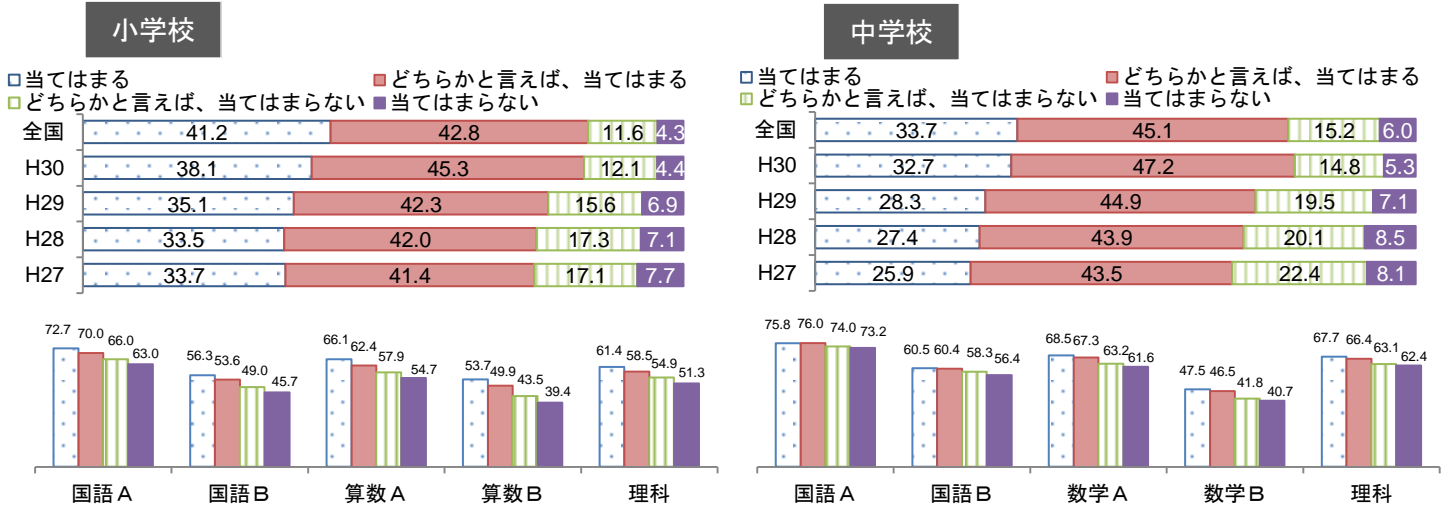
自尊感情や学習に対する興味・関心に関する質問において、肯定的に回答した児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られます。

これからも、多くの大人が子どもたちに関わり、認め、励ましなが、子どもたちの自尊感情や、学習に対する興味・関心をさらに高めていくことが大切です。

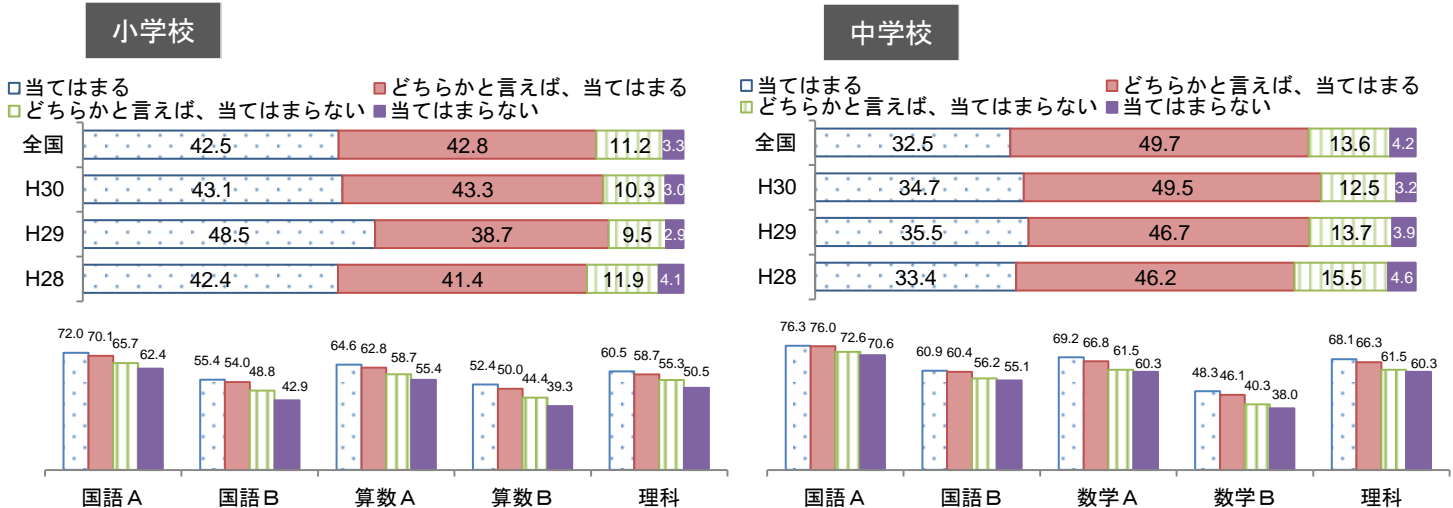
<グラフの見方>

- ・上段の帯グラフは、質問に対する回答別の割合を示します。年度の帯グラフは、本県の経年の状況を示します。
- ・下段の棒グラフは、質問に対する回答別の平均正答率（H30年度）を示します。
- ・グラフの値は四捨五入した値のため、合計が100%にならない場合があります。

【児童生徒質問紙】（1）自分には、よいところがあると思いますか



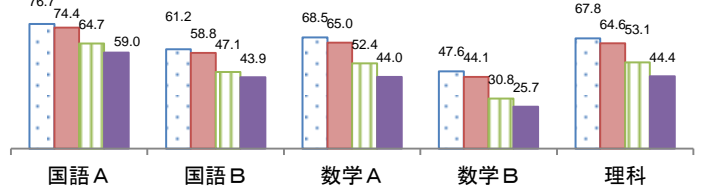
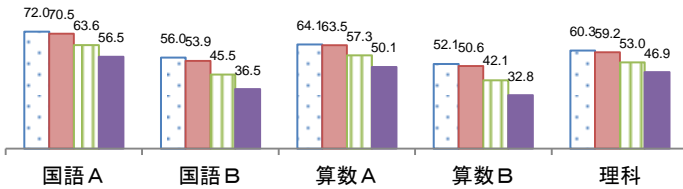
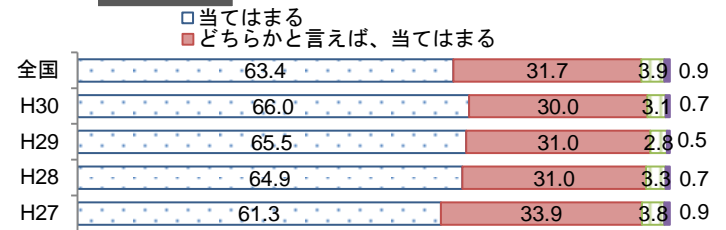
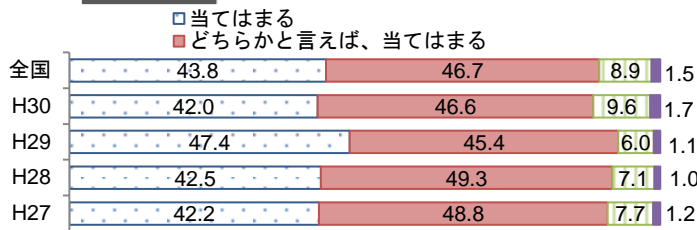
【児童生徒質問紙】（2）先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



【児童生徒質問紙】(4) 学校のきまり(規則)を守っていますか

小学校

中学校

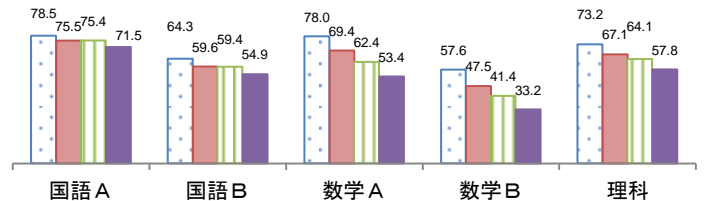
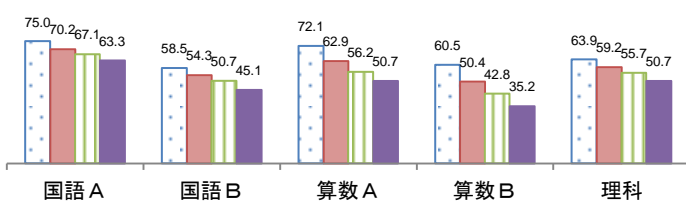
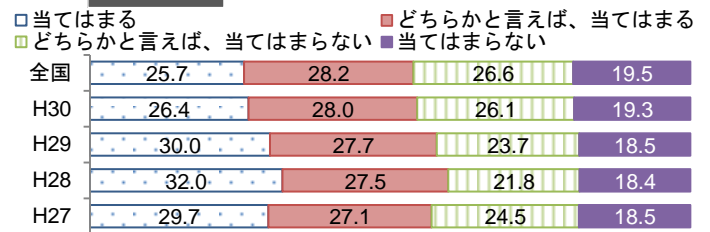
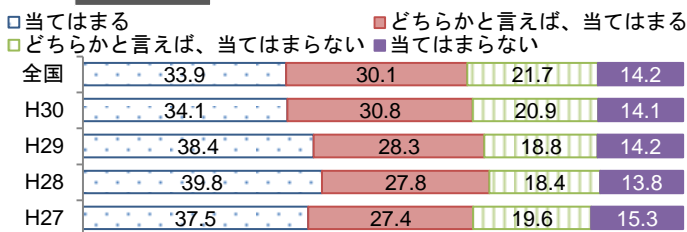


- ・小学校では国語B、算数Bで、中学校では数学A・B、理科で平均正答率と大きな関連が見られます。
- ・論理的に考えたり、相手の言葉を受け止め、伝え合う言葉を持ったりすることが規範意識にも影響していると考えられます。
- ・授業規律が守られているクラスでは、子どもたち一人ひとりの学習活動(考えたり、表現したりすること)が確実に保証されることから、平均正答率に影響していると考えられます。

【児童生徒質問紙】(27) 算数(数学)の勉強は好きですか

小学校

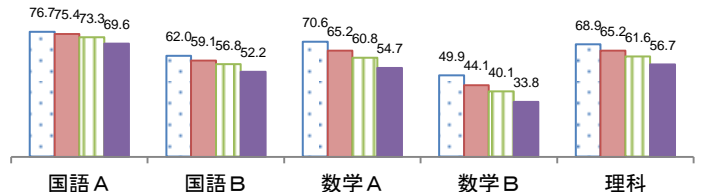
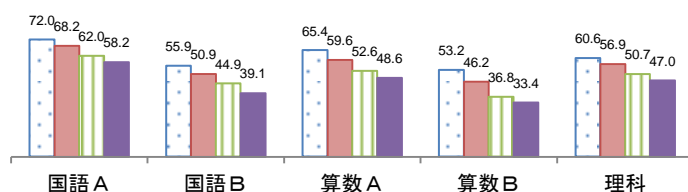
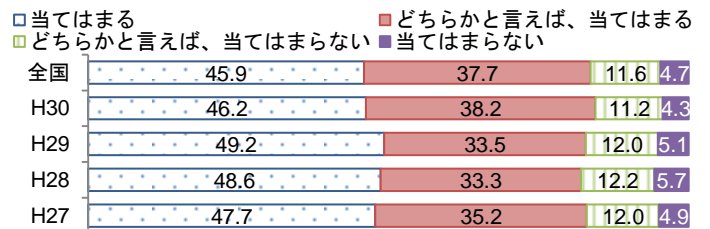
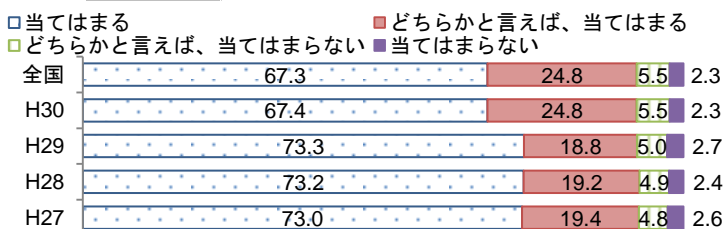
中学校



【児童生徒質問紙】(28) 算数(数学)の勉強は大切だと思いますか

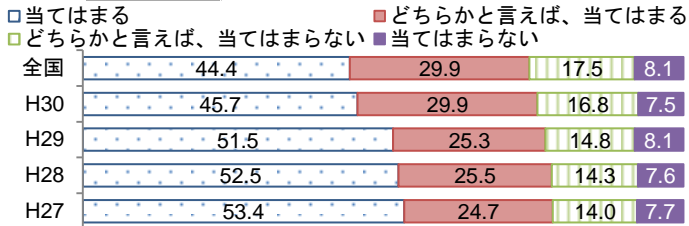
小学校

中学校

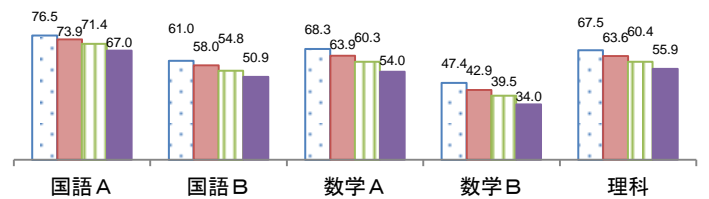
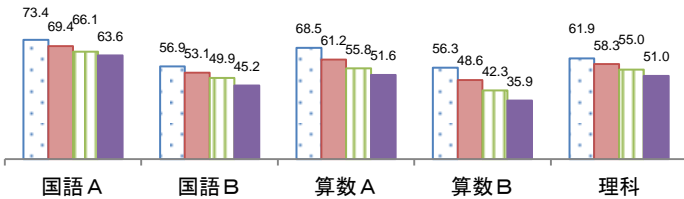
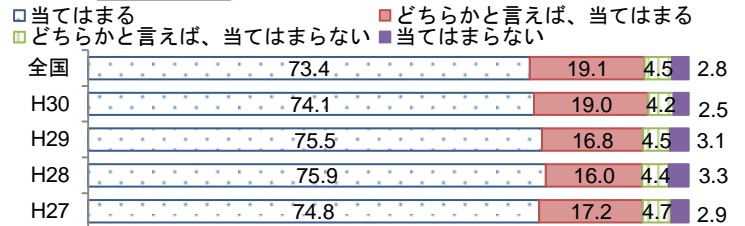


【児童質問紙】(30) 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか
 【生徒質問紙】(30) 数学ができるようになりたいと思いますか

小学校

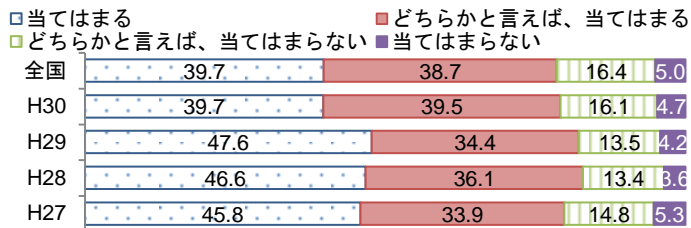


中学校

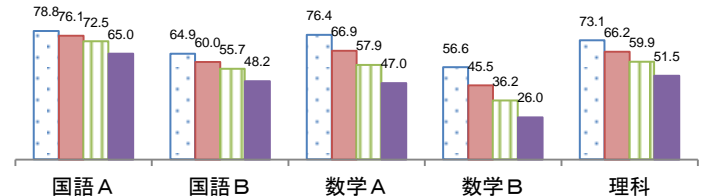
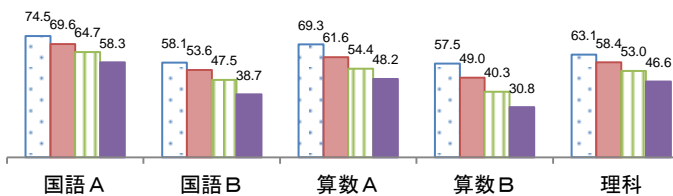
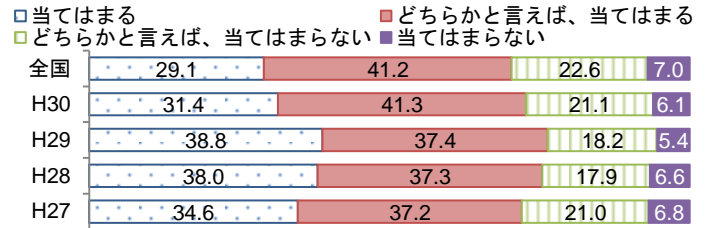


【児童生徒質問紙】(31) 算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか

小学校

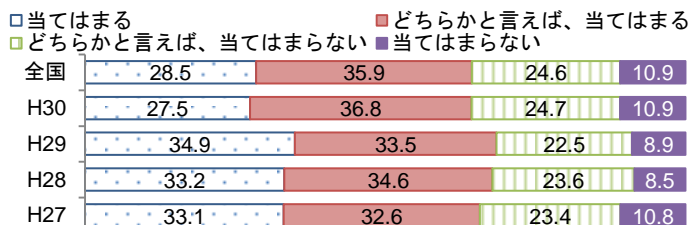


中学校

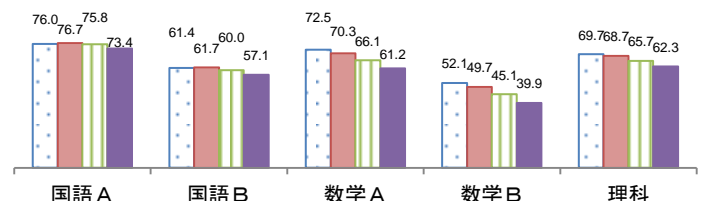
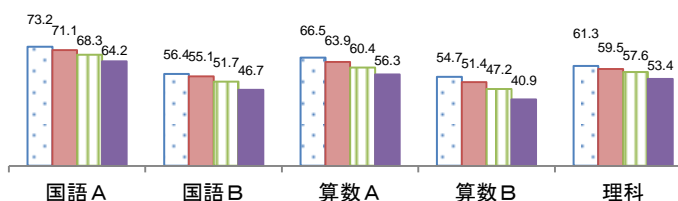
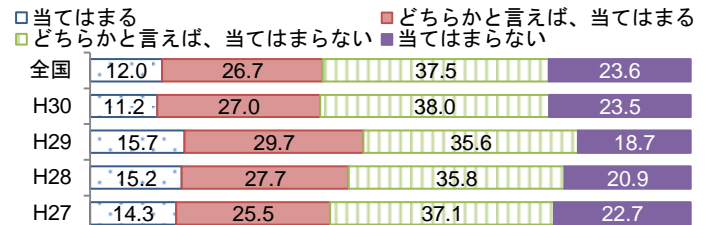


【児童生徒質問紙】(32) 算数(数学)の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか

小学校

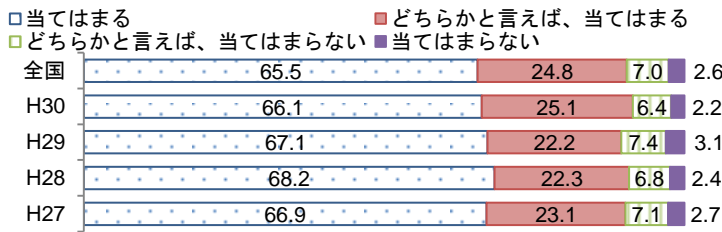


中学校

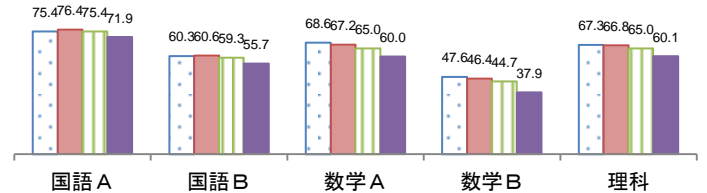
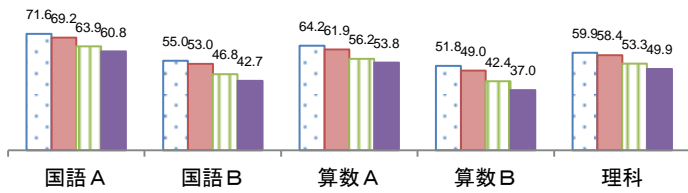
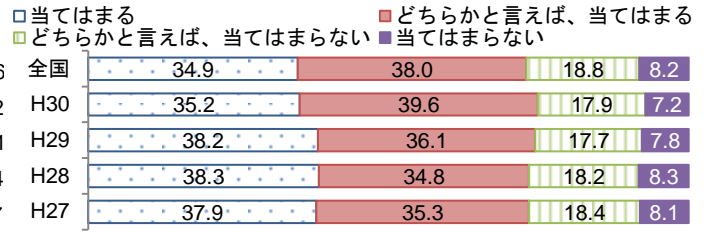


【児童生徒質問紙】(33) 算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

小学校

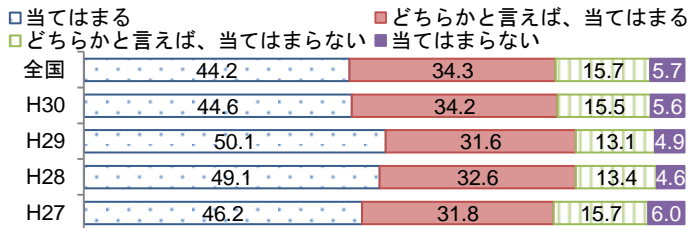


中学校

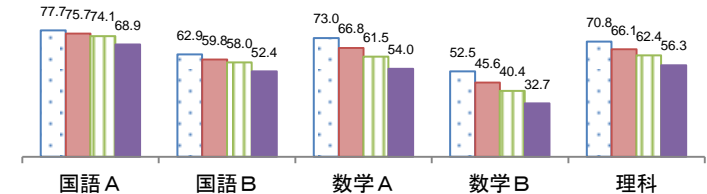
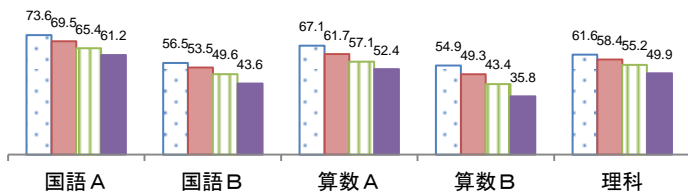
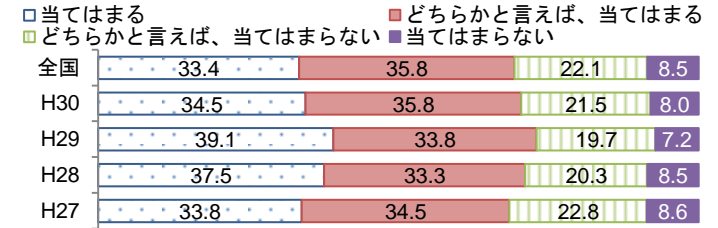


【児童生徒質問紙】(34) 算数(数学)の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか

小学校

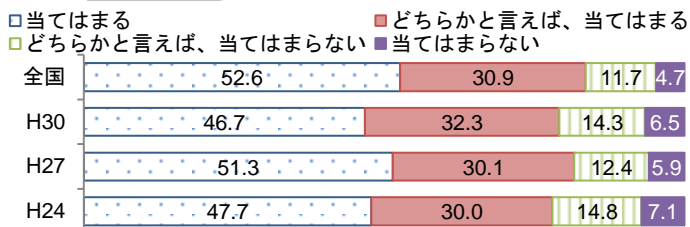


中学校

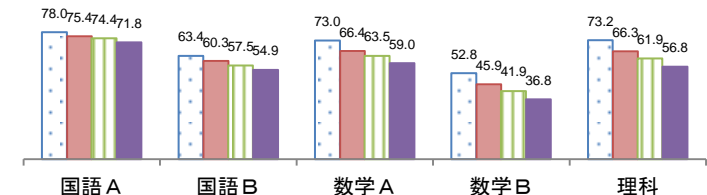
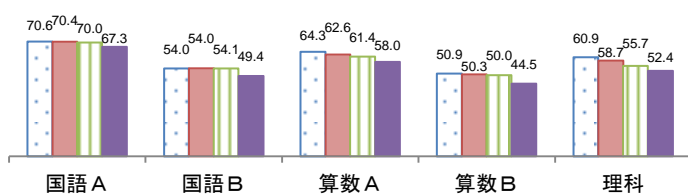
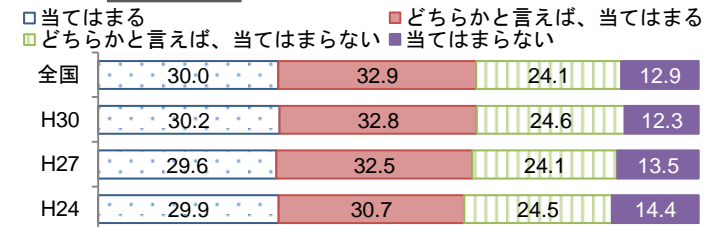


【児童生徒質問紙】(38) 理科の勉強は好きですか

小学校



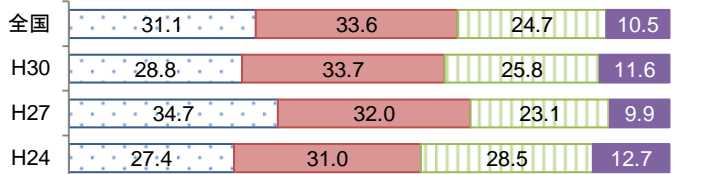
中学校



【児童生徒質問紙】(42) 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか

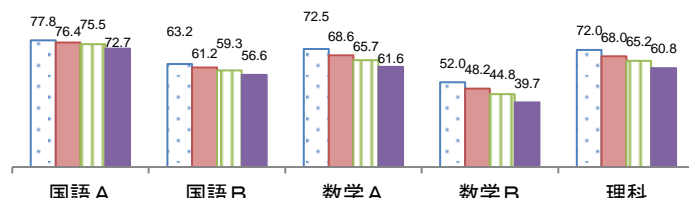
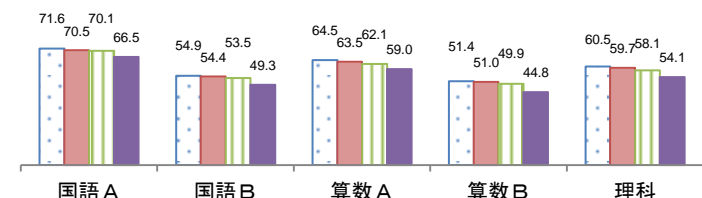
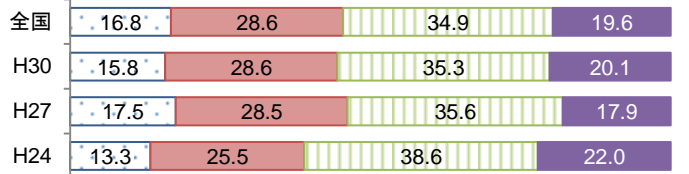
小学校

□当てはまる
 ■どちらかと言えば、当てはまる
 ▨どちらかと言えば、当てはまらない
 ■当てはまらない



中学校

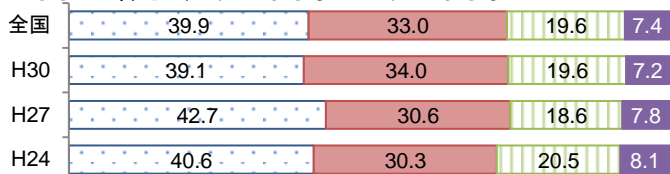
□当てはまる
 ■どちらかと言えば、当てはまる
 ▨どちらかと言えば、当てはまらない
 ■当てはまらない



【児童生徒質問紙】(43) 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

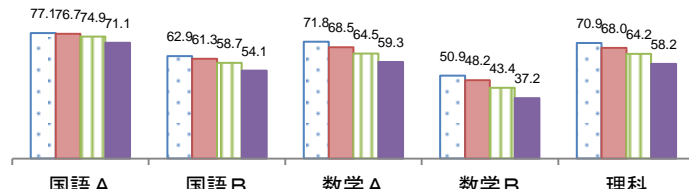
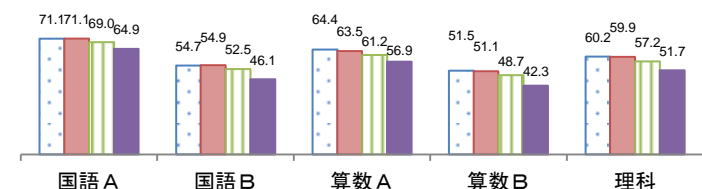
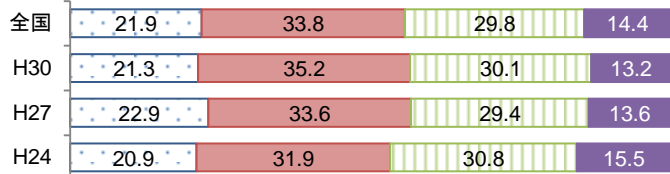
小学校

□当てはまる
 ■どちらかと言えば、当てはまる
 ▨どちらかと言えば、当てはまらない
 ■当てはまらない



中学校

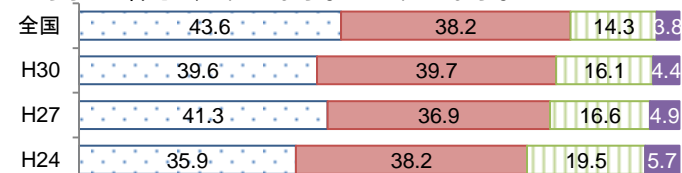
□当てはまる
 ■どちらかと言えば、当てはまる
 ▨どちらかと言えば、当てはまらない
 ■当てはまらない



【児童質問紙】(49) 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのかを考えていますか
 【生徒質問紙】(49) 理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか

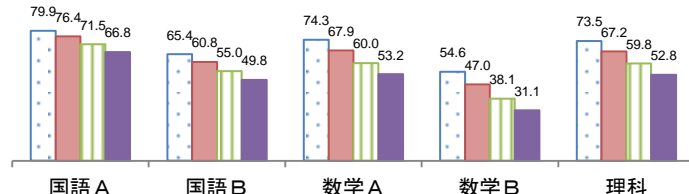
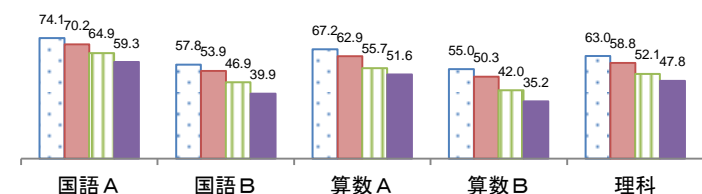
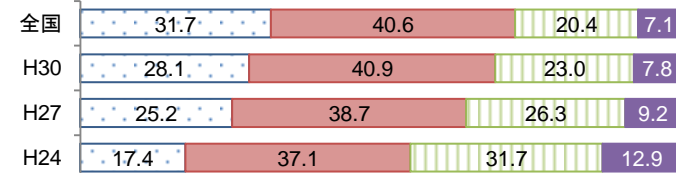
小学校

□当てはまる
 ■どちらかと言えば、当てはまる
 ▨どちらかと言えば、当てはまらない
 ■当てはまらない



中学校

□当てはまる
 ■どちらかと言えば、当てはまる
 ▨どちらかと言えば、当てはまらない
 ■当てはまらない



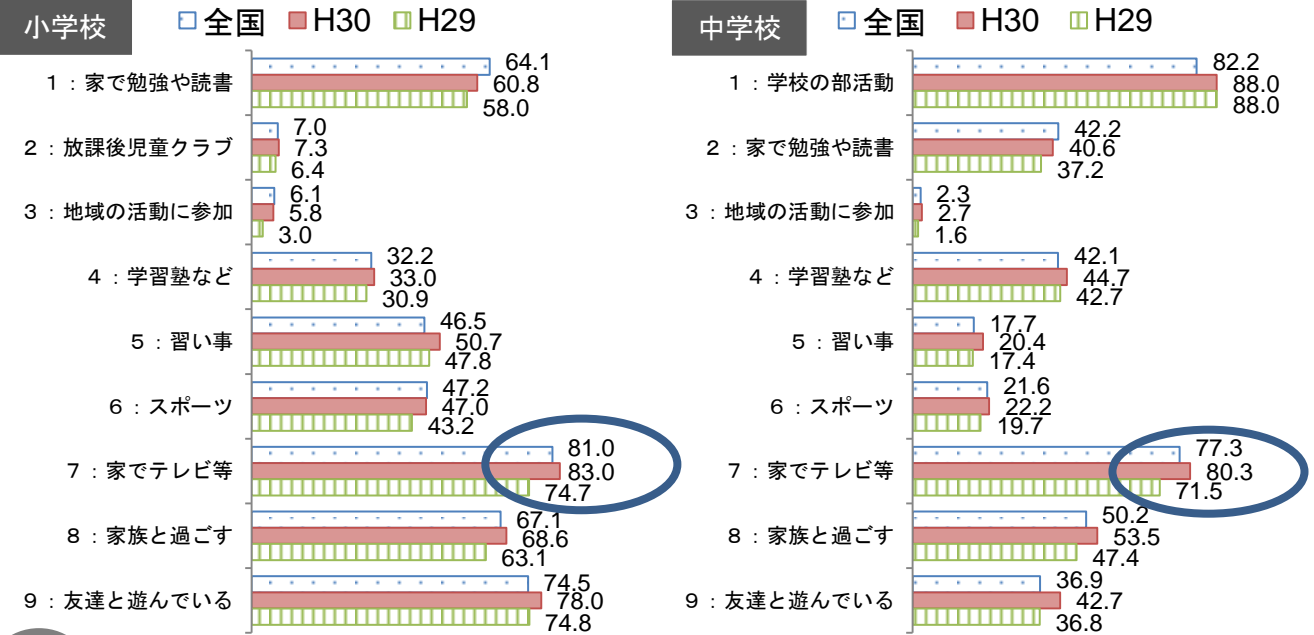
2 児童生徒の放課後の過ごし方に関する状況

「放課後に何をしておこなうことが多いですか」との質問に、「テレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている」と回答した児童生徒（小中学生）の割合は昨年度より増加し、8割を超え、全国を上回る状況にあります。

テレビ、ゲーム、スマートフォン等の使用について、家庭で話し合ってルールを決めて守り、自己管理能力を育てることが大切です。

＜グラフの見方＞
 ・棒グラフは、質問に対する回答別の割合を示します。
 ・グラフの値は四捨五入した値のため、合計が100%にならない場合があります。

【児童生徒質問紙】(16) 放課後に何をしておこなうことが多いですか（当てはまるもの全て選択）



3 児童生徒の家の人との対話に関する状況

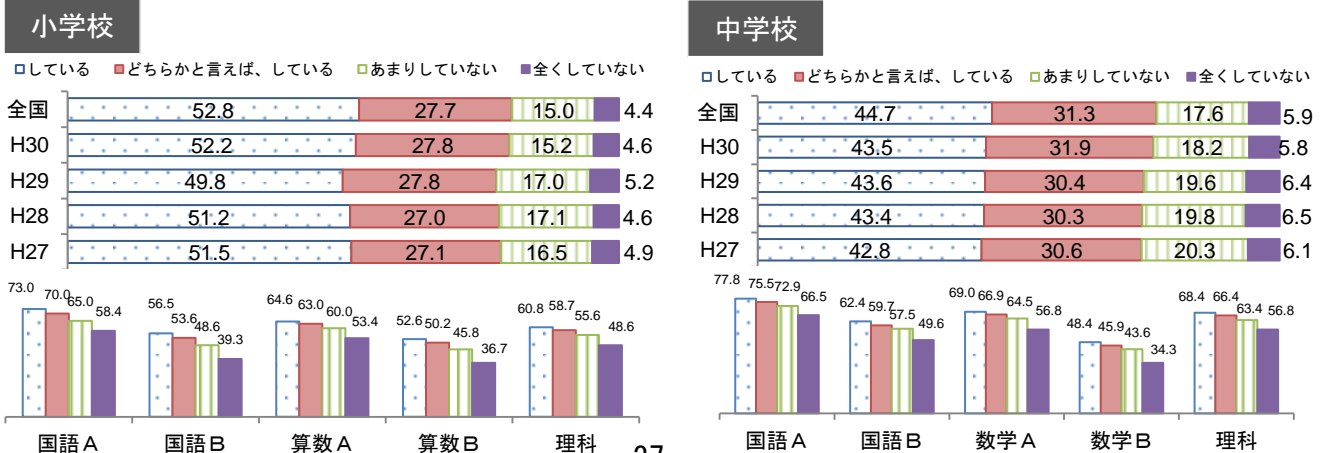
「家の人と学校での出来事について話をしますか」との質問に、肯定的に回答した児童生徒（小中学生）の割合は昨年度より増加し、児童（小学性）は8割となりましたが、児童生徒ともに全国を下回る状況にあります。

対話をしている児童生徒と全くしていない児童生徒の平均正答率は、全教科で10ポイント以上の差が見られます。

家族でコミュニケーションを深める時間を計画的に取り入れていくことが大切です。

＜グラフの見方＞
 ・上段の帯グラフは、質問に対する回答別の割合を示します。年度の帯グラフは、本県の経年の状況を示します。
 ・下段の棒グラフは、質問に対する回答別の平均正答率（H30年度）を示します。
 ・グラフの値は四捨五入した値のため、合計が100%にならない場合があります。

【児童生徒質問紙】(18) 家の人と学校での出来事について話をしますか



4 児童生徒の家庭学習に関する状況

「学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」との質問に、「1時間以上勉強している（平日）」と回答した児童生徒（小中学生）の割合は、昨年度より増加し、改善されていますが、依然として全国を下回る状況にあります。また、「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」との質問に、肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度より増加し、生徒（中学生）は、全国を上回る状況にあります。

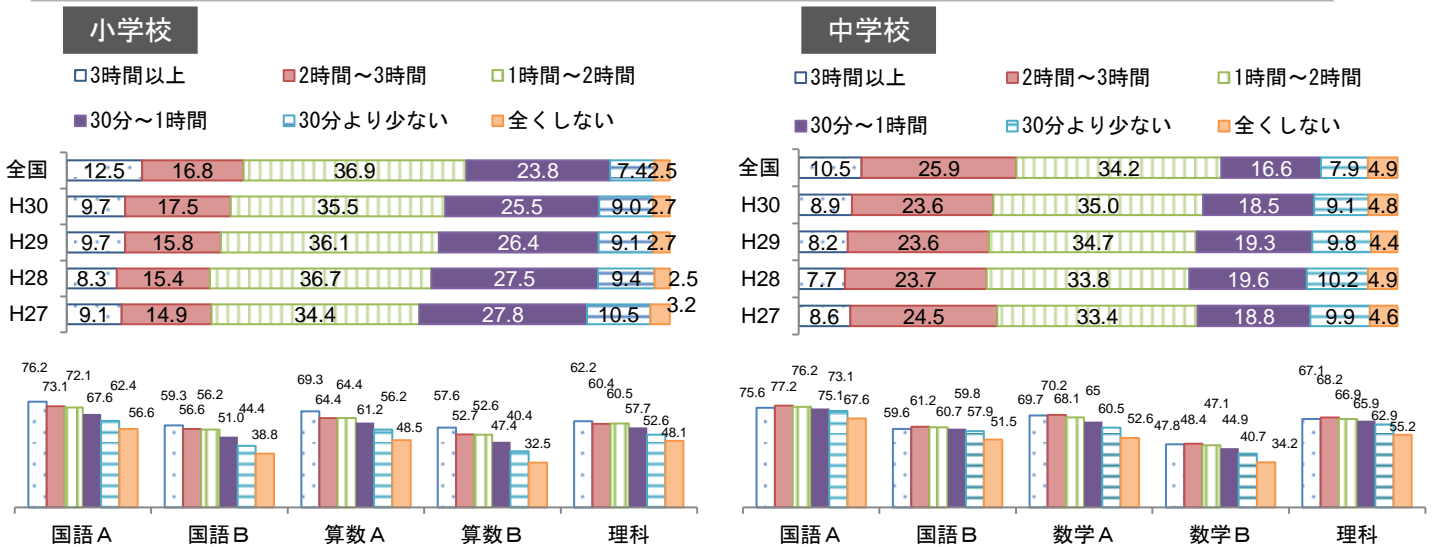
学習習慣（小：1時間以上、中：1～3時間）が確立されている児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られます。中学校は、平日の学習時間が「2時間以上、3時間未満」と回答した生徒の平均正答率が全ての教科で最も高くなっています。

睡眠時間を確保しつつ授業の復習を含めた学習の時間が取れるよう、計画を立てることが必要です。

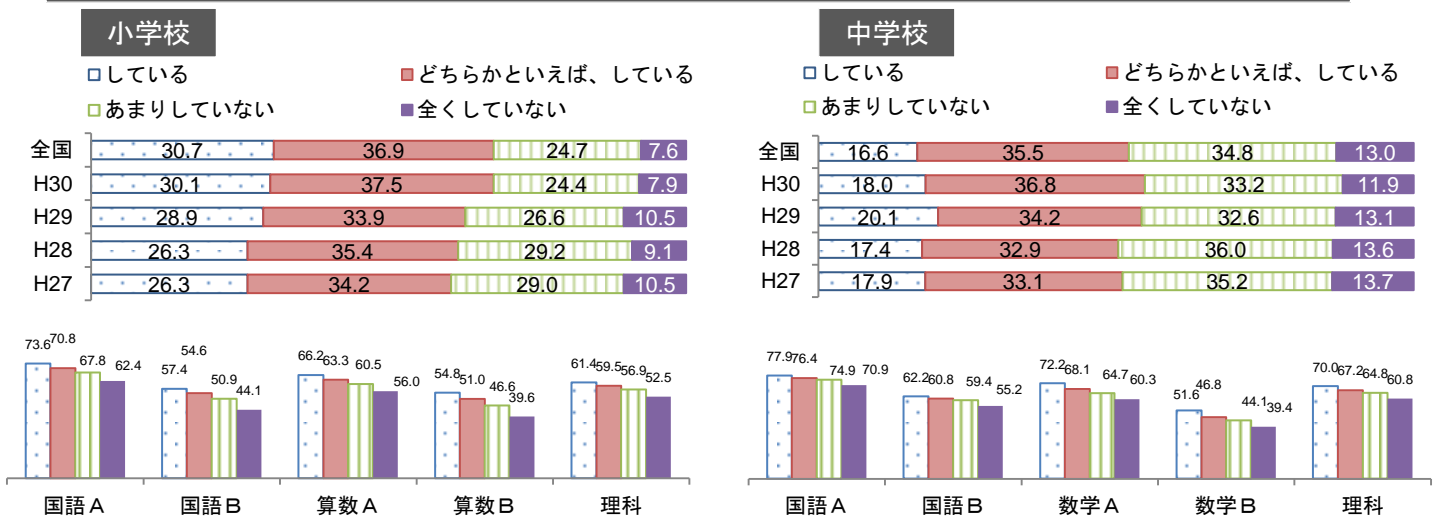
<グラフの見方>

- ・上段の帯グラフは、質問に対する回答別の割合を示します。年度の帯グラフは、本県の経年の状況を示します。
- ・下段の棒グラフは、質問に対する回答別の平均正答率（H30年度）を示します。
- ・グラフの値は四捨五入した値のため、合計が100%にならない場合があります。

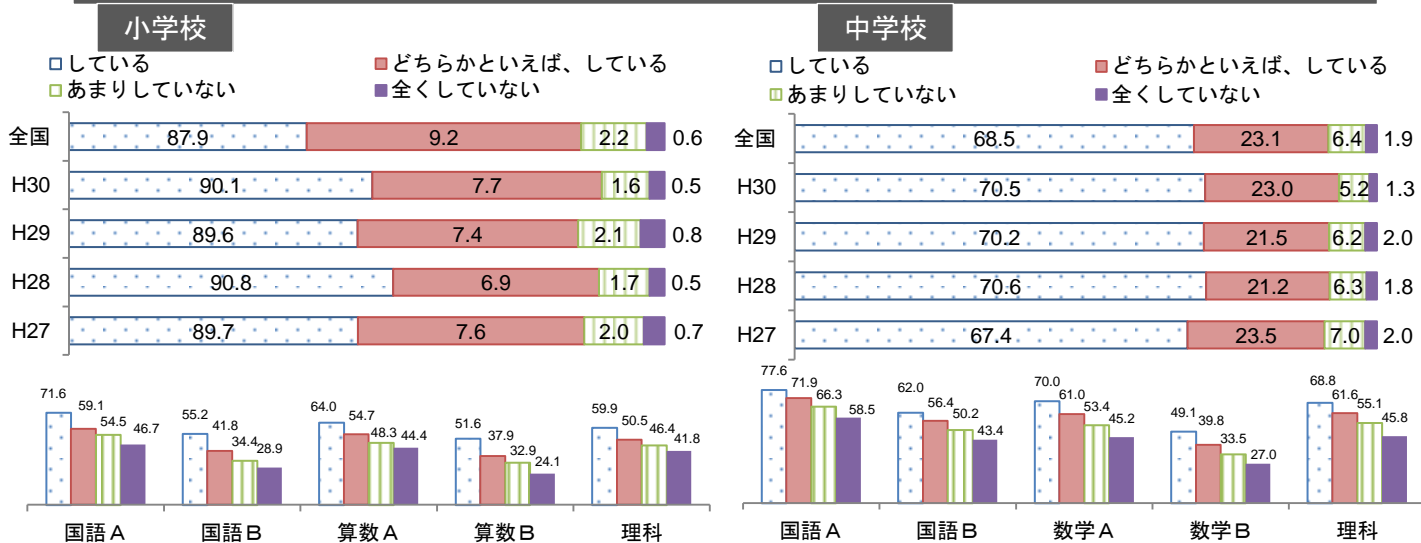
【児童生徒質問紙】(14) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）



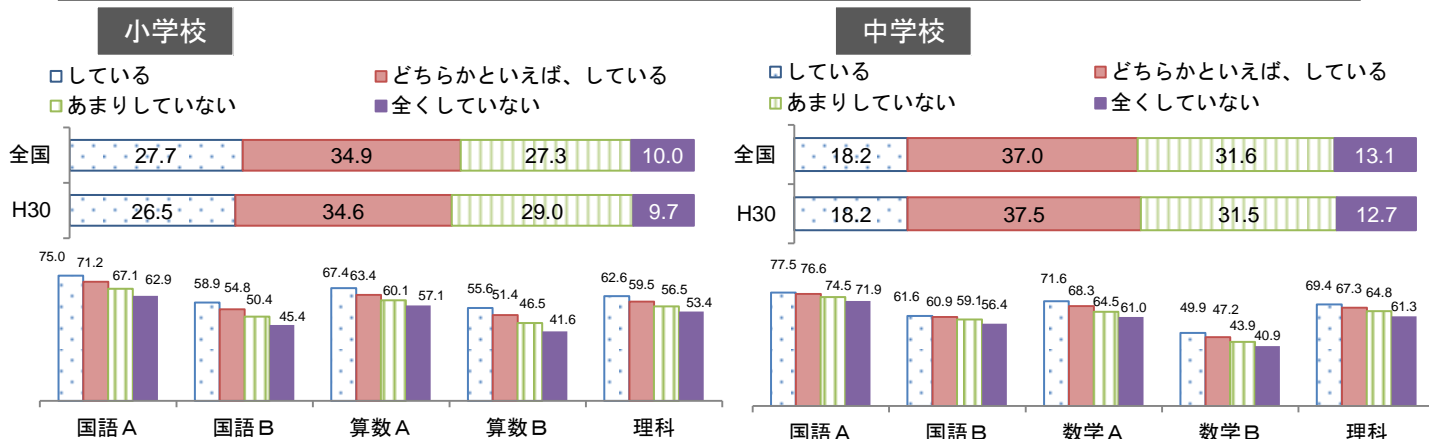
【児童生徒質問紙】(10) 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



【児童生徒質問紙】(11) 家で、学校の宿題をしていますか



【児童生徒質問紙】(12) 家で、学校の授業の予習・復習をしていますか



5 児童生徒の読書習慣に関する状況

「学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」との質問に、「授業時間以外に10分以上読書をしている（平日）」と回答した児童生徒（小中学生）の割合は、昨年度に比べて増加し、改善されていますが、依然として全国を下回る状況です。

読書習慣（小中とも10分以上）が確立されている児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られます。

大人自身が率先して読書を行い、読んだ本について語り合うことなどをおして家庭読書（家読（うちどく））を促進し、子どもたちの生涯にわたる読書習慣を確立することが大切です。

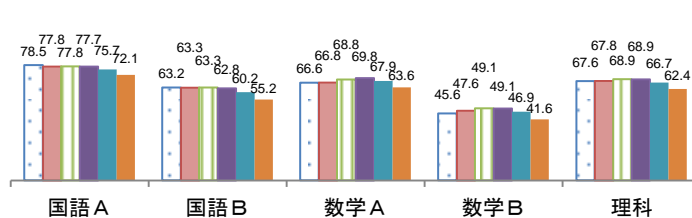
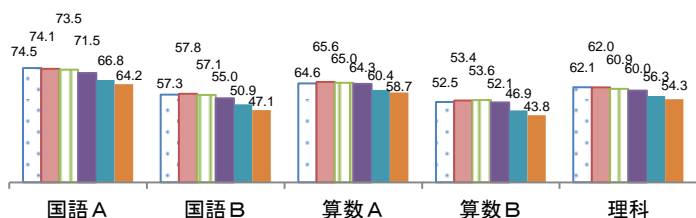
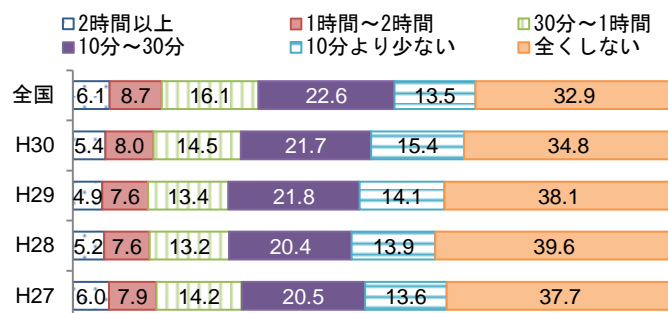
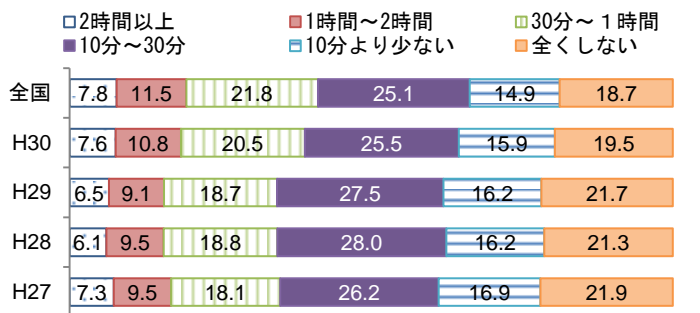
<グラフの見方>

- ・上段の帯グラフは、質問に対する回答別の割合を示します。年度の帯グラフは、本県の経年の状況を示します。
- ・下段の棒グラフは、質問に対する回答別の平均正答率（H30年度）を示します。
- ・グラフの値は四捨五入した値のため、合計が100%にならない場合があります。

【児童生徒質問紙】(15) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

小学校

中学校



6

主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善に関する状況

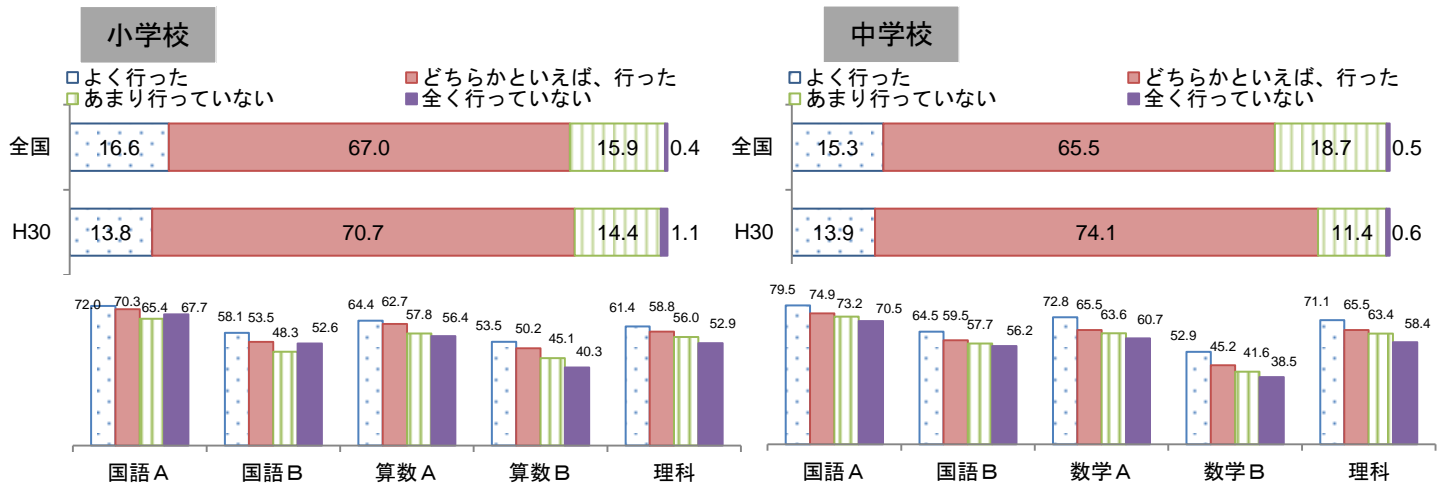
学校に対し「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか（新規）」との質問に、肯定的に回答した小中学校の割合は8割を超え、全国を上回る状況にあります。また、児童生徒（小中学生）に対し「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思いますか（新規）」との質問に、肯定的に回答した児童生徒の割合は7割を超えています。この質問に肯定的に回答した児童生徒の方が、全教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

児童生徒が課題の解決に向けて自ら進んで取り組めるよう、引き続き、学習の見通しを持てるめあての提示や、学習内容での振り返る活動の設定、発問内容や授業形態を工夫することが大切です。

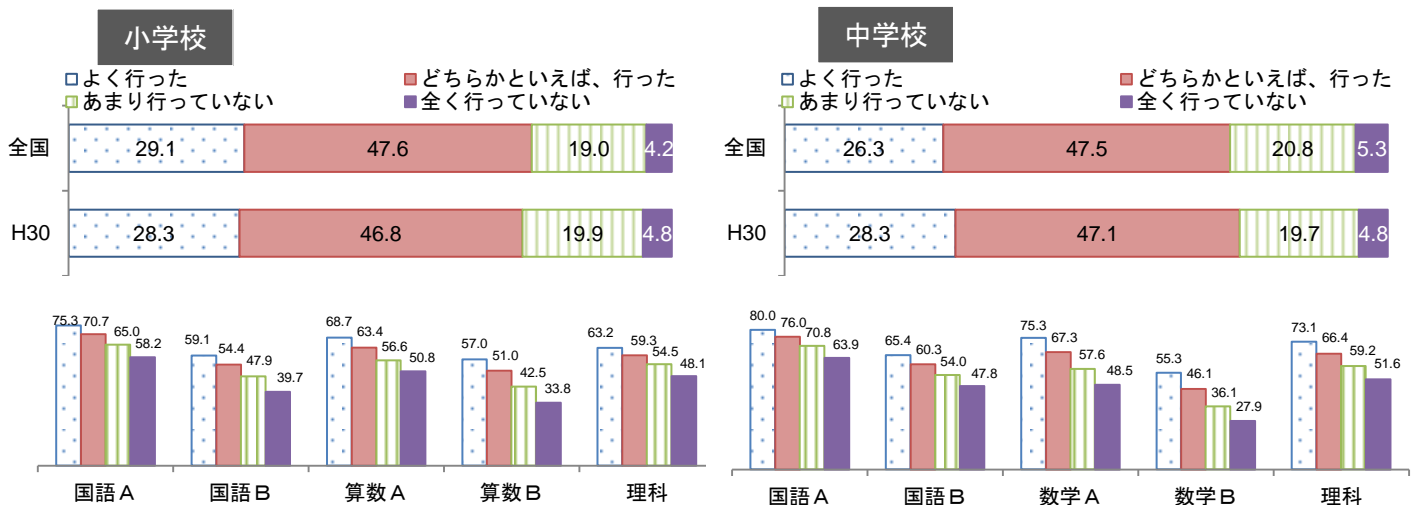
<グラフの見方>

- ・上段の帯グラフは、質問に対する回答別の割合を示します。年度の帯グラフは、本県の経年の状況を示します。
- ・下段の棒グラフは、質問に対する回答別の平均正答率（H30年度）を示します。
- ・グラフの値は四捨五入した値のため、合計が100%にならない場合があります。

【学校質問紙】(13) 調査対象学年の児童生徒は、授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか（新規）



【児童生徒質問紙】(55・52) 5年生まで [1、2年生のとき]に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思いますか（新規）

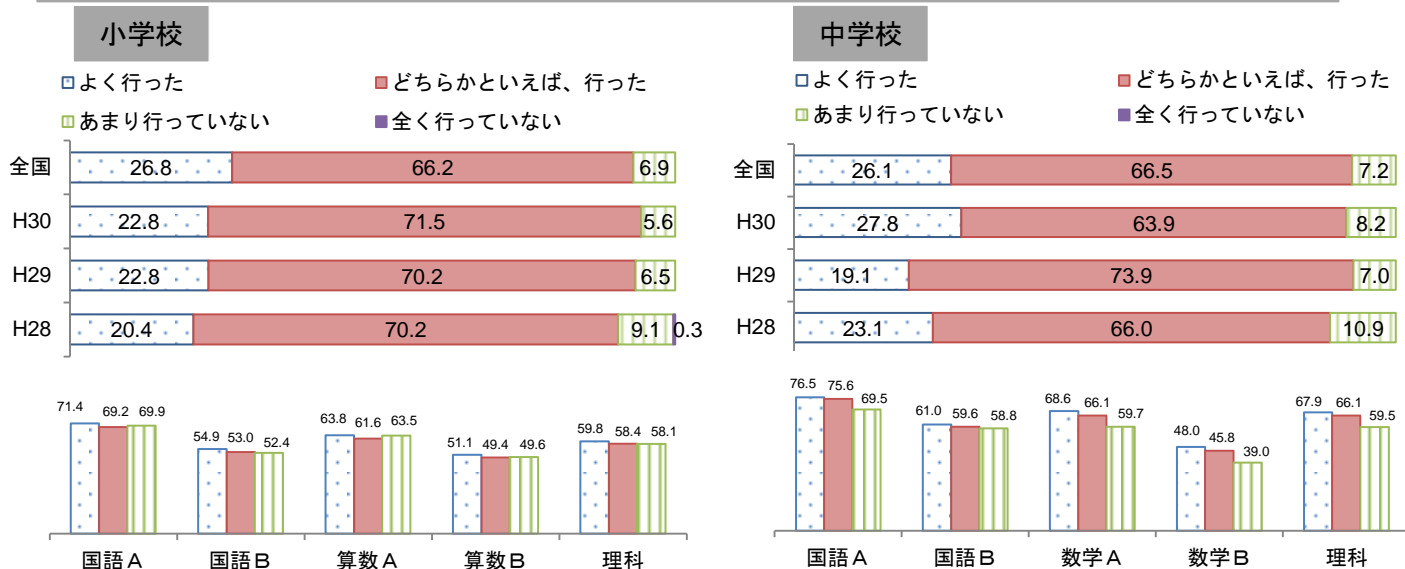


学校に対し「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか」との質問に、肯定的に回答した小中学校の割合は9割を超え、小学校は、昨年度より増加し、全国を上回る状況にあります。

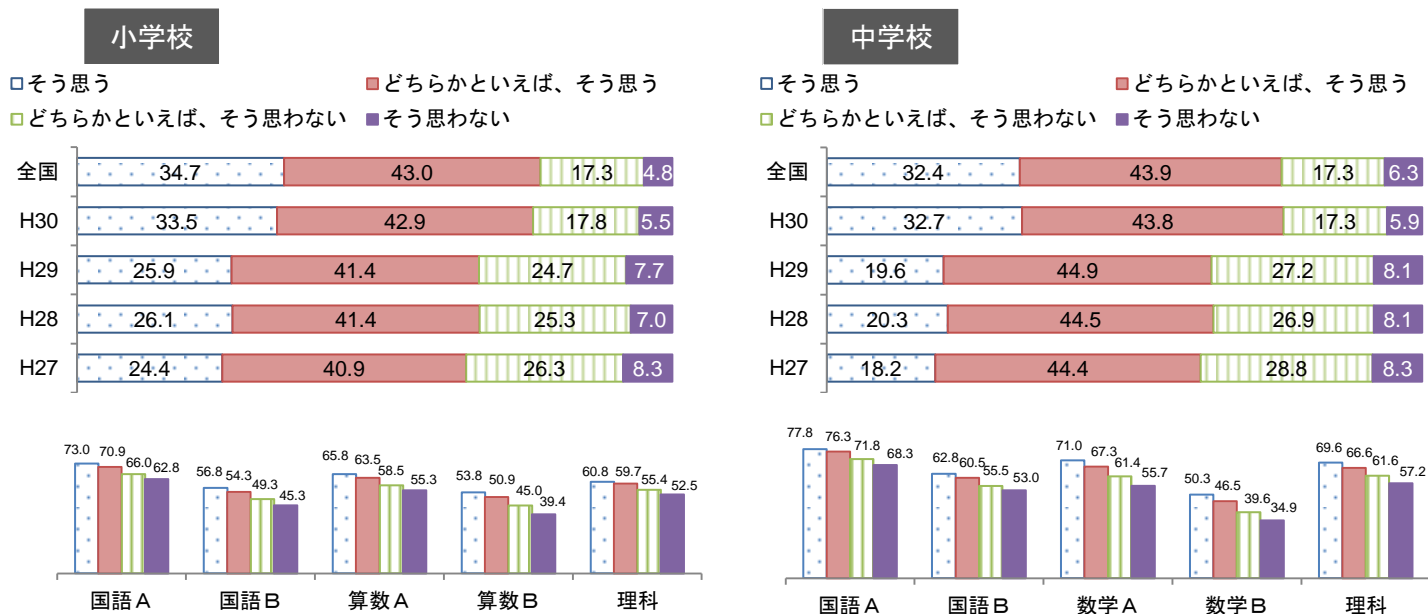
児童生徒に対し「学校の友達との間で（生徒の間で）話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」との質問に、肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度より増加し、7割を超えています。この質問に肯定的に回答した中学校及び児童生徒の方が平均正答率が高い傾向が見られました。

習得・活用・探究の学びの過程の中で、子どもたち自身が、自分の考えを深めたり、広げたりすることができたという実感を持てるよう、引き続き、効果的な話し合い活動を工夫することが大切です。

【学校質問紙】(22・21) 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



【児童生徒質問紙】(57・54) 学校の友達との間で（生徒の間で）話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



7

学校の組織的な取組に関する状況

「児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している」との質問に、肯定的に回答している小中学校の割合は、昨年度より増加し、9割を超え、小学校は全国を上回る状況にあります。また、「全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した」との質問に、肯定的に回答している小中学校の割合は約98%で中学校は、昨年度より増加し、小中学校ともに全国を上回っています。

これらの質問に肯定的に回答した小学校の方が、全教科で平均正答率が高い傾向が見られます。

全国学力・学習状況調査等の結果を活用して課題の改善に向けたPDCAサイクルを確立し、学習内容の理解・定着状況を図るよう組織的に取り組むことが大切です。

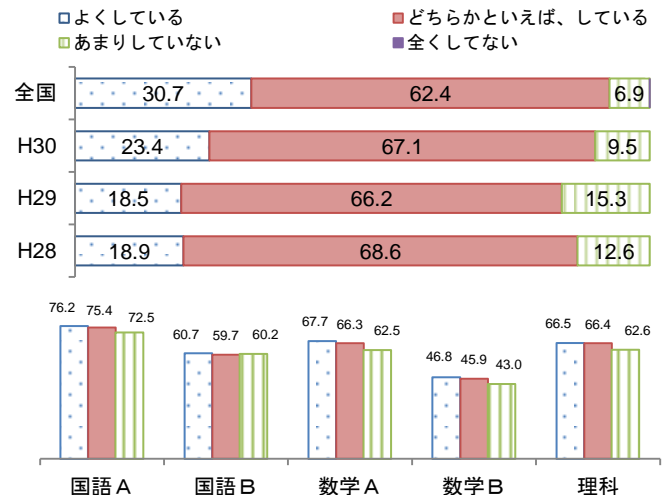
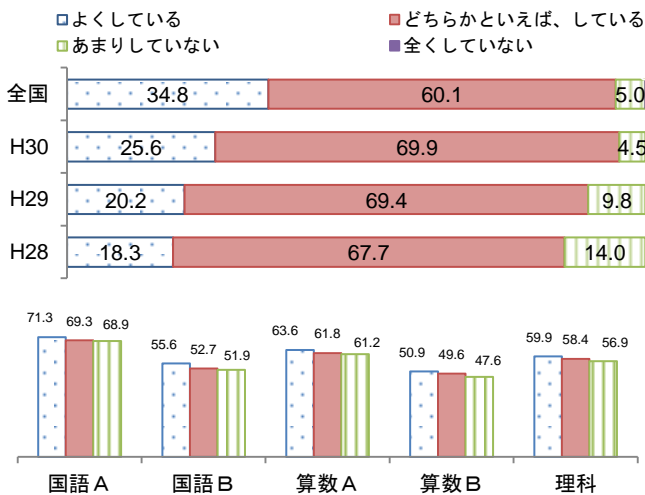
<グラフの見方>

- ・上段の帯グラフは、質問に対する回答別の割合を示します。年度の帯グラフは、本県の経年の状況を示します。
- ・下段の棒グラフは、質問に対する回答別の平均正答率（H30年度）を示します。
- ・グラフの値は四捨五入した値のため、合計が100%にならない場合があります。

【学校質問紙】(18・17) 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

小学校

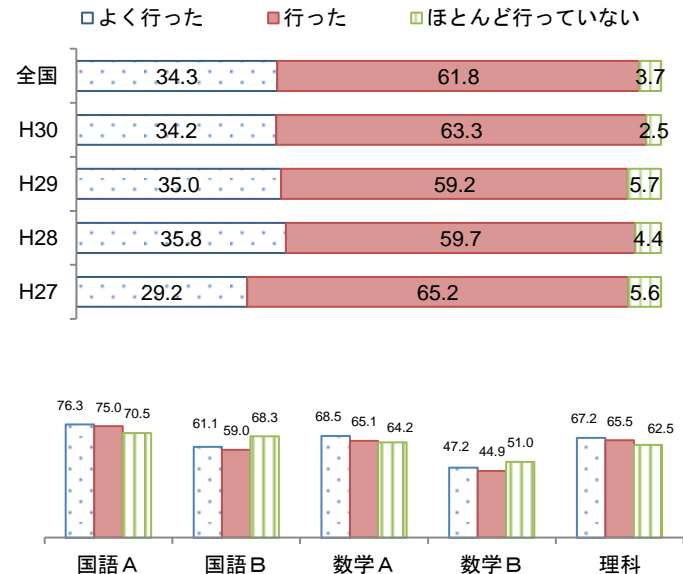
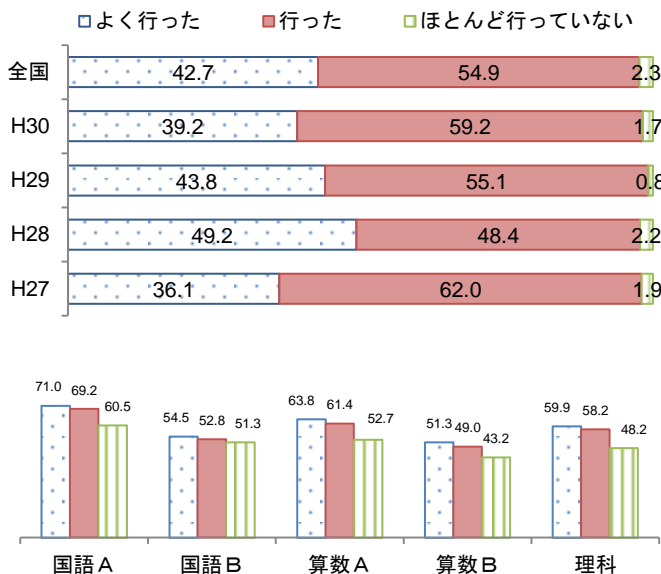
中学校



【学校質問紙】(31・30) 全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した

小学校

中学校



8 地域との関わりに関する状況

「今住んでいる地域の行事に参加している」との質問に、肯定的に回答した児童生徒（小中学生）の割合は、全国を上回る状況にあります。児童（小学生）は、昨年度より減少していますが、生徒（中学生）は昨年度より増加しています。

「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」との質問に、肯定的に回答した児童生徒の割合は昨年度より増加していますが、依然として全国と比較して下回る状況が続いています。

ボランティア活動に参加したことがあると回答した児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られます。

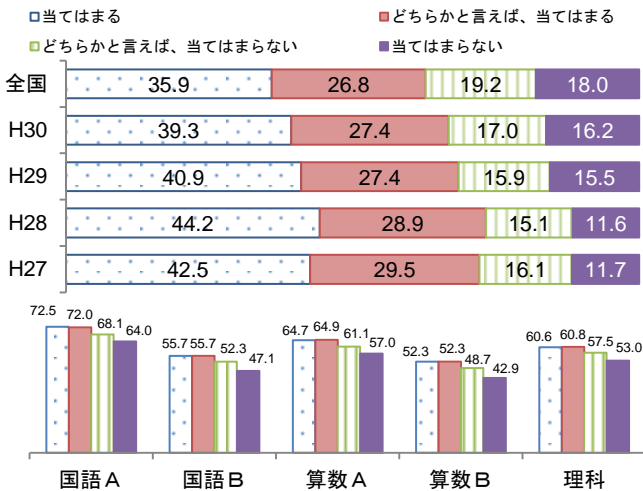
子どもたちが地域や社会のことに関心を持ち、積極的に地域に関わるよう、引き続き、学校と地域が連携しながら取組を進めていくことが大切です。

<グラフの見方>

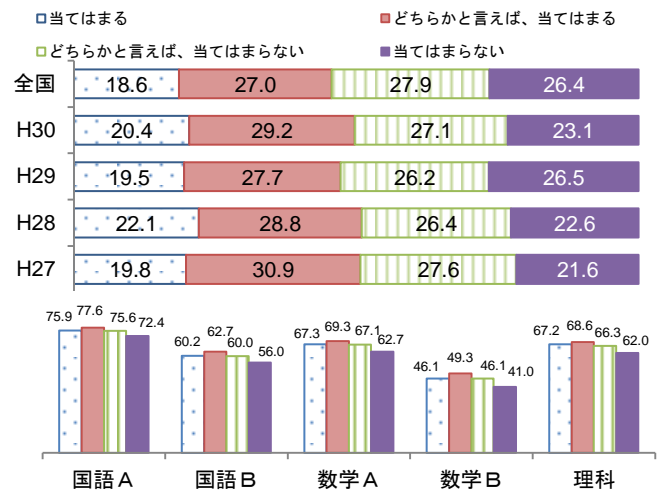
- ・ 上段の帯グラフは、質問に対する回答別の割合を示します。年度の帯グラフは、本県の経年の状況を示します。
- ・ 下段の棒グラフは、質問に対する回答別の平均正答率（H30年度）を示します。
- ・ グラフの値は四捨五入した値のため、合計が100%にならない場合があります。

【児童生徒質問紙】(20) 今住んでいる地域の行事に参加している

小学校

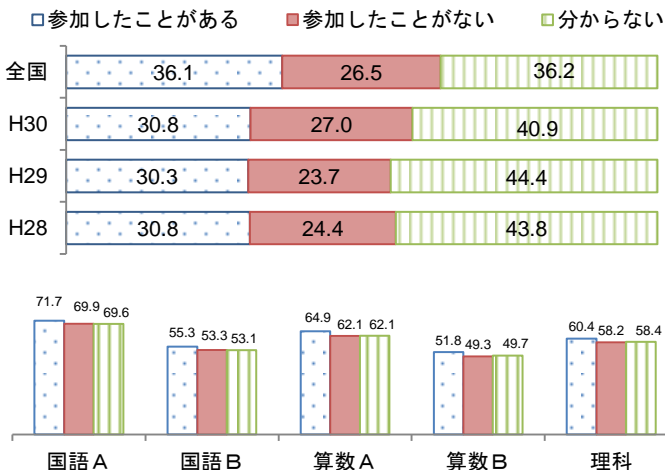


中学校

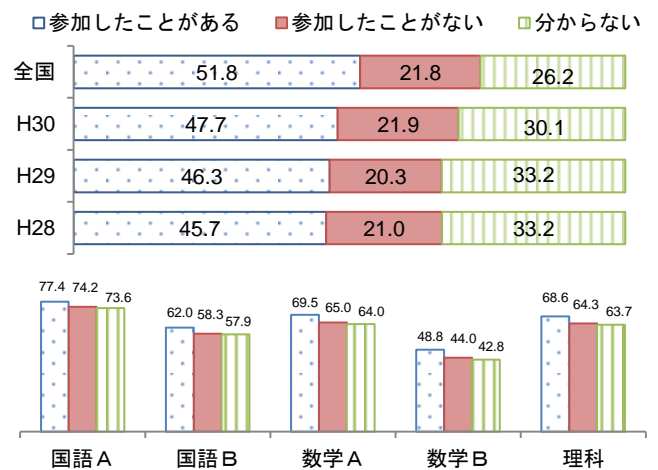


【児童生徒質問紙】(23) 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか

小学校



中学校



9 学校と児童生徒との意識の差の状況

学校に対し「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行いましたか」との質問に、肯定的に回答した割合は約8割で、小中学校ともに全国平均より高い状況です。

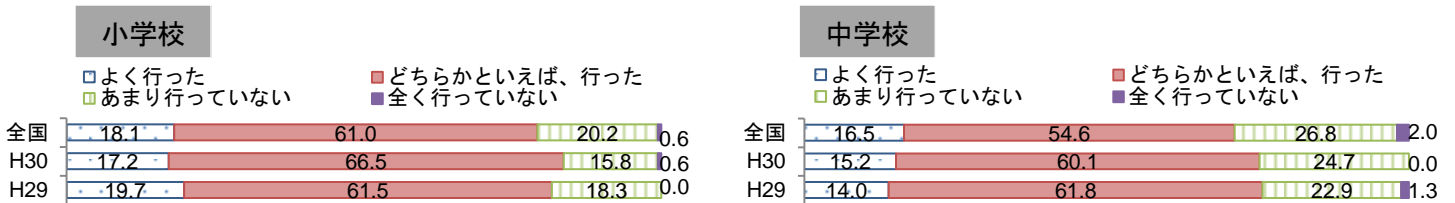
児童生徒に対し「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」との質問に、肯定的に回答している児童生徒の割合は4割程度にとどまっています。

また、学校に対し「前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか」との質問に肯定的に回答している割合は、小学校は約8割、中学校は100%に近い状況です。一方、児童生徒に対し「将来の夢や目標を持っていますか」との質問に肯定的に回答している割合は、児童（小学生）は約8割、生徒（中学生）は約7割で、中学校と生徒との意識には約3割の差があります。

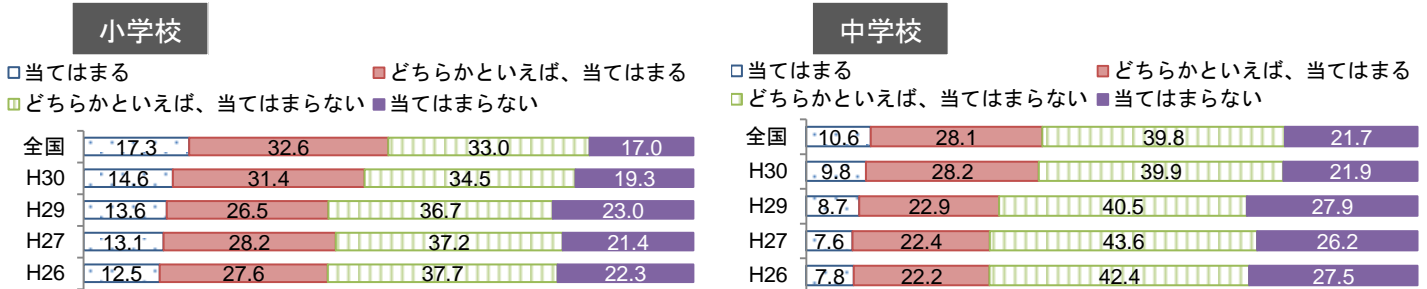
児童生徒の意識を客観的に把握しながら、意識の変化につながるように、学校全体で取組を進めることが大切です。

<グラフの見方> ・帯グラフは、質問に対する回答別の割合を示します。年度の帯グラフは、本県の経年を状況を示します。
 ・グラフの値は四捨五入した値のため、合計が100%にならない場合があります。

【学校質問紙】(56・54) 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行いましたか

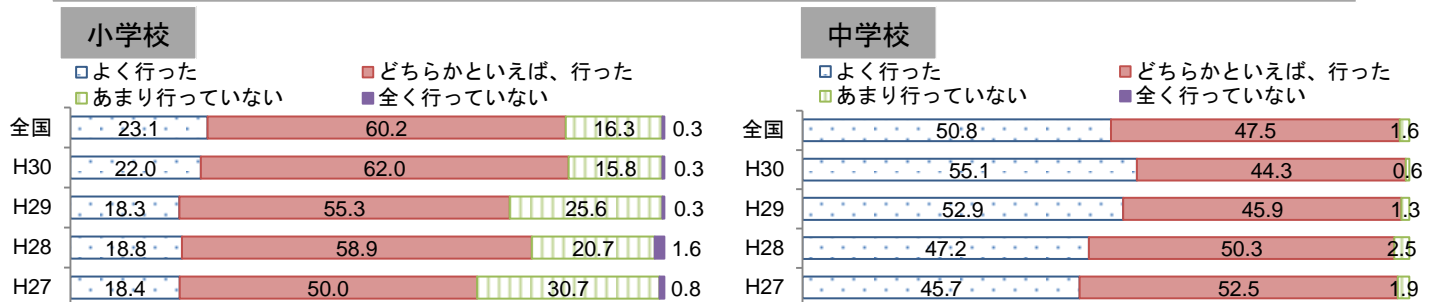


【児童生徒質問紙】(22) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

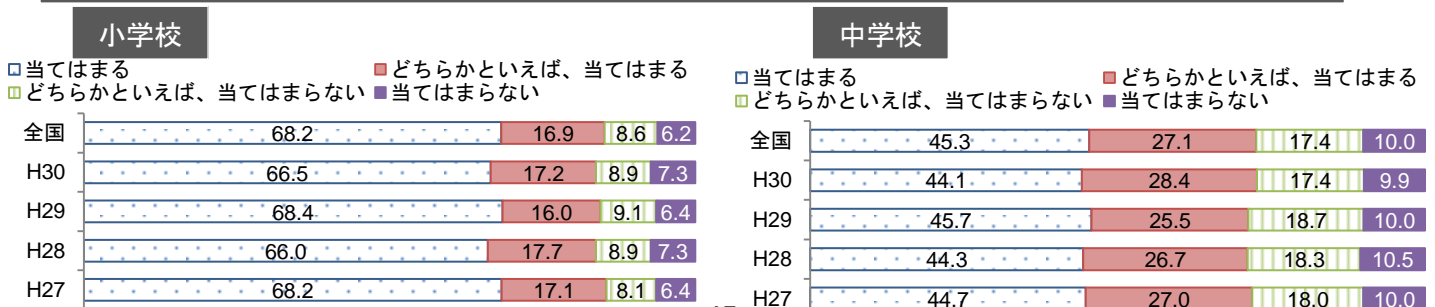


※平成28年度は質問項目にありません。

【学校質問紙】(23・22) 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか



【児童生徒質問紙】(3) 将来の夢や目標を持っていますか



第4章 県内の取組

1 三重県と全国を取組の比較

学校質問紙の回答と平均正答率との間に、全国では関連が見られる（「よく行った」と「全くやっていない」の回答における平均正答率の差が5ポイント以上）が、本県ではあまり見られない項目を取り上げました。

これらは全国の結果からわかるように、学力の向上に有効な取組となっています。その取組を進める意義を再確認するとともに、各学校において行われている取組内容・方法を見直し、改善を図っていく必要があります。

小学校

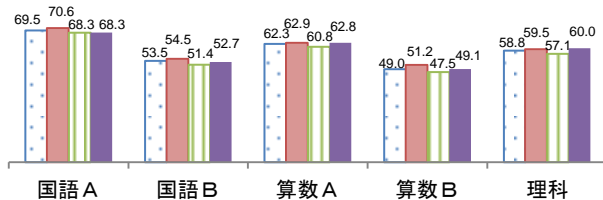
- 基礎・基本の学習における理解・定着とともに、学習した内容を活用した発展問題を効果的に取り入れていくことが大切です。
- 理科では、既習の内容や生活経験を基にしながら仮説を立て、仮説を確かめるために、自ら発想した解決方法で観察、実験を行うことで、児童自らの主体的な問題解決の活動となります。
- 家庭学習の取組では、ノートの使い方やまとめ方など児童にどのような学習の仕方をするかを具体的に示すことが有効です。

■ よく行った
 ■ どちらかといえば、行った
 ■ あまり行っていない
 ■ 全く行っていない

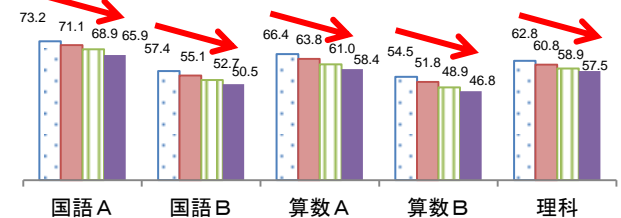
※ ↘ は、学校質問紙と平均正答率との間に関連が見られ、平均正答率の差が5ポイント以上のものを示しています。

【学校質問紙】(38) 調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに発展的な学習の指導を行いましたか

【三重県】

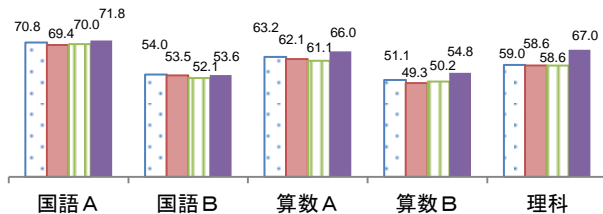


【全国】

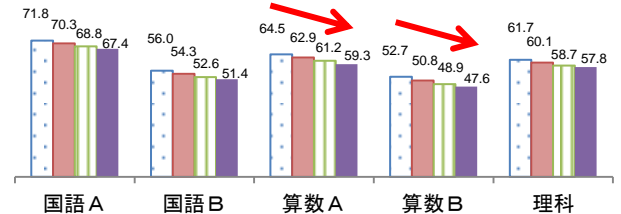


【学校質問紙】(47) 調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行いましたか

【三重県】

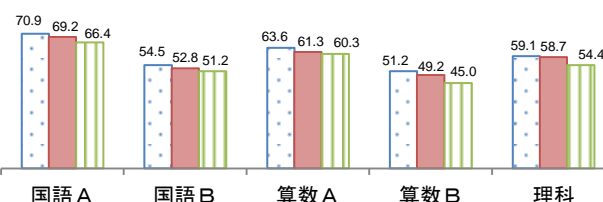


【全国】

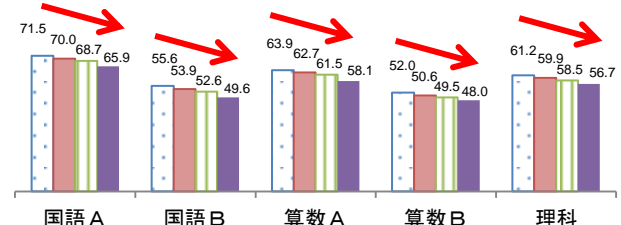


【学校質問紙】(66) 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国語／算数共通）

【三重県】



【全国】



中学校

- 観察や実験の結果を分析して解釈することは、予想や仮説と比較したり、今までに習得した知識・技能と関連付けて考えたりすることになります。理科に限らず他の教科においても探究する学習活動を進めていくことは重要です。
- 学級全員で様々な活動に取り組むことは、目標に向かって見通しを持った活動を対話しながら進めることとなり、「主体的・対話的で深い学び」につながります。課題やテーマを学校教育全体を通して設定し、協働的な経験を積ませる中で、達成感を味わわせることが大切です。
- 家庭学習は、提出後の評価・指導を行うことで、学習内容の理解・定着や生徒の主体的な学習につながります。

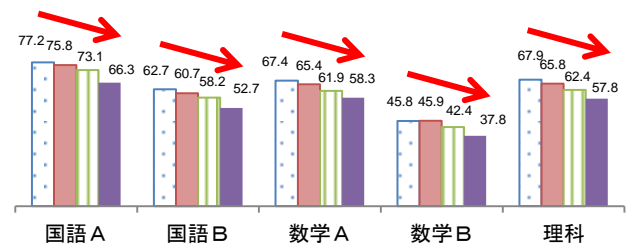
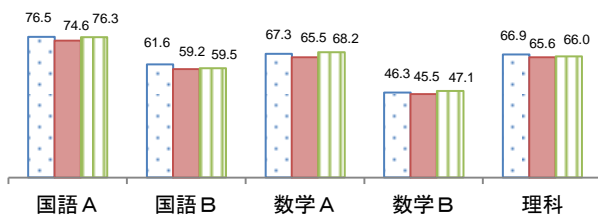
よく行った どちらかといえば、行った あまり行っていない 全く行っていない

※ ↘ は、学校質問紙と平均正答率との間に関連が見られ、平均正答率の差が5ポイント以上のものを示しています。

【学校質問紙】(46) 調査対象学年の生徒に対する理科の指導に関して、前年度までに、観察や実験の結果を分析し解釈する指導を行いましたか

【三重県】

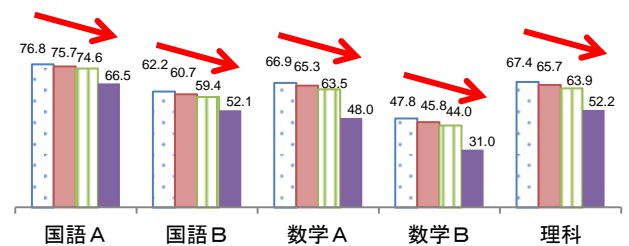
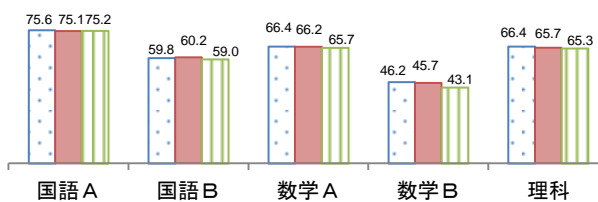
【全国】



【学校質問紙】(23) 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

【三重県】

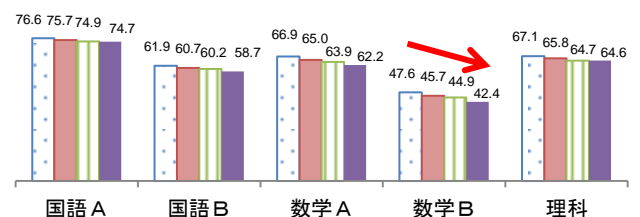
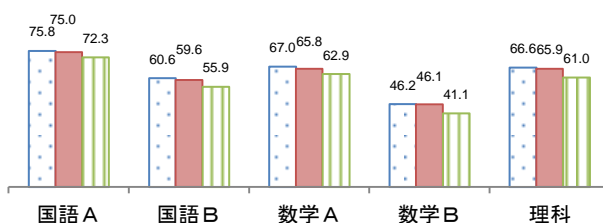
【全国】



【学校質問紙】(65) 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか

【三重県】

【全国】



●コミュニティ・スクールの設置校の全国の平均正答率との差

| | 小学校 | | | | | 中学校 | | | | |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|
| | 国語A | 国語B | 算数A | 算数B | 理科 | 国語A | 国語B | 数学A | 数学B | 理科 |
| H27 ↓ H28 | × | × | ○ | ◎ | × | × | △ | ◎ | ◎ | ○ |
| H28 ↓ H29 | ◎ | × | △ | × | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| H29 ↓ H30 | ◎ | × | ◎ | ◎ | | × | × | ◎ | × | |
| H21 ↓ H30 | ○ | ◎ | ○ | ○ | | ◎ | ◎ | ◎ | △ | |

※理科は、H27 と H30 を比較した結果を示します。

- ・設置校の平均正答率は、平成 21 と比較し、8教科中7教科で全国との差が改善されています。H29 との比較では、小学校の設置校は、国語A、算数A、算数Bで全国との差が改善され、かつ非設置校より改善の幅が大きくなっています。中学校では、数学A、理科で全国との差が改善されています（理科は平成27年度との比較）。

●学校支援地域本部の実施校（学校支援地域本部設置校のうち学習支援を35日（週1回程度）以上実施している学校）の全国の平均正答率との差

| | 小学校 | | | | | 中学校 | | | | |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|
| | 国語A | 国語B | 算数A | 算数B | 理科 | 国語A | 国語B | 数学A | 数学B | 理科 |
| H27 ↓ H28 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | × | × | ◎ | ◎ | ◎ |
| H28 ↓ H29 | × | × | × | × | | ○ | × | × | × | |
| H29 ↓ H30 | ◎ | × | × | △ | | ◎ | ◎ | ◎ | △ | |
| H21 ↓ H30 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | ○ | × | ◎ | × | |

※理科は、H27 と H30 を比較した結果を示します。

- ・実施校の平均正答率は、平成21年度と比較すると、8教科中6教科で改善が見られ、うち5教科で未実施校より改善の幅が大きくなっています。平成29年度との比較では、小学校では国語A、理科で全国との差が改善され、国語Aでは未実施校より改善の幅が大きくなっています（理科は平成27年度との比較）。中学校では国語A、国語B、数学A、理科で全国との差が改善され、かつ未実施校より改善の幅が大きくなっています（理科は平成27年度との比較）。

* H21年度：「みえの学力向上県民運動」開始（H24年度）以前の直近の悉皆調査の年度

- ◎…全国と設置校（実施校）との差が改善されており、非設置校（非実施校）よりも改善幅が大きい。
- …全国と設置校（実施校）との差が改善されているが、非設置校（非実施校）よりは改善幅が小さい。
- △…全国と設置校（実施校）との差が改善されていないが、非設置校（非実施校）よりは改善幅が大きい。
- ×

3 学校の取組事例

わからないことから出発し、一人ひとりの「わかった」「できた」に

四日市市立保々小学校

「自分で解く力を、どの子にも身に付けてほしい」という願いから、図示する指導、習熟度別指導、補充学習の取組をじっくりと積み重ねてきました。全国学調やみえスタディ・チェックなどの分析から見えてきた子どもたちのつまづきを全教員で共有することで、各学年のおさえないポイントが明らかになり、課題づくり研修や一人ひとりにあわせた補充学習の取組に生かしています。そして授業では、考えを描いた図や対話をとおして、一人ひとりの理解や定着の状況を確認めながら取組を進めています。

取組 ① 全学年で図示する活動に取り組み、量感イメージを捉える

四日市モデルの5つのプロセス（四日市市教育委員会「問題解決能力向上のための授業づくりガイドブック」）の視点を大切にしながら、子どもたちが問題の内容を整理したり、考えの見通しを持つたりするために、全学年において授業の中で図示する活動を大切にしています。

具体から半具体、そして抽象へのつながりを意識し、発達段階に応じて、テープ図や線分図、数直線図に表し、量感イメージをはっきりさせて、自分の考えを明確にしたり、伝えたりする活動につなげています。図示の形式を指導するとともに、「図のどれが何に当たるのか」「どのくらいの量に当たるのか」などの意味をていねいに確認しながら指導しています。

式・答えと問題文・図とを照らし合わせたとき、子どもたちが自分で間違いに気付けるよう、わからないことを中心に据えて、子ども同士や教員との対話を積極的に取り入れようとしています。ときには、教員が問題や図について問いかけ、自分でもう一度、図と式・答えを見直すきっかけをつくっています。

○テープ図について（学校の共通理解事項）

- ・ 2つの数量の割合（比）を意識して数量間の線を入れる位置を考えさせる。
- ・ 全体と2つの数量それぞれを上（全体）と下（2つの数量）に分けてかかせる。
- ・ テープ図の中に数をかきこむのではなく、どこからどこまでを示しているかがわかるように図の外に数をかかせる。

【基本の型】

**取組 ② 子どもたちが見通しを持ってコースを選択する習熟度別指導**

算数の習熟度別指導では、問題をどのような方法で考えていくかによって、子どもたち自身がコースを選択しています。自分に自信が持てないと、基礎基本コースを選びがちな子どもたちの実態から、単元の始めはTTによる一斉学習の形態で行い、その単元の見通しを持たせます。単元の間中以降の学習において、学習内容の理解状況を確認するテスト等を行いながら、子どもたちが自分のつまづきを知り、子どもたちに自力で考えられるかどうかの見通しを持たせ、習熟度別指導のコース選択を行います。「じっくりコース」では、問題のわかっていることや求めることをていねいに確認しながら学習を進めます。「ぐんぐんコース」では、問題を自力で考えていき、互いの考えを出し合いながら学習を進めます。それぞれのコースで学ぶ過程を変えながら行き、自力で解けることをめざして学習しています。

取組 ③ 「ステップアップ方式」で理解状況を確認する補充学習

朝の時間帯を活用して補充学習に取り組み、算数を中心に「ステップアップ方式」で学習を進めています。学習で使用するプリントは、算数の各学年における基礎的・基本的な学習内容を分類して、作成しています。同ステップで5種類の問題があり、すべて正答になるまで、5種類の問題を繰り返し取り組ませています。作成したプリントは、放課後の補充学習等でも活用しています。

朝の学習では、担任以外の教員も確かめに関わり、一人ひとりの理解状況を確認め合うようにしています。また、次の時間に取り組ませるプリントを一人ひとりの進度にあわせて準備します。子どもたちはプリントを「朝学ファイル」にファイリングし、自分がどこまで進んだのか、自分の得意や苦手は何かを確かめられるようになっていきます。

成果 子ども一人ひとりが理解・定着状況を確認めながら、着実に学習内容を身に付けています

子どもたちが図示することで、自分の考えが正しいかどうか見直すことができ、テストやプリントの問題を見直して解くことで正答が多くなってきました。また「ステップアップ方式」のプリント学習を繰り返しながら、基礎的・基本的な問題でつまづいていた子どもが、問題を数多く解けるようになり、それが自信につながってきています。学校全体で、一つひとつの取組について共通理解を図り、組織的に取り組んできた成果が着実に結果として表れてきました。今後も、個を大切に、対話的な学びと自力で考える授業をとおして、子どもたちの「わかった」「できた」という自信を育み、学び合いのできる学級集団の力を高め、意欲的・主体的に学ぶ子の育成を図ることをめざして取組を進めていきます。

朝と昼の学習を活用した基礎基本の定着の徹底

津市立敬和小学校

「確かな学力の向上」については、子どもの「生きる力」を育むものであると捉えています。様々な知識や技能を身に付けるだけでなく、困難な課題に対して諦めずに自らの力で解決しようとしたり、解決方法を考えたりできる力を付けていく必要があります。そこで、将来の自分の夢に向かって努力していきけるような基礎学力を身に付けるための取組を進めています。

○朝の学習・昼の学習における継続した取組

内容・実施時間：【国語科】漢字 【算数科】計算

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----------------------|-------|--------|----|--------|----|----|
| 朝の学習 (8:30～8:45) | 1・2年生 | 読書(※1) | | | | |
| | 3～6年生 | 読書(※1) | 漢字 | 読書(※1) | 漢字 | 漢字 |
| 昼の学習 (13:35～13:50) | 1・2年生 | 計算 | 漢字 | 計算 | 漢字 | 漢字 |
| | 3～6年生 | 計算 | ※2 | 計算 | ※2 | ※2 |

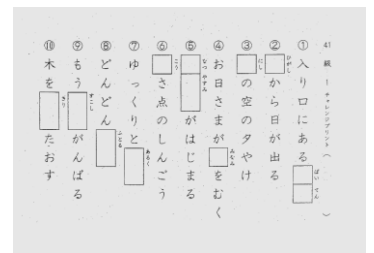
※1の時間帯は、読書を実施 ※2の時間帯は、国語または外国語活動の授業を実施

取組① 漢字プリントに取り組み、検定合格をめざす

○漢字プリント・検定プリントを実施

| 漢字プリント | 学習する学年 | 検定合格 目標学年 | 検定 合格点 |
|--------|-----------|--------------|-----------|
| 50～47級 | 1年生(80字) | 2年生 | 90点 以上 |
| 46～39級 | 2年生(160字) | 3年生 | |
| 38～29級 | 3年生(200字) | 4年生 | |
| 28～19級 | 4年生(200字) | 5年生 | |
| 18～10級 | 5年生(185字) | 6年生 | |
| 9～1級 | 6年生(181字) | 中学生 | |
| 1段～ | 中学生 | | |

※漢字プリント、検定プリントは、教科書をもとに学校で作成
 ※各級の漢字プリントは、チャレンジプリント1～3(資料1)の3枚で構成
 ※検定プリントは各級に1枚あり、チャレンジプリント1～3(30問)の中から20問を出題



(資料1) チャレンジプリント

〈学習の流れ〉

- ①児童が各自で、自分の進度の漢字プリントを所定の棚から取り、取り組む。
- ②担任に提出する。(その場で担任が確かめをして、返却する。)
- ③プリントの裏のマス目に漢字練習をする。
- ④漢字練習をしたプリントを担任に確認してもらい、次のプリントに進む。
- ⑤取り組んだプリントをファイルに綴じる。

〈検定について〉

- ①各級のチャレンジプリント1～3を終えた後、検定プリントに挑戦。
- ②担任に採点してもらい、90点以上(20問中18問正答)で合格。
- ③合格した級については、ファイルに綴じてある「漢字がんばり表」(資料2)の該当級の欄に日付を記入し、合格のシールを貼る。

○継続した取組による漢字の力の定着

- ・各級ごとに検定を設けることで、児童にとって明確な目標が持てるとともに、検定合格により達成感を得ることができ、次の学習への意欲の向上につながっています。また、児童が自分のペースで、継続して6年間取り組むことで、漢字の力が着実に育まれています。



(資料2) 漢字がんばり表

取組② 学習中の単元の基礎となる計算プリントを各学年で実施

○各学年での実施方法

- ①配付された計算プリントの問題を解く。
- ②答え合わせをする。(わからない問題→担任が助言する。児童間で聞き合う。)
- ③取り組んだ計算プリントをファイルに綴じる。

○学習内容の積み上げによる計算する力の定着

- ・学習中の単元の基礎となる計算問題に取り組むことで、基礎学力の定着を図ると同時に、現在学習している単元の学習内容の確実な理解と定着につながっています。

成 果 毎日の継続した取組により、子どもたちが漢字・計算を確実に身に付けています

朝の学習・昼の学習は、児童が入学してから6年間、毎日15分ずつ取り組んでいます。全国学調の国語Aにおける漢字の問題で、全国の平均正答率との差が改善してきていることから、児童が自分のペースで継続的に取組を進めていることが、基礎基本の確実な定着につながっていると考えます。

学び合いを大切にする習熟度別少人数指導の実践

東員町立神田小学校

神田小学校では、「わからない」と自分から言える、安心して学べる学級集団を大切にし、『主体的・対話的で深い学び』のある授業の研究を算数科の少人数指導を通して進めています。1年生はティーム・ティーチング、2年生は均等割、3年生以上は習熟度別による少人数指導に取り組んでいます。

取組① わからないことを「わからない」と言える学級集団づくり

○学び合う姿を価値づける

「わからないことを自分から聞く」「ノートを真ん中に置き、図や式を使って話す」など、子どもたちが学び合う姿を写真で残し価値付けています。教員だけで共有するのではなく、校内に掲示して学びのイメージを発信することで、子どもと共に授業づくりを進めています。



○わからないことはペアで考える

わからないことはペアで考えることを徹底しています。「ここまではわかる」「ここからわからない」と言えること、「わからないから教えて」と聞かれたら相手にわかるまで責任を持って説明することを大切にしています。黒板を使って説明してもよいし、ペアでわからなければ他のペアに聞きに行ってもよいと指導しています。個人で考える時間でも、自然にペア学習、グループ学習に移行していく場面も見られます。全体共有の場面では、ペアで前に出て協力して説明します。

取組② 低学力層10%未満を実現する少人数指導

○習熟度別コース編制

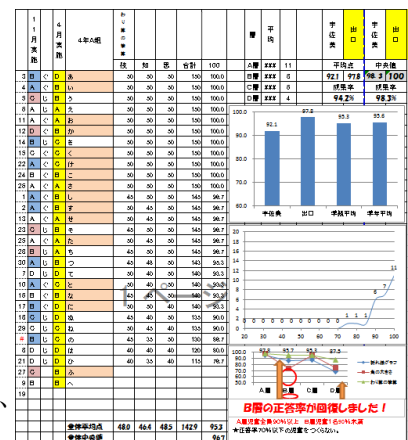
コース選択は、児童と保護者の希望をもとに、担任と少人数指導担当で調整をしています。コースは「じっくりコース」と「ぐんぐんコース」の2つで、学期の途中で変更することができます。どちらのコースでも、図や数直線図、言葉、数字を使って論理的に思考し表現できる力を付けることを指導の重点に置いています。これまでの取組から、基礎基本の習熟に時間をかける「じっくりコース」は、人数を10人程度にすることが効果的だということがわかってきました。

○指導教諭と担任との連携

指導教諭は少人数指導のコーディネーターとなり単元構想を考えます。そして、単元ごとの指導事項を担任と話し合います。その結果、どちらのコースでも同じねらいで授業を進めることが可能になります。話し合いは必ず週1回、学年会の中に位置づけています。

○単元テスト・学力調査の活用

指導教諭は単元テストや総合学力調査等の分析結果をデータ化し、単元構想や、担任との話し合いのエビデンスにします。授業者がコースごとや学級ごとの課題、一人ひとりの子どものつまづきを継続して把握することができ、どの学年のどの単元をより時間をかけて指導するのか等、系統立てた指導やきめ細かな指導につなげています。



取組③ 授業の中で定着・発展に取り組む時間を設定

○定着・発展の時間

時間配分や指導内容を工夫し、単元の終わりに定着状況を確認したり、発展的な問題に挑戦する補充学習の時間を設定しています。学習内容の定着を図ってから単元テストに臨むことで、子どもたちの自信にもつながっています。

○全国学調、みえスタディ・チェック、総合学力調査の再活用

年間指導計画に、全国学調、みえスタディ・チェック、総合学力調査の再活用を位置づけて取り組んでいます。

成果 習熟度別少人数指導により、子どもたちの学習内容の理解と定着が図れています

習熟度別少人数指導に取り組み始めてから、総合学力調査の結果による低学力層の子どもの割合が大きく減りました。また、子どもたちの学習内容の定着状況をデータで把握することで、取り組むべき課題が明確になり、教員の意識も変わってきました。今後も東員町16年一貫教育プランに則り、「勤勉性」につながる「自ら学び合う力」を育む授業づくりに向けて研修を進めていきます。

生徒の主体的な学びにつなげる習熟度別指導の実践

伊勢市立二見中学校

二見中学校の1年生、2年生では、数学科において習熟度別少人数指導に取り組んでいます。「基礎(α)」コースでは、基礎的・基本的な内容にじっくり取り組めるように、「標準・応用(β)」コースでは、お互いが学び合う授業をめざして自分の考えを自信を持って人に伝えられるように進めています。「標準・応用(β)」コースでは、少しずつ伝えられる様子が伺え、自信も高まってきています。「基礎(α)」コースでは、授業中に学習内容を「わかった」と理解したように生徒が思っている、時間が経つと「なんでここがこうなるの」「どうしたらいいの」と疑問の声が出るなど、わからないところをつきつめて確認するところまでいかず、定着につながっていない現状があります。

生徒には、今まで以上に数学に興味を持って、主体的に楽しく学んでほしいと、いろいろな「数」を使って「楽しむ」意味を込めて「数楽ラボ」と名付けた通信を発行しています。生徒が今まで以上に数学に興味を持てるよう、特に習熟度別指導、家庭学習における予習や復習、課題プリントの活用を力を入れて取り組んでいます。

取組① アンケートによる生徒の意識の把握と保護者へのきめ細かな説明によるコース選択

○習熟度別コースの選択

基礎(α)コースと標準・応用(β)コースで生徒の人数の割合は1:2としています。コース選択については、生徒の希望を踏まえながらも、生徒の学習状況や特性、生徒同士の人間関係、コースにおけるリーダーづくりに留意し、コースの自己選択ができるよう面談で生徒を支援しながら決定します。また、数学部会や担任と授業の進捗や生徒の様子を絶えず情報交換し、次時の指導につなげています。

○保護者への「習熟度別指導」と「評価」の説明

保護者へは、習熟度別指導のねらいやコースの特徴、学習の進め方について4月当初の学年懇談会や文書で説明します。また「学習の進捗は同じであること」と「どちらのコースも共通に定期テスト・小テスト・学習態度・発表・提出物・コミュニケーション活動を総合して評価すること」を丁寧に伝えます。

<生徒の感想>

・一斉授業では意見を言ったり、わからないところを聞いたりすることができませんでしたが、コース別で学習することで気軽に人に聞いたり、話し合ったりできるなど、自分の意見が出しやすくなりました。
 ・今まで数学が苦手でしたが、コース別になり自分にあった授業を受けることで少しずつテストの点数が上がって本当に嬉しいと思いました。
 ・最初の頃は、標準・応用(β)コースでしたが、数学が得意な人が多く、私が計算問題をしているときに、他の人がすぐに答えを出してしまい、理解するところまでいかず、とても大変でしたが、基礎(α)コースに変更して、進むスピードもゆっくりで丁寧に教えてくれたので、ゆとりを持って授業に臨むことができてよかったです。

○生徒のコース変更について

生徒のコース変更については、定期テスト・小テストの状況、アンケートや面談により、生徒の学習状況や学習意欲を把握したうえで、変更できるようにしています。面談では、生徒の自己認識に基づく適切なコース選択が行えるよう留意しています。

取組② コースに応じた家庭学習と学習内容を確認する宿題用課題プリントの実施

○習熟度別コースに応じた家庭学習

基礎(α)コースでは、復習を重視した家庭学習を、標準・応用(β)コースでは、予習を重視した家庭学習を行っています。各コースの家庭学習の方法を「数楽ラボ」通信により、生徒、家庭に伝え、確実な学習内容の理解・定着につなげています。

《これからの学習方法》

αコース

学校で学んだ後一歩必ず復習をして下さい。
 復習の方法→(ノートに書いたことを違うノートに書き写す。学校でやった問題を解き直さないで自分の力でやってみる。)
 宿題は、必ずやること。(わからなかったら授業が始まる前に友達に聞いてノートに書いておこう。)

βコース

必ず予習をしてください。授業で初めて聞くと言わないようにしておくこと。
 授業では、復習をする感じで、先生が話していることは教科書のどこに書いてあるのか、よくわかるようにしておく。
 教科書に書いてあることは、聞かれたらすぐ答えられるようにしておく。

βコースでは、予習がしていることを条件として、授業を進めていくようにします。演習の時間を多く取るようにしていきます。(ただし、これはみなさんの協力が必要です。)
 ワンランク上の問題に1つでも多く挑戦しましょう。



○課題プリントの利用

1週間ごとに生徒自身が学習内容を確認する宿題用の課題プリントを教員が作成し、生徒に提供しています。生徒が自ら進んで「やってみよう」と意欲を持たせるように教員が働きかけながら添削しています。あわせて、教員が詳しい問題の解説を作成し、廊下に掲示しています。

成果 学習に取り組む意欲や自信を持って取り組む姿勢が育まれています

習熟度別少人数指導の導入により、大勢の中で自分の意見を言えなかった生徒が、自信を持って他の生徒に自分の意見を伝える場面が見られ、考えも深めることができました。

昨年度3月に、「みえスタディ・チェック」を再活用し、各学年で習った基本的事項が、身に付いているかどうかを確認したところ、無解答率が減少しました。今後、その単元の学習内容だけでなく他の単元や日常生活との関連にも触れることで、生徒が体験・学習し得た知識を日常生活の中で活用できるようにしていきたいと考えています。

家庭・地域との協力による基礎基本の定着を図る取組

亀山市立神辺小学校

神辺小学校では、各学年で今まで学んだ学習の確認テストを行い、子どもたちのつまずきの状況を把握しています。そして、つまずきの克服に向けて、地域ボランティアの協力を得て、毎週金曜日に全校体制で補充学習を実施し、学習内容の定着を図っています。また、週末の家庭学習において、つまずきに応じたプリント（4～5枚）を宿題とし、確認テスト→補充学習→週末の家庭学習のサイクルを確立させるなかで、子どもたちに学習内容の定着を全校体制で図っています。

取組① 確認テスト・金曜の補充学習・週末の家庭学習の取組による学習内容の定着

○確認テストを実施し、子どもをつまずきを教員全体で共有

- ・確認テストを実施し、子どもたち一人ひとりが、どの単元のどこでつまずいているかがわかる「算数カルテ」を作成しています。また、単元ごとのつまずきの人数をグラフ化したものを教員に配付し、子どもをつまずきを教員全体で共有しています。

○地域ボランティアの協力による全校での補充学習（毎週金曜日）の実施

- ・1年生から3年生は6限目（短縮日課）、4年生から6年生は7限目（短縮日課）に行います。地域ボランティアは1年生から3年生に支援や丸つけで入り、1年生から3年生の担任は4年生から6年生の支援に入ります。そうすることにより、1年生から3年生の学習が上の学年のどの学習につながっているのかも確認ができ、特に子どもたちがつまずいている内容について、すべての教員が小学校6年間の学習内容のつながりを意識して指導を行うことにつながっています。



地域ボランティア用の
ファイリング棚

- ・つまずきのある単元について学年をさかのぼってプリント学習を行い、子どもたち一人ひとりの学習内容の理解・定着につなげています。1学期は、個人の弱みを克服することを中心として、それぞれのつまずきに応じたプリント学習に取り組みました。2学期は、「算数カルテ」から弱みが見られる単元の授業をもう一度行い、その単元の補充学習プリントに取り組みさせることで、学習内容の定着を図っています。

○金曜の補充学習と週末の家庭学習の連動

- ・県作成のワークシート（学-Viva!!セット）から子どもたちのつまずきに応じた内容（4～5枚）を選定し、「チャレンジワークシート」として毎週金曜日に配付し、週末の宿題として子どもたちが取り組みます。家庭学習においても、すでに学習した内容を確認なものとし、学習内容の定着を図ります。

取組② 朝の学習での地域ボランティアの支援

朝の学習の時に、地域ボランティアが各クラス2名程度入り、丸つけや、子どもたちへのアドバイスを行います。そのために地域ボランティア用にワークシートや解答をファイリングして渡しています。

取組③ 家庭での学習習慣の確立に向けた学校からの情報発信

○「家庭学習の手引き」の配付（4月）

- ・「学力アップは規則正しい生活から！」というキャッチフレーズのもと、家庭学習の習慣化に向けて取り組むことや、家庭学習を習慣づけるための保護者の役割、各学年におけるつきたい力、自主学習ノートの大切さについて伝えています。あわせて、学年をさかのぼって繰り返し学習することで既習事項が定着し、新たに学ぶ学習内容の理解を助けることにつながることも伝えています。

○「学校だより」での発信

- ・「学校だより」において、週末に取り組む「チャレンジワークシート」の意義や取り組み方についてお知らせし、保護者の理解・協力を得られるよう働きかけています。また、「学校が頑張ること」として、授業改善の取組や子どもをつまずきに応じた補充学習、繰り返し学習、家庭学習の取組を記載するとともに、「保護者・家庭で頑張りたいこと」として、学習時間など、1日の生活を規則的に設定することや、子どもの学習の状況を確認することなどを伝えています。

成 果 学習内容の定着及び学習習慣の確立につながられています

地域と連携し、確認テスト・補充学習・週末の家庭学習の流れを確立するなかで、昨年度からの取組もあり、わかっているつもりになっていたが、確実に理解してないことに子どもたちが自ら気づき、補充学習に意欲的に取り組む姿や、「チャレンジワークシート」に取り組む際に、既習事項を活用することで問題が解けるといふ達成感を実感するなかで、これまではあきらめていたような問題にも取り組む子どもが増える等、学習内容の定着及び学習習慣の確立が図られつつあります。今後も、組織的に学習内容の理解と定着を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となり、自ら考え、自ら学ぶ力を育てていきます。

子どもたちが自ら本を手に取りたくなる読書活動の取組

御浜町

読書活動の充実に向け、御浜町として各小中学校の図書室の環境を整えるとともに、各小中学校において子どもたちが意欲的に読書に取り組むよう、工夫した取組を進めています。

取組① 計画的な図書の購入による読書環境の充実**○子どもたちのもとへより早く読書の本を届ける**

教育委員会として、年間を通して計画的な図書の購入を進めるとともに、学校の図書室や読書環境の充実に向け、学校司書を配置しています。学校司書の方々の取組により、購入した本がより早く子どもたちの手に届けられ、子どもたちの読書意欲の向上につながっていると考えます。

- ①学校司書を、町内6校（小学校3校、中学校2校、小中併設校1校）に2人配置
- ②各小中学校で、毎年、計画的に図書を購入
 - ・年間を通して、計画的な購入を行うため、学期ごとに図書購入調査（各学校からの購入冊数の報告）を実施
- ③読書の取組状況を把握するため、各小中学校の図書貸し出し冊数を集約（グラフ化）
 - ・毎月、各小中学校から町教委へ図書貸し出し冊数と読書活動の取組状況を報告。取組状況に応じ学校支援を行う

取組② 教員、子ども、地域ボランティア、学校司書など様々な主体による読書活動**○小学校における取組**

- ①1年生では、児童は、読書の時間等に読んだ本を「せんせいにおしえて！（よんだほん）」（記録用紙）に記録し、その内容を担任に伝える
 - ・児童が記録用紙をもとに、担任と読んだ本についてコミュニケーションをとることで、読書への意識の高まりにつながっています。
- ②委員会活動で、新刊、課題図書が入った時に、全校集会で実際に本を提示して紹介
- ③地域のボランティアによる読み聞かせ
 - ・地域のボランティア（読み聞かせの会等）の方々により、全校児童を対象に年間を通して、朝の読書や昼休み、読書の時間に読み聞かせが実施され、子どもたちがより多くの本に触れる機会になるとともに、読書に対する興味の向上につながっています。

○中学校における取組

- ①養護教諭による絵本の読み聞かせ
 - ・養護教諭による絵本の読み聞かせには、保健室を利用する悩みを抱えた生徒をはじめ、様々な生徒が参加し、多いときには20名ほどになります。この取組は、生徒が心温まる話に触れるとともに、悩みを抱えた生徒などの心に寄り添うよい機会となっています。
 - *全校生徒対象、毎週火曜日・木曜日（13:10～13:20）に学校内のホールで実施
- ②朝の読書の時間に中学生による小学生への読み聞かせを実施
 - ・異学年2～3人の班を構成し、選定した数冊の本を持って小学生の教室に出向き、読んで欲しい本を聞き取って、読み聞かせを行っています。
 - *本の選定や読み聞かせをする中学生の割り振りについては、図書委員会で決定
- ③地域のボランティアによる読み聞かせ

○学校司書による取組

- ①ブックトーク、読み聞かせ
 - ・ブックトークを行った後、その本の読み聞かせを行うことで、子どもたちの本に対する興味が非常に高くなり、読書の推進につながると考えます。
- ②紙芝居 ③本の紹介 ④図書室利用指導（小学校） ⑤委員会活動に関わる指導
- ⑥ビブリオバトルの実施（中学校）
 - ・学校司書が計画・準備をして、生徒に目的や実施方法を説明
 - ・生徒は本を選定し、数人のグループでビブリオバトルを実施し、代表が全体の場で発表

成 果 図書貸し出し冊数と読書時間が増加しています

御浜町全体として、児童生徒一人あたりの図書貸し出し冊数が年々増加しています。また、平成30年度全国学調の児童生徒質問紙調査において、授業時間以外の読書時間が平日10分以上と回答した児童生徒の割合は、小中学校ともに全国平均を5ポイント以上上回っており、特に小学校においては年々増えてきています。御浜町の調査においても、読書を全くしないという児童生徒はほとんどいない状況です。これらの結果は、町全体として、読書活動の充実を図るための環境整備を行うとともに、各小中学校における工夫した取組、継続した取組が行われている成果であると考えます。

第5章 「みえの学力向上県民運動」主な関連指標

(三重県の経年比較)

平成27・28・29・30年度の推移一覧

※表中のA・B・Cは、「全国との差」の変位を表し、Aは「改善・上昇」を、Bは「変動なし」、Cは「下降」を示す。
 ※表中の+・-は、三重県の割合の変位を表し、+は「改善・上昇」を、-は「下降」を表す。
 ※表中の○は、上記に示した「A、B、C」及び「+、-」の数値が±5ポイント以上離れていることを表す。
 ※表中の網かけは、当該年度に同じ質問項目がなかったものである。

小学校

《児童質問紙》

| 質問紙番号 | 質問項目 | | H27 | H27→H28 | H28 | H28→H29 | H29 | H29→H30 | H30 |
|---|---|-------|------|---------|------|---------|------|---------|------|
| ① | 基本的生活習慣の状況 「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」の平均値 | 三重県 | 88.3 | | 89.1 | | 88.6 | | 86.0 |
| | | 全国 | 88.7 | A + | 88.8 | C - | 88.8 | C - | 86.8 |
| | | 全国との差 | -0.4 | | 0.3 | | -0.2 | | -0.8 |
| | (7) 朝食を毎日食べている | 三重県 | 95.3 | | 95.7 | | 95.4 | | 94.7 |
| | | 全国 | 95.6 | A + | 95.5 | C - | 95.4 | A - | 94.5 |
| | | 全国との差 | -0.3 | | 0.2 | | 0.0 | | 0.2 |
| | (8) 毎日、同じくらいの時刻に寝ている | 三重県 | 79.0 | | 80.2 | | 79.3 | | 75.1 |
| | | 全国 | 79.5 | A + | 80.1 | C - | 79.8 | C - | 77.0 |
| | | 全国との差 | -0.5 | | 0.1 | | -0.5 | | -1.9 |
| (9) 毎日、同じくらいの時刻に起きている | 三重県 | 90.7 | | 91.4 | | 91.1 | | 88.3 | |
| | 全国 | 91.0 | A + | 90.8 | C - | 91.2 | C - | 88.8 | |
| | 全国との差 | -0.3 | | 0.6 | | -0.1 | | -0.5 | |
| ② | 子どもたちの自尊心の状況 「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する」「自分には、よいところがあると思う」の平均値 | 三重県 | 82.1 | | 82.7 | | 83.5 | | |
| | | 全国 | 82.4 | A + | 82.3 | C + | 83.4 | | |
| | | 全国との差 | -0.3 | | 0.4 | | 0.1 | | |
| | 削除 ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある | 三重県 | 94.5 | | 94.9 | | 95.1 | | |
| | | 全国 | 94.5 | A + | 94.4 | C + | 94.8 | | |
| | | 全国との差 | 0.0 | | 0.5 | | 0.3 | | |
| | 削除 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する | 三重県 | 76.6 | | 77.6 | | 78.1 | | |
| | | 全国 | 76.4 | A + | 76.1 | C + | 77.4 | | |
| | | 全国との差 | 0.2 | | 1.5 | | 0.7 | | |
| (1) 自分には、よいところがあると思う | 三重県 | 75.1 | | 75.5 | | 77.4 | | 83.4 | |
| | 全国 | 76.4 | A + | 76.3 | A + | 77.9 | C ⊕ | 84.0 | |
| | 全国との差 | -1.3 | | -0.8 | | -0.5 | | -0.6 | |
| ③ (3) 将来の夢や目標を持っている | 三重県 | 85.3 | | 83.7 | | 84.4 | | 83.7 | |
| | 全国 | 86.5 | C - | 85.3 | A + | 85.9 | A - | 85.1 | |
| | 全国との差 | -1.2 | | -1.6 | | -1.5 | | -1.4 | |
| ④ | 平日の子どもたちのテレビ・テレビゲーム等の使用状況 「平日のテレビ等の視聴(3時間以上)」「平日のテレビゲーム等の使用(3時間以上)」の平均値 | 三重県 | 27.0 | | 24.6 | | 26.6 | | |
| | | 全国 | 26.6 | A + | 24.4 | C - | 25.2 | | |
| | | 全国との差 | 0.4 | | 0.2 | | 1.4 | | |
| | 削除 平日のテレビ等の視聴(3時間以上) | 三重県 | 35.8 | | 32.4 | | 33.7 | | |
| | | 全国 | 36.1 | A + | 32.8 | C - | 32.7 | | |
| | | 全国との差 | -0.3 | | -0.4 | | 1.0 | | |
| 削除 平日のテレビゲーム等の使用(スマホのゲームを含む)(3時間以上) | 三重県 | 18.2 | | 16.8 | | 19.4 | | | |
| | 全国 | 17.0 | A + | 16.0 | C - | 17.6 | | | |
| | 全国との差 | 1.2 | | 0.8 | | 1.8 | | | |
| ⑤ 削除 平日のスマホの通話やメール、インターネットの使用(3時間以上) | 三重県 | 6.3 | | 5.9 | | 7.9 | | | |
| | 全国 | 5.7 | A + | 5.8 | C - | 7.0 | | | |
| | 全国との差 | 0.6 | | 0.1 | | 0.9 | | | |
| ⑥ (14) 平日の学習時間(1時間以上) | 三重県 | 58.4 | | 60.4 | | 61.6 | | 62.7 | |
| | 全国 | 62.7 | A + | 62.5 | C + | 64.4 | C + | 66.2 | |
| | 全国との差 | -4.3 | | -2.1 | | -2.8 | | -3.5 | |
| ⑦ 削除 休みの日の学習時間(1時間以上) | 三重県 | 45.8 | | 49.0 | | 47.9 | | | |
| | 全国 | 56.7 | A + | 57.0 | C - | 57.3 | | | |
| | 全国との差 | -10.9 | | -8.0 | | -9.4 | | | |
| ⑧ (15) 授業時間以外の読書時間(平日10分以上) | 三重県 | 61.1 | | 62.4 | | 61.8 | | 64.4 | |
| | 全国 | 64.2 | A + | 63.5 | C - | 63.3 | C + | 66.2 | |
| | 全国との差 | -3.1 | | -1.1 | | -1.5 | | -1.8 | |
| ⑨ (18) 家の人(兄弟姉妹は含まない)と学校での出来事について話をする | 三重県 | 78.6 | | 78.2 | | 77.6 | | 80.0 | |
| | 全国 | 79.5 | C - | 79.2 | A - | 78.1 | B + | 80.5 | |
| | 全国との差 | -0.9 | | -1.0 | | -0.5 | | -0.5 | |
| ⑩ 削除 家の手伝いをしていますか | 三重県 | | | 82.5 | | | | | |
| | 全国 | | | 82.8 | | | | | |
| | 全国との差 | | | -0.3 | | | | | |
| ⑪ (10) 家で、自分で計画を立てて勉強している | 三重県 | 60.5 | | 61.7 | | 62.8 | | 67.6 | |
| | 全国 | 62.8 | A + | 62.2 | C + | 64.5 | A + | 67.6 | |
| | 全国との差 | -2.3 | | -0.5 | | -1.7 | | 0.0 | |
| ⑫ 削除 家で、学校の授業の復習をしている | 三重県 | 50.1 | | 54.2 | | 51.1 | | | |
| | 全国 | 54.5 | A + | 55.2 | C - | 53.8 | | | |
| | 全国との差 | -4.4 | | -1.0 | | -2.7 | | | |
| ⑬ 削除 学校に行くのが楽しい | 三重県 | 86.9 | | 86.9 | | 87.1 | | | |
| | 全国 | 87.0 | A | 86.3 | A + | 86.3 | | | |
| | 全国との差 | -0.1 | | 0.6 | | 0.8 | | | |
| ⑭ (2) 先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う | 三重県 | | | 83.8 | | 87.2 | | 86.4 | |
| | 全国 | | | 82.6 | B + | 86.0 | C - | 85.3 | |
| | 全国との差 | | | 1.2 | | 1.2 | | 1.1 | |
| ⑮ 削除 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる | 三重県 | | | 87.8 | | 87.7 | | | |
| | 全国 | | | 84.8 | C - | 85.1 | | | |
| | 全国との差 | | | 3.0 | | 2.6 | | | |

第5章 「みえの学力向上県民運動」主な関連指標

| 質問紙番号 | 質問項目 | | H 2 7 | H27→H28 | H 2 8 | H28→H29 | H 2 9 | H29→H30 | H 3 0 | |
|--------|---|--|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|------|
| ⑯ (20) | 地域行事への参加 | 三重県 | 72.0 | A + | 73.1 | A - | 68.3 | C - | 66.7 | |
| | | 全国 | 66.9 | | 67.9 | | 62.6 | | 62.7 | |
| | | 全国との差 | 5.1 | | 5.2 | | 5.7 | | 4.0 | |
| ⑰ (21) | 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある | 三重県 | 60.9 | A + | 71.3 | C ⊖ | 62.0 | | 62.0 | |
| | | 全国 | 63.9 | | 70.6 | | 63.9 | A | 63.8 | |
| | | 全国との差 | -3.0 | | 0.7 | | -1.9 | | -1.8 | |
| ⑱ (23) | 地域社会などでボランティア活動に参加したことがある | 三重県 | | | 30.8 | A - | 30.3 | C + | 30.8 | |
| | | 全国 | | | 36.2 | | 35.4 | | 36.1 | |
| | | 全国との差 | | | -5.4 | | -5.1 | | -5.3 | |
| ⑲ | 子どもたちの規範意識の状況 「学校のきまりを守っている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」の平均値 | 三重県 | 93.7 | A + | 94.4 | C - | 94.0 | C - | 93.7 | |
| | | 全国 | 93.7 | | 94.0 | | 93.7 | | 93.8 | |
| | | 全国との差 | 0.0 | | 0.4 | | 0.3 | | -0.1 | |
| | (4) 学校のきまりを守っている | 三重県 | 91.0 | A + | 91.8 | C + | 92.8 | C - | 88.6 | |
| | | 全国 | 91.1 | | 91.5 | | 92.6 | | 89.5 | |
| | | 全国との差 | -0.1 | | 0.3 | | 0.2 | | -0.9 | |
| | (5) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う | 三重県 | 96.5 | C + | 96.8 | A - | 96.4 | C + | 97.0 | |
| | | 全国 | 96.2 | | 96.6 | | 96.1 | | 96.8 | |
| | | 全国との差 | 0.3 | | 0.2 | | 0.3 | | 0.2 | |
| | (6) 人の役に立つ人間になりたいと思う | 三重県 | 93.7 | A + | 94.5 | C - | 92.8 | B + | 95.5 | |
| | | 全国 | 93.7 | | 93.8 | | 92.5 | | 95.2 | |
| | | 全国との差 | 0.0 | | 0.7 | | 0.3 | | 0.3 | |
| ⑳ 削除 | 主体的・協働的な授業に取り組んでいる授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいる。 | 三重県 | 71.0 | A + | 75.0 | C - | 72.8 | | | |
| | | 全国 | 74.2 | | 75.7 | | 75.1 | | | |
| | | 全国との差 | -3.2 | | -0.7 | | -2.3 | | | |
| ㉑ 削除 | 授業の中で目標（めあて・ねらい）の提示 ※H27までは「授業のはじめに」 | 三重県 | 83.0 | A + | 88.8 | B + | 89.4 | | | |
| | | 全国 | 86.3 | | 87.6 | | 88.2 | | | |
| | | 全国との差 | -3.3 | | 1.2 | | 1.2 | | | |
| ㉒ 削除 | 授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定 | 三重県 | 71.4 | A ⊕ | 76.9 | A + | 78.8 | | | |
| | | 全国 | 75.3 | | 76.1 | | 76.2 | | | |
| | | 全国との差 | -3.9 | | 0.8 | | 2.6 | | | |
| ㉓ 削除 | 国語の授業の内容がよく分かる | 三重県 | 82.2 | A - | 81.4 | A + | 83.4 | | | |
| | | 全国 | 82.0 | | 80.7 | | 82.2 | | | |
| | | 全国との差 | 0.2 | | 0.7 | | 1.2 | | | |
| ㉔ (29) | 算数の授業の内容がよく分かる | 三重県 | 81.3 | A + | 82.6 | A + | 83.3 | C + | 85.5 | |
| | | 全国 | 81.0 | | 80.2 | | 80.6 | | 83.4 | |
| | | 全国との差 | 0.3 | | 2.4 | | 2.7 | | 2.1 | |
| ㉕ | 削除 | 授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つ ※国語、算数の平均値 | 三重県 | 89.0 | A + | 90.3 | C - | 89.0 | | |
| | | | 全国 | 89.5 | | 89.6 | | 88.5 | | |
| | | | 全国との差 | -0.5 | | 0.7 | | 0.5 | | |
| | (33) | 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ | 三重県 | 90.0 | A + | 90.5 | C - | 89.3 | A + | 91.2 |
| | | | 全国 | 90.3 | | 89.9 | | 89.1 | | 90.3 |
| | | | 全国との差 | -0.3 | | 0.6 | | 0.2 | | 0.9 |

《学校質問紙》

| 質問紙番号 | 質問項目 | | H 2 7 | H27→H28 | H 2 8 | H28→H29 | H 2 9 | H29→H30 | H 3 0 |
|--------|--|-------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| ㉖ 削除 | 対象児童に対して、前年度に、図書館資料を活用した授業を計画的に実施（学期に数回以上） ※H28までは「学校図書館を活用」 | 三重県 | 81.8 | A + | 83.1 | A - | 82.8 | | |
| | | 全国 | 82.6 | | 83.0 | | 83.9 | | |
| | | 全国との差 | -0.8 | | 0.1 | | -1.1 | | |
| ㉗ 削除 | 対象児童に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施（週に2回以上） | 三重県 | 22.7 | C - | 21.8 | A + | 25.6 | | |
| | | 全国 | 17.7 | | 17.9 | | 19.0 | | |
| | | 全国との差 | 5.0 | | 3.9 | | 6.6 | | |
| ㉘ 削除 | 授業の中で目標（めあて・ねらい）の提示 ※H27までは「授業のはじめに」 | 三重県 | 97.8 | A + | 98.7 | C + | 98.8 | | |
| | | 全国 | 98.1 | | 98.8 | | 99.0 | | |
| | | 全国との差 | -0.3 | | -0.1 | | -0.2 | | |
| ㉙ 削除 | 授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定 | 三重県 | 89.9 | A + | 93.0 | A + | 95.3 | | |
| | | 全国 | 93.9 | | 94.9 | | 95.4 | | |
| | | 全国との差 | -4.0 | | -1.9 | | -0.1 | | |
| ㉚ (30) | 学校生活の中で子どもたち一人ひとりのよい点や可能性を見つけ、児童生徒に伝えるなど積極的に評価した | 三重県 | 97.6 | A + | 99.4 | C - | 98.1 | C + | 99.4 |
| | | 全国 | 96.7 | | 98.4 | | 97.4 | | 99.0 |
| | | 全国との差 | 0.9 | | 1.0 | | 0.7 | | 0.4 |
| ㉛ (31) | 前年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用 | 三重県 | 98.1 | C - | 97.6 | A + | 98.9 | C - | 98.4 |
| | | 全国 | 95.8 | | 97.0 | | 96.6 | | 97.6 |
| | | 全国との差 | 2.3 | | 0.6 | | 2.3 | | 0.8 |
| ㉜ (53) | 地域等の人材を招へいた授業等の実施 | 三重県 | 82.9 | C ⊕ | 88.4 | A + | 90.4 | B - | 89.6 |
| | | 全国 | 76.3 | | 82.4 | | 84.2 | | 83.4 |
| | | 全国との差 | 6.6 | | 6.0 | | 6.2 | | 6.2 |
| ㉝ (84) | 校長の授業の見回り（週に2日以上） | 三重県 | 95.4 | A + | 98.2 | C - | 96.6 | C + | 96.9 |
| | | 全国 | 93.1 | | 94.2 | | 94.5 | | 95.1 |
| | | 全国との差 | 2.3 | | 4.0 | | 2.1 | | 1.8 |

中学校

《生徒質問紙》

| 質問紙番号 | 質問項目 | | H 2 7 | H 2 7-H 2 8 | H 2 8 | H 2 8-H 2 9 | H 2 9 | H 2 9-H 3 0 | H 3 0 |
|---|---|-------|-------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|
| ① | 基本的生活習慣の状況 「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に就寝している」「毎日、同じくらいの時刻に起床している」の平均値 | 三重県 | 86.8 | | 87.4 | | 87.1 | | 85.2 |
| | | 全国 | 86.9 | A + | 86.9 | C - | 87.1 | C - | 85.5 |
| | | 全国との差 | -0.1 | | 0.5 | | 0.0 | | -0.3 |
| | (7) 朝食を毎日食べている | 三重県 | 93.1 | | 93.8 | | 93.6 | | 92.0 |
| | | 全国 | 93.5 | A + | 93.3 | C - | 93.2 | C - | 91.9 |
| | | 全国との差 | -0.4 | | 0.5 | | 0.4 | | 0.1 |
| | (8) 毎日、同じくらいの時刻に就寝している | 三重県 | 75.3 | | 75.6 | | 75.7 | | 74.0 |
| | | 全国 | 75.2 | A + | 75.2 | C + | 75.6 | C - | 74.2 |
| | | 全国との差 | 0.1 | | 0.4 | | 0.1 | | -0.2 |
| | (9) 毎日、同じくらいの時刻に起床している | 三重県 | 91.9 | | 92.7 | | 92.0 | | 89.6 |
| | | 全国 | 92.1 | A + | 92.3 | C - | 92.4 | C - | 90.3 |
| | | 全国との差 | -0.2 | | 0.4 | | -0.4 | | -0.7 |
| ② | 子どもたちの自尊心の状況 「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する」「自分には、よいところがあると思う」の平均値 | 三重県 | 78.1 | | 79.0 | | 80.6 | | |
| | | 全国 | 77.0 | A + | 77.7 | A + | 78.8 | | |
| | | 全国との差 | 1.1 | | 1.3 | | 1.8 | | |
| | 削除 ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある | 三重県 | 95.1 | | 95.0 | | 95.5 | | |
| | | 全国 | 94.2 | C - | 94.3 | A + | 94.7 | | |
| | | 全国との差 | 0.9 | | 0.7 | | 0.8 | | |
| | 削除 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する | 三重県 | 69.7 | | 70.8 | | 73.2 | | |
| | | 全国 | 68.8 | A + | 69.6 | A + | 71.0 | | |
| | | 全国との差 | 0.9 | | 1.2 | | 2.2 | | |
| | (1) 自分には、よいところがあると思う | 三重県 | 69.4 | | 71.3 | | 73.2 | | 79.9 |
| | | 全国 | 68.1 | A + | 69.3 | A + | 70.7 | C ⊕ | 78.8 |
| | | 全国との差 | 1.3 | | 2.0 | | 2.5 | | 1.1 |
| ③ (3) 将来の夢や目標を持っている | 三重県 | 71.7 | | 71.0 | | 71.2 | | 72.5 | |
| | 全国 | 71.7 | C - | 71.1 | A + | 70.5 | C + | 72.4 | |
| | 全国との差 | 0.0 | | -0.1 | | 0.7 | | 0.1 | |
| ④ | 平日の子どもたちのテレビ・テレビゲーム等の使用状況 「平日のテレビ等の視聴（3時間以上）」「平日のテレビゲーム等の使用（3時間以上）」の平均値 | 三重県 | 27.7 | | 23.4 | | 25.5 | | |
| | | 全国 | 25.5 | A + | 21.5 | C - | 23.4 | | |
| | | 全国との差 | 2.2 | | 1.9 | | 2.1 | | |
| | 削除 平日のテレビ等の視聴（3時間以上） | 三重県 | 32.4 | | 25.5 | | 27.3 | | |
| | | 全国 | 30.5 | A ⊕ | 24.1 | C - | 25.3 | | |
| | | 全国との差 | 1.9 | | 1.4 | | 2.0 | | |
| | 削除 平日のテレビゲーム等の使用（スマホのゲームを含む）（3時間以上） | 三重県 | 22.9 | | 21.2 | | 23.6 | | |
| | | 全国 | 20.5 | A + | 18.9 | A - | 21.4 | | |
| | | 全国との差 | 2.4 | | 2.3 | | 2.2 | | |
| | ⑤ 削除 平日のスマホの通話やメール、インターネットの使用（3時間以上） | 三重県 | 21.5 | | 18.6 | | 20.6 | | |
| | | 全国 | 18.2 | A + | 16.6 | C - | 18.1 | | |
| | | 全国との差 | 3.3 | | 2.0 | | 2.5 | | |
| ⑥ (14) 平日の学習時間（1時間以上） | 三重県 | 66.5 | | 65.2 | | 66.5 | | 67.5 | |
| | 全国 | 69.0 | C - | 67.9 | C + | 69.6 | B + | 70.6 | |
| | 全国との差 | -2.5 | | -2.7 | | -3.1 | | -3.1 | |
| ⑦ 削除 休みの日の学習時間（1時間以上） | 三重県 | 59.9 | | 59.8 | | 62.0 | | | |
| | 全国 | 68.7 | A - | 67.8 | A + | 69.4 | | | |
| | 全国との差 | -8.8 | | -8.0 | | -7.4 | | | |
| ⑧ (15) 授業時間以外に読書をする子どもたちの割合（10分以上） | 三重県 | 48.6 | | 46.4 | | 47.7 | | 49.6 | |
| | 全国 | 52.2 | A - | 49.7 | C + | 51.4 | C + | 53.5 | |
| | 全国との差 | -3.6 | | -3.3 | | -3.7 | | -3.9 | |
| ⑨ (18) 家の人（兄弟姉妹は含まない）と学校での出来事について話をする | 三重県 | 73.4 | | 73.7 | | 74.0 | | 75.4 | |
| | 全国 | 73.7 | C + | 74.1 | A + | 74.3 | C + | 76.0 | |
| | 全国との差 | -0.3 | | -0.4 | | -0.3 | | -0.6 | |
| ⑩ 削除 家の手伝いをしていますか | 三重県 | | | 66.8 | | | | | |
| | 全国 | | | 67.2 | | | | | |
| | 全国との差 | | | -0.4 | | | | | |
| ⑪ (10) 家で、自分で計画を立てて勉強している | 三重県 | 51.0 | | 50.3 | | 54.3 | | 54.8 | |
| | 全国 | 48.8 | C - | 48.4 | A + | 51.5 | C + | 52.1 | |
| | 全国との差 | 2.2 | | 1.9 | | 2.8 | | 2.7 | |
| ⑫ 削除 家で、学校の授業の復習をしている | 三重県 | 48.9 | | 48.5 | | 48.6 | | | |
| | 全国 | 52.0 | A - | 51.0 | A + | 50.5 | | | |
| | 全国との差 | -3.1 | | -2.5 | | -1.9 | | | |
| ⑬ 削除 学校に行くのが楽しい | 三重県 | 83.9 | | 84.0 | | 82.9 | | | |
| | 全国 | 82.1 | A + | 81.4 | C - | 80.9 | | | |
| | 全国との差 | 1.8 | | 2.6 | | 2.0 | | | |
| ⑭ (2) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う | 三重県 | | | 79.6 | | 82.2 | | 84.2 | |
| | 全国 | | | 78.0 | A + | 80.4 | A + | 82.2 | |
| | 全国との差 | | | 1.6 | | 1.8 | | 2.0 | |
| ⑮ 削除 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる | 三重県 | | | 77.4 | | 79.3 | | | |
| | 全国 | | | 74.1 | A + | 75.5 | | | |
| | 全国との差 | | | 3.3 | | 3.8 | | | |

第5章 「みえの学力向上県民運動」主な関連指標

| 質問紙番号 | 質問項目 | | H 2 7 | H27-H28 | H 2 8 | H28-H29 | H 2 9 | H29-H30 | H 3 0 |
|------------------------------------|---|-------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| ⑯ (20) | 地域行事への参加 | 三重県 | 50.7 | | 50.9 | | 47.2 | | 49.6 |
| | | 全国 | 44.8 | C + | 45.2 | C - | 42.1 | C + | 45.6 |
| | | 全国との差 | 5.9 | | 5.7 | | 5.1 | | 4.0 |
| ⑰ (21) | 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある | 三重県 | 53.6 | | 65.9 | | 57.8 | | 58.5 |
| | | 全国 | 55.9 | A ⊕ | 65.8 | C ⊖ | 59.2 | A ⊕ | 59.3 |
| | | 全国との差 | -2.3 | | 0.1 | | -1.4 | | -0.8 |
| ⑱ (23) | 地域社会などでボランティア活動に参加したことがある | 三重県 | | | 45.7 | | 46.3 | | 47.7 |
| | | 全国 | | | 48.7 | C + | 49.7 | C + | 51.8 |
| | | 全国との差 | | | -3.0 | | -3.4 | | -4.1 |
| ⑲ (4)(5)(6) | 子どもたちの規範意識の状況 「学校の規則を守っている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」の平均値 | 三重県 | 94.4 | | 94.2 | | 94.1 | | 95.9 |
| | | 全国 | 93.9 | B - | 93.7 | A - | 93.3 | C + | 95.2 |
| | | 全国との差 | 0.5 | | 0.5 | | 0.8 | | 0.7 |
| | (4) 学校の規則を守っている | 三重県 | 95.2 | | 95.9 | | 96.5 | | 96.0 |
| | | 全国 | 94.4 | A + | 94.7 | A + | 95.2 | C - | 95.1 |
| | | 全国との差 | 0.8 | | 1.2 | | 1.3 | | 0.9 |
| | (5) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う | 三重県 | 93.9 | | 93.7 | | 93.0 | | 96.2 |
| | | 全国 | 93.7 | C - | 93.6 | A - | 92.8 | A + | 95.5 |
| | | 全国との差 | 0.2 | | 0.1 | | 0.2 | | 0.7 |
| | (6) 人の役に立つ人間になりたいと思う | 三重県 | 94.1 | | 93.0 | | 92.7 | | 95.5 |
| | | 全国 | 93.7 | C - | 92.8 | A - | 91.9 | C + | 94.9 |
| | | 全国との差 | 0.4 | | 0.2 | | 0.8 | | 0.6 |
| ⑳ 削除 | 主体的・協働的な授業に取り組んでいる 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいる。 | 三重県 | 69.9 | | 73.1 | | 74.1 | | |
| | | 全国 | 65.7 | C + | 69.3 | C + | 71.3 | | |
| | | 全国との差 | 4.2 | | 3.8 | | 2.8 | | |
| ㉑ 削除 | 授業の中で目標（めあて・ねらい）の提示 ※H27までは「授業のはじめに」 | 三重県 | 75.5 | | 85.5 | | 90.2 | | |
| | | 全国 | 79.7 | A ⊕ | 84.9 | A + | 87.8 | | |
| | | 全国との差 | -4.2 | | 0.6 | | 2.4 | | |
| ㉒ 削除 | 授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定 | 三重県 | 58.3 | | 68.8 | | 72.1 | | |
| | | 全国 | 59.3 | A ⊕ | 63.1 | A + | 66.1 | | |
| | | 全国との差 | -1.0 | | 5.7 | | 6.0 | | |
| ㉓ 削除 | 国語の授業の内容がよく分かる | 三重県 | 76.3 | | 75.4 | | 77.6 | | |
| | | 全国 | 74.3 | C - | 74.1 | A + | 74.9 | | |
| | | 全国との差 | 2.0 | | 1.3 | | 2.7 | | |
| ㉔ (29) | 数学の授業の内容がよく分かる | 三重県 | 75.4 | | 74.9 | | 75.0 | | 75.0 |
| | | 全国 | 71.6 | A - | 69.4 | A + | 69.4 | C | 71.0 |
| | | 全国との差 | 3.8 | | 5.5 | | 5.6 | | 4.0 |
| ㉕ 削除 | 授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つ ※国語、数学の平均値 | 三重県 | 79.1 | | 79.3 | | 79.8 | | |
| | | 全国 | 78.4 | A + | 78.1 | A + | 77.9 | | |
| | | 全国との差 | 0.7 | | 1.2 | | 1.9 | | |
| | (33) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ | 三重県 | 85.0 | | 85.4 | | 85.3 | | |
| | | 全国 | 84.2 | B + | 84.6 | A - | 83.3 | | |
| | | 全国との差 | 0.8 | | 0.8 | | 2.0 | | |
| (33) 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ | 三重県 | 73.2 | | 73.1 | | 74.3 | | 74.8 | |
| | 全国 | 72.5 | A - | 71.5 | A + | 72.4 | B + | 72.9 | |
| | 全国との差 | 0.7 | | 1.6 | | 1.9 | | 1.9 | |

《学校質問紙》

| 質問紙番号 | 質問項目 | | H 2 7 | H27-H28 | H 2 8 | H28-H29 | H 2 9 | H29-H30 | H 3 0 |
|--------|---|-------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| ㉖ 削除 | 対象生徒に対して、前年度に、図書館資料を活用した授業を計画的に実施（学期に数回以上） ※H28までは「学校図書館を活用」 | 三重県 | 44.7 | | 45.3 | | 48.4 | | |
| | | 全国 | 44.9 | C + | 46.5 | B + | 49.6 | | |
| | | 全国との差 | -0.2 | | -1.2 | | -1.2 | | |
| ㉗ 削除 | 対象生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施（「週に2回以上」） | 三重県 | 13.7 | | 12.0 | | 15.3 | | |
| | | 全国 | 14.9 | C - | 15.6 | A + | 15.6 | | |
| | | 全国との差 | -1.2 | | -3.6 | | -0.3 | | |
| ㉘ 削除 | 授業の中で目標（めあて・ねらい）の提示 ※H27までは「授業のはじめに」 | 三重県 | 87.6 | | 100.0 | | 98.8 | | |
| | | 全国 | 95.7 | A ⊕ | 97.8 | C - | 98.3 | | |
| | | 全国との差 | -8.1 | | 2.2 | | 0.5 | | |
| ㉙ 削除 | 授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定 | 三重県 | 87.5 | | 96.2 | | 96.8 | | |
| | | 全国 | 90.9 | A ⊕ | 93.0 | C + | 94.3 | | |
| | | 全国との差 | -3.4 | | 3.2 | | 2.5 | | |
| ⑳ (29) | 学校生活の中で子どもたち一人ひとりのよい点や可能性を見つけ、児童生徒に伝えるなど積極的に評価した | 三重県 | 99.4 | | 98.8 | | 96.8 | | 99.4 |
| | | 全国 | 95.8 | C - | 97.2 | C - | 95.5 | A + | 97.9 |
| | | 全国との差 | 3.6 | | 1.6 | | 1.3 | | 1.5 |
| ㉑ (30) | 前年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用 | 三重県 | 94.4 | | 95.5 | | 94.2 | | 97.5 |
| | | 全国 | 93.2 | C + | 94.8 | C - | 94.4 | A + | 96.1 |
| | | 全国との差 | 1.2 | | 0.7 | | -0.2 | | 1.4 |
| ㉒ (51) | 地域等の人材を招へいた授業等の実施 | 三重県 | 64.0 | | 74.2 | | 75.8 | | 75.9 |
| | | 全国 | 58.8 | A ⊕ | 65.1 | C + | 68.9 | C + | 70.1 |
| | | 全国との差 | 5.2 | | 9.1 | | 6.9 | | 5.8 |
| ㉓ (81) | 校長の授業の見回り（週に2日以上） | 三重県 | 81.4 | | 88.1 | | 88.5 | | 91.8 |
| | | 全国 | 81.4 | A ⊕ | 82.6 | C + | 83.5 | A + | 85.4 |
| | | 全国との差 | 0.0 | | 5.5 | | 5.0 | | 6.4 |

第6章 今後の取組

子どもたちの「わからない」「できない」を、「わかった」「できた」という実感につなげられるよう、県教育委員会では、広域教育行政の立場から子どもたちが学習内容を確実に理解・定着できる取組を進め、より一層市町と連携しながら学校・家庭・地域の取組を支援してまいります。

学習内容の理解・定着状況を確認するための取組

(1) 確認用ワークシート（学-Viva!!セット）の提供

学-Viva!!セットに、学習内容の定着状況が確認できるよう、当該学年で身につけておくべき基礎からの標準的な問題を集めたワークシートを加えて提供します。各学校においては、全国学調の結果分析等から明らかになった課題における学習内容の理解・定着が図られるよう、計画的に活用してください。

(2) みえスタディ・チェックの改善

これまで毎回異なる問題を出題していましたが、1月実施分は4月実施からの定着状況の確認や経年での比較検証ができるよう、同一、同趣旨の問題で作成します。実施後、課題の理解・定着状況を把握し、課題を改善する取組を進め、子どもたち一人ひとりの学習内容の確かな理解と定着を図ってください。

(3) 子どもたちの理解・定着状況に応じた少人数指導

子どもたちの課題に応じて、より学習内容の理解・定着が図られるよう、「効果的な少人数指導推進ガイドブック」をふまえ、教科・単元の特性に応じた指導形態による少人数指導の取組を推進します。

経年的な課題の改善に向けた取組

(1) 「わかる・できる育成カリキュラム」の提供

各学年の学習内容の積み上げが必要な小学校算数の「割合」「図形」について、小学校6年間の学習内容のつながりを把握し、より効果的な指導が行えるよう、『割合』『図形』における子どもたちの理解の状況」「小学校算数科における『割合』『図形』の学習のつながり」「『割合』『図形』における指導のポイント」「たしかめプリント」で構成した指導資料「わかる・できる育成カリキュラム」を作成し、全小学校教員及び中学校に提供しました。

また、各学校において子どもたちの学習内容の理解・定着状況を確認できるたしかめプリント「割合スペシャル」を各校1部配付するとともに、計算マスター、図形たしかめプリント（追加版）を、授業改善サイクル支援ネットに掲載しました。

各学校で小学校6年間の学習内容のつながりを理解した授業実践に向け、「わかる・できる育成カリキュラム」を活用してください。

(2) 数学的思考力を育成するPC版学習教材「Think!Think!」の提供

展開図が立体になるかどうかを頭の中で考えたり、平面図形で補助線をイメージしたりすることなど、PC上でゲーム感覚で学べる教材「Think! Think!」を活用して、「空間認識」「平面図形」「数学的处理」等の感覚を低学年から身に付けられるよう、活用を希望する小学校及び特別支援学校に、民間企業と連携して、PC版学習教材「Think!Think!」を提供しています。

教職員研修での取組

(1) 新任校長研修における取組

新任校長研修に授業改善のマネジメント、教員の授業力向上に向けた指導・助言方法などを取り入れます。

(2) 教職員研修における取組

若手教員を対象とした研修に、めあて・振り返りの効果的な実施、子どもの課題に対応した授業づくり、教材の活用などについて、授業改善に向けたより実践的な取組を位置付けます。

家庭・地域と一体となった生活習慣・読書習慣の確立に向けた取組

(1) 生活習慣の確立

県PTA連合会と連携し、生活習慣・読書習慣チェックシートの取組を実施します。

また、子どもを持つ保護者が、話し合いやワークを通じて子育てや家庭教育を学ぶ「みえの親スマイルワーク」が就学前検診、入学説明会等の場で実施されるよう、ファシリテーター養成講座を開催するとともに、ワーク進行について助言・支援を行います。また、実践事例を集めて発信することでワークの実施を拡大していきます。

(2) 読書習慣の確立

これまでの取組（ビブリオバトル、ビンゴカード）に加え、朝の一斉読書の時間等の活用をはじめとした学級全体で取り組める読書活動を提案し、取組を行う学校へ、各取組の実施手順などを示した簡単な資料を提供するなど、学校における取組の実施を支援します。

(3) 地域による学習支援

子どもたちが参加しやすい時間帯に実施している例や、全国学力・学習状況調査の結果等から見てきた子どもたちのつまずきに応じた内容にしている例など、工夫した学習支援の事例を収集し市町等教育委員会に提供していきます。

また、中学校区における地域未来塾等、地域で学習支援を行う団体と子どもたちのつまずきや学校の課題を共有し、子どもたちの状況に応じた支援ができるよう市町等教育委員会と連携して取組を進めます。

<参考> 「子どもの問題は、大人の問題」です。

子どもたちは、一人ひとりがかげがえのない大切な存在であり、将来、地域で輝き、世界で活躍する姿は、私たちの希望であり未来です。子どもたちの無限の可能性を最大限引き出すとともに、強みを伸ばして支えていくことは、子どもたちに関わる全ての大人の役割と責任です。子どもたちは、大人を見ており、「子どもの問題は、大人の問題」です。

教育は子どもたちの心に灯をともしることであり、大人が子どもたちを信じ、寄り添い、情熱を持って心を通わせる中で、希望の灯をともし、やる気にスイッチを入れることが大切です。また、子どもたちは、さまざまな場での学びをとおして成長していきますが、教育格差が原因となって貧困の連鎖が生まれ、子どもたちの将来が閉ざされることがないように、子どもたちを多面的にサポートする人びとのつながり（絆）が、これまで以上に求められています。

そこで三重県では、子どもたちの希望と未来を支える学力を育んでいくため、教育関係者のみならず、全ての県民が教育の当事者としての自覚を持ち、「毎日が未来への分岐点」という思いのもと、それぞれの役割を果たし、子どもたちと向き合っていきます。平成28年度からの4年間は、みえの学力向上県民運動セカンドステージとして、学校では授業改善等の取組を深め、家庭・地域では生活習慣・学習習慣・読書習慣の確立等の取組を広げ、家庭の状況により、対応が難しい問題については、地域による学習支援や居場所づくりなどにより、地域で支えるという方向性を基本としながら、県民力を結集し、全力で取り組みます。

（「みえの学力向上県民運動 基本方針」より一部抜粋）

<参考>

「みえの学力向上県民運動セカンドステージ」(<http://www.mie-c.ed.jp/kenminundou/>)

○基本方針

・県民運動の趣旨等をご覧ください。

○生活習慣・読書習慣チェックシート

・ご家庭でダウンロードして活用していただけます。

○みえの親スマイルワーク

・「みえの家庭教育応援プラン」に基づき作成された、学級・学年の懇談会、PTAの行事などの機会や、地域のサークルや企業内での集まりなど、研修会や学習会だけでなく、さまざまな場面で活用していただけるワークを掲載しています。

第7章 市町等別調査結果・分析と今後の取組

※各市町等の調査結果・分析及び今後の取組の公表については、基本的に各市町等の判断により行います。各市町等の情報は、以下の各市町等のホームページをご覧ください。
 なお、市町等の情報をリンク等することについては、全市町等の同意を得ています。

- | | | | | |
|--|---|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>桑名市</u> ・ <u>朝日町</u> ・ <u>津市</u> ・ <u>明和町</u> ・ <u>南伊勢町</u> ・ <u>名張市</u> ・ <u>紀宝町</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>木曽岬町</u> ・ <u>菰野町</u> ・ <u>松阪市</u> ・ <u>大台町</u> ・ <u>度会町</u> ・ <u>尾鷲市</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>いなべ市</u> ・ <u>川越町</u> ・ <u>多気町</u> ・ <u>伊勢市</u> ・ <u>鳥羽市</u> ・ <u>紀北町</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>東員町</u> ・ <u>鈴鹿市</u> ・ <u>多気町松阪市学校組合</u> ・ <u>玉城町</u> ・ <u>志摩市</u> ・ <u>熊野市</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>四日市市</u> ・ <u>亀山市</u> ・ <u>大紀町</u> ・ <u>伊賀市</u> ・ <u>御浜町</u> |
|--|---|---|---|---|

<資料> 「平成30年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」(平成29年12月21日 文部科学省)より抜粋

| | |
|--|---|
| <p>5. 調査結果の取扱い</p> <p>(5) 調査結果の取扱いに関する配慮事項</p> <p>調査結果については、調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることに重要であることに留意し、適切に取り扱うものとする。</p> <p>調査結果の公表に関しては、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である一方、調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。このことを踏まえ、具体的な公表の取扱い等は、以下のとおりとする。</p> <p>ア 教育委員会及び学校による調査結果の公表</p> <p>(ア) 都道府県教育委員会においては、調査の実施主体が国であることや、市町村が基本的な参加主体であることなどに鑑みて、以下のとおり取り扱うこと。</p> <p>① 自らが設置管理する学校の状況については、それぞれの判断において、(エ)に基づき公表することは可能であること。</p> <p>② 域内の市町村教育委員会が設置管理する学校全体の状況及び各学校の状況については、市町村教育委員会の同意を得た場合は、(エ)に基づき、当該市町村名又は当該市町村教育委員会が設置管理する学校名を明らかにした公表(市町村名又は学校名を特定することが可能な方法による公表を含む。以下同じ。)を行うことは可能であること。</p> <p>なお、個々の市町村名・学校名が明らかとならない方法(例えば、教育事務所単位の状況の公表等)で、(エ)に基づき公表することは、都道府県教育委員会の判断において可能であること。</p> <p>③ ①又は②に基づき個々の市町村名・学校名を明らかにした公表を行うことについては、その教育上の影響等を踏まえ、必要性について慎重に判断すること。</p> <p>④ 自らが設置管理する学校に自校の結果を公表するよう指示する場合も、自らが個々の学校名を明らかにした公表を行う場合に準じて取り扱うこと。</p> <p>(イ) 市町村教育委員会においては、以下のとおり取り扱うこと。</p> <p>① 当該市町村教育委員会が設置管理する学校全体の結果について、それぞれの判断において、(エ)に基づき公表することは可能であること。</p> <p>② 自らが設置管理する学校の状況について、それぞれの判断において、(エ)に基づき公表することは可能であること。この場合、個々の学校名を明らかにした公表を行うことについては、その教育上の影響等を踏まえ、必要性について慎重に判断すること。</p> <p>③ 自らが設置管理する学校に自校の結果を公表するよう指示する場合も、自らが個々の学校名を明らかにした公表を行う場合に準じて取り扱うこと。</p> <p>(ウ) 学校においては、自校の結果について、それぞれの判断において、(エ)に基づき公表することは可能であること。</p> | |
| <p>(エ) 調査結果の公表に当たっては、以下の①から⑥までにより行うこと。</p> <p>① 公表する内容や方法等については、教育上の効果や影響等を考慮して適切なものとなるよう判断すること。</p> <p>② 調査結果の公表を行う教育委員会又は学校においては、単に平均正答数や平均正答率などの数値のみの公表は行わず、調査結果について分析を行い、その分析結果を併せて公表すること。さらに、調査結果の分析を踏まえた今後の改善方策も速やかに示すこと。</p> <p>③ (ア) ①又は(イ) ②に基づき教育委員会が個々の学校名を明らかにした公表を行う場合、又は(ア) ②において市町村教育委員会が学校名を明らかにした公表に同意する場合は、当該学校と公表する内容や方法等について事前に十分相談するとともに、公表を行う教育委員会は、当該調査結果を踏まえて自らが実施する改善方策を調査結果の公表の際に併せて示すこと。</p> <p>また、教育委員会において自らが設置管理する学校に自校の結果を公表するよう指示する場合は、教育委員会は自らが実施する改善方策を速やかに示すとともに、公表する内容等について学校に指示する場合は、教育委員会は当該学校とそれらについて事前に十分相談すること。</p> <p>なお、平均正答数や平均正答率等の数値について一覽での公表やそれらの数値により順位を付した公表等は行わないこと。</p> <p>④ 調査の目的や、調査結果は学力の特定の一部であること、学校における教育活動の側面であることなどを明示すること。</p> <p>⑤ 児童生徒個人の結果が特定されるおそれがある場合は公表しないなど、児童生徒の個人情報の保護を図ること。</p> <p>⑥ 学校や地域の実情に応じて、個別の学校や地域の結果を公表しないなど、必要な配慮を行うこと。</p> <p>(オ) 教育委員会が独自に実施する学力調査の公表の取扱いについては、もとよりそれぞれの教育委員会の判断に委ねられること。</p> | <p>イ 文部科学省が公表する内容以外の調査結果の取扱い</p> <p>(ア) 文部科学省は、調査結果のうち、自らが公表する内容及び別に定めるガイドラインに基づき利用・公表された内容を除くものについて、これが一般に公開されることになると、序列化や過度な競争が生じるおそれや学校の設置管理者等の実施への協力及び国民的な理解が得られなくなるなど正確な情報が得られない可能性が高くなり、全国的な状況を把握できなくなるなど調査の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあると考えられるため、行政機関の保有する情報の公開に関する法律(平成11年法律第42号)第5条第6号の規定を根拠として、同法における不開示情報として取り扱うこととする。</p> <p>(イ) 教育委員会等は、文部科学省から提供を受けた調査結果のうち公表する内容を除くものについて、上記(ア)を参考に、それぞれの地方公共団体が定める情報公開条例に基づく同様の規定を根拠として、情報の開示により調査の適正な遂行に支障を及ぼすことのないよう、本実施要領の趣旨、特に5.(5)ア(エ)を十分踏まえ、適切に対応する必要があること。</p> |

全国学力・学習状況調査における平均正答率経年変化 (H19～H30)

| | 平成19年度 | | 平成20年度 | | 平成21年度 | | 平成22年度 (抽出調査) | | 平成24年度 (抽出調査) | | 平成25年度 | | 平成26年度 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | |
|------|----------|---------|--------|---------|--------|--------|-----------------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------------------|--------|--------|--------|--------|----------|--------|----------|---------|---------|---------|---------|-----|--|
| | 平均正答率 | 三重県 | 平均正答率 | 三重県 | 平均正答率 | 三重県 | 平均正答率の95%信頼区間 (平均正答率の推計値±誤差の幅) | 全国 | 三重県 | 平均正答率の95%信頼区間 (平均正答率の推計値±誤差の幅) | 全国 | 三重県 | 平均正答率 | 三重県 | 平均正答率 | 三重県 | 平均正答率 | 三重県 | 平均正答率 | 三重県 | 平均正答率 | 三重県 | |
| 小学校 | 国語 A | 81.7 | 80.6 | 65.4 | 62.9 | 69.9 | 67.8 | 83.2~83.5 (83.3±0.2) | 81.4~81.7 (81.6±0.2) | 62.7 | 60.3 | 72.9 | 69.6 | 70.0 | 68.0 | 72.9 | 71.7 | 74.8 | 73.6 | 70.7 | 70.1 | | |
| | | <-1.1> | <-2.5> | <-2.1> | <-1.6> | <-2.0> | 55.4~55.8 (55.6±0.2) | 51.8~53.5 (52.7±0.9) | <-2.0> | 49.4 | 46.7 | 55.5 | 52.5 | 65.4 | 65.3 | 57.8 | 58.1 | <-1.2> | <-1.2> | <-1.2> | ◎<-0.6> | | |
| | 62.0 | 60.0 | 50.5 | 47.1 | 50.5 | 46.9 | 77.7~78.0 (77.8±0.2) | 74.2~76.2 (75.2±1.0) | 49.4 | 46.7 | 55.5 | 52.5 | 65.4 | 65.3 | 57.8 | 58.1 | 57.5 | 57.0 | 54.7 | 53.6 | | | |
| | <-2.0> | <-3.4> | <-3.6> | <-2.6> | <-2.9> | 77.2 | 75.8 | <-2.7> | 77.2 | 75.8 | 78.1 | 76.2 | 75.2 | 74.8 | 77.6 | 78.3 | ◎<+0.3>* | <-0.5> | <-0.5> | <-1.1> | | | |
| 算数 A | 82.1 | 81.1 | 72.2 | 70.9 | 78.7 | 76.0 | 74.0~74.4 (74.2±0.2) | 71.5~73.4 (72.4±1.0) | 77.2 | 75.8 | 78.1 | 76.2 | 75.2 | 74.8 | 77.6 | 78.3 | 78.6 | 77.4 | 63.5 | 62.8 | | | |
| | <-1.0> | <-1.3> | <-2.7> | <-1.8> | <-1.1> | <-2.7> | 49.1~49.5 (49.3±0.2) | 46.5~48.2 (47.3±0.9) | <-1.4> | <-1.4> | <-1.9> | <-1.9> | <-0.4> | <-0.4> | ◎<+0.7>* | <-1.2> | <-1.2> | <-1.2> | <-1.2> | <-0.7> | | | |
| 算数 B | 63.6 | 61.4 | 51.6 | 49.7 | 54.8 | 52.5 | 58.7~59.1 (58.9±0.2) | 56.0~57.6 (56.8±0.8) | 58.4 | 55.3 | 58.2 | 56.0 | 45.0 | 44.1 | 47.2 | 47.1 | 45.9 | 44.6 | 51.5 | 50.1 | | | |
| | <-2.2> | <-1.9> | <-2.3> | <-2.0> | <-2.1> | 60.8 | 59.2 | <-3.1> | 60.8 | 59.2 | <-2.2> | <-2.2> | <-0.9> | <-0.9> | ◎<-0.1> | <-1.3> | <-1.3> | <-1.3> | <-1.3> | <-1.4> | | | |
| 理科 | | | | | | | 60.8~61.1 (60.9±0.2) | 57.2~58.8 (58.0±0.8) | | | | | | | | | | | 60.3 | 58.8 | | | |
| 中学校 | 国語 A | 81.6 | 81.6 | 73.6 | 72.6 | 77.0 | 75.9 | 75.0~75.2 (75.1±0.1) | 73.3~74.7 (74.0±0.7) | 76.4 | 75.0 | 79.4 | 78.0 | 75.8 | 75.0 | 75.6 | 74.4 | 77.4 | 76.9 | 76.1 | 75.3 | | |
| | | ◎<0.0> | <-1.0> | <-1.1> | <-1.0> | <-1.1> | <-1.1> | 63.2~63.4 (63.3±0.1) | 60.4~61.8 (61.1±0.7) | <-1.4> | <-1.4> | <-1.4> | <-1.4> | <-0.8> | <-0.8> | <-1.2> | <-0.5> | <-0.5> | <-0.5> | <-0.8> | | | |
| | 72.0 | 71.0 | 60.9 | 59.5 | 74.5 | 73.3 | 65.1~65.5 (65.3±0.2) | 63.3~65.0 (64.1±0.9) | 67.4 | 65.8 | 51.0 | 49.0 | 65.8 | 64.3 | 66.5 | 64.3 | 72.2 | 70.7 | 61.2 | 59.7 | | | |
| | ◎<-1.0> | <-1.4> | <-1.2> | <-1.2> | <-1.2> | <-1.2> | 62.0~62.3 (62.1±0.2) | 60.7~62.6 (61.6±1.0) | <-1.6> | <-1.6> | <-2.0> | <-2.0> | <-1.5> | <-1.5> | <-2.2> | <-2.2> | <-2.2> | <-1.5> | <-1.5> | <-1.5> | <-1.5> | | |
| 数学 A | 71.9 | 73.1 | 63.1 | 63.8 | 62.7 | 62.7 | 64.4~64.8 (64.6±0.2) | 64.3~66.4 (65.4±1.1) | 63.7 | 63.2 | 67.4 | 67.1 | 64.4 | 64.3 | 62.2 | 62.2 | 64.6 | 65.3 | 66.1 | 66.6 | | | |
| | ◎<+1.2>* | <+0.7>* | <0.0> | <+0.8>* | <-0.5> | <0.0> | 49.2~49.5 (49.3±0.2) | 41.7~43.8 (42.8±1.1) | <-0.5> | <-0.5> | <-0.3> | <-0.3> | <-0.1> | <-0.1> | <0.0> | <0.0> | <+0.7>* | <+0.7>* | <+0.5>* | <+0.5>* | | | |
| 数学 B | 60.6 | 60.6 | 49.2 | 49.3 | 56.9 | 56.5 | 43.1~43.5 (43.3±0.2) | 41.7~43.8 (42.8±1.1) | 41.5 | 39.3 | 59.8 | 58.3 | 41.6 | 40.6 | 44.1 | 43.2 | 48.1 | 47.3 | 46.9 | 45.7 | | | |
| | <0.0> | <+0.1>* | <-0.4> | <-0.5> | <-0.5> | <-0.4> | 50.9~51.1 (51.0±0.1) | 49.7~51.4 (50.6±0.9) | <-2.2> | <-2.2> | <-1.5> | <-1.5> | <-1.0> | <-1.0> | <-0.9> | <-0.9> | <-0.8> | <-0.8> | <-0.8> | <-1.2> | | | |
| 理科 | | | | | | | 50.9~51.1 (51.0±0.1) | 49.7~51.4 (50.6±0.9) | | | | | 53.0 | 51.9 | | | | | 66.1 | 66.0 | | | |
| | | | | | | | <-0.4> | <-0.4> | | | | | <-1.1> | <-1.1> | | | | | ◎<-0.1> | ◎<-0.1> | | | |

平均全国学力・学習状況調査における平均無解答率経年変化（H19～H30）

| | 平成19年度 | | 平成20年度 | | 平成21年度 | | 平成22年度 (抽出調査) | | 平成24年度 (抽出調査) | | 平成25年度 | | 平成26年度 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|------------------|-------|------------------|-------|--------|-------|--------|-------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|
| | 全国 | 三重県 | 全国 | 三重県 | 全国 | 三重県 | 全国 | 三重県 | 全国 | 三重県 | 全国 | 三重県 | 全国 | 三重県 | 全国 | 三重県 | 全国 | 三重県 | 全国 | 三重県 | 全国 | 三重県 |
| 国語 A | 2.03 | 2.45 | 10.93 | 12.92 | 9.90 | 11.82 | 2.63 | 3.51 | 2.98 | 3.99 | 10.68 | 12.33 | 2.30 | 2.86 | 3.56 | 3.34 | 5.29 | 5.05 | 2.77 | 2.26 | 3.51 | 2.98 |
| | <0.42> | | <1.99> | | <1.92> | | <0.88> | | <1.01> | | <1.65> | | <0.56> | | <-0.22>* | | <-0.24>* | | <-0.51>* | | <-0.53>* | |
| 国語 B | 8.67 | 11.21 | 12.30 | 15.18 | 12.10 | 16.03 | 4.22 | 5.93 | 6.61 | 9.14 | 13.59 | 16.84 | 9.20 | 11.40 | 6.09 | 6.11 | 4.62 | 4.38 | 4.31 | 4.32 | 3.76 | 3.89 |
| | <2.54> | | <2.88> | | <3.93> | | <1.71> | | <2.53> | | <3.25> | | <2.20> | | <0.02> | | <-0.24>* | | <0.01> | | <0.13> | |
| 算数 A | 1.12 | 1.34 | 2.95 | 3.39 | 2.10 | 2.56 | 2.41 | 2.85 | 2.26 | 2.88 | 1.66 | 1.96 | 0.90 | 1.01 | 1.79 | 1.66 | 1.79 | 1.48 | 1.59 | 1.44 | 2.48 | 2.03 |
| | <0.22> | | <0.44> | | <0.46> | | <0.44> | | <0.62> | | <0.30> | | <0.11> | | <-0.13>* | | <-0.31>* | | <-0.15>* | | <-0.45>* | |
| 算数 B | 5.87 | 7.27 | 6.05 | 7.61 | 6.20 | 7.99 | 6.21 | 8.02 | 4.62 | 5.79 | 6.31 | 8.11 | 4.30 | 5.36 | 9.12 | 9.64 | 7.37 | 7.08 | 6.42 | 6.64 | 7.93 | 8.26 |
| | <1.40> | | <1.56> | | <1.79> | | <1.81> | | <1.17> | | <1.80> | | <1.06> | | <0.52> | | <-0.29>* | | <0.22> | | <0.33> | |
| 理科 | | | | | | | | | 3.08 | 4.28 | | | | | 3.21 | 3.26 | | | | | 1.21 | 1.23 |
| | | | | | | | | | <1.20> | | | | | | <0.05> | | | | | | <0.02> | |
| 国語 A | 3.52 | 3.29 | 3.77 | 3.57 | 3.30 | 3.27 | 2.70 | 2.60 | 3.53 | 3.98 | 2.41 | 2.54 | 3.10 | 3.24 | 2.57 | 2.40 | 2.05 | 1.92 | 2.43 | 2.01 | 3.15 | 2.89 |
| | <-0.23>* | | <-0.20>* | | <-0.03>* | | <-0.10>* | | <0.45> | | <0.13> | | <0.14> | | <-0.17>* | | <-0.13>* | | <-0.42>* | | <-0.26>* | |
| 国語 B | 5.17 | 5.11 | 8.65 | 8.83 | 5.60 | 5.79 | 6.80 | 6.80 | 4.81 | 5.41 | 2.83 | 2.87 | 3.50 | 3.84 | 2.23 | 2.29 | 4.39 | 4.46 | 3.80 | 3.72 | 3.01 | 3.01 |
| | <-0.06>* | | <0.18> | | <0.19> | | <0.00> | | <0.60> | | <0.04> | | <0.34> | | <0.06> | | <0.07> | | <-0.08>* | | <0.00> | |
| 数学 A | 4.05 | 3.68 | 6.64 | 6.15 | 5.10 | 4.79 | 6.27 | 5.90 | 2.65 | 2.96 | 5.31 | 5.46 | 4.30 | 4.32 | 3.72 | 3.24 | 6.30 | 5.62 | 6.25 | 5.39 | 3.28 | 2.84 |
| | <-0.37>* | | <-0.49>* | | <-0.31>* | | <-0.37>* | | <0.31> | | <0.15> | | <0.02> | | <-0.48>* | | <-0.68>* | | <-0.86>* | | <-0.44>* | |
| 数学 B | 14.44 | 13.98 | 13.45 | 12.75 | 9.70 | 9.74 | 19.30 | 19.50 | 13.08 | 13.95 | 16.71 | 18.09 | 10.90 | 11.41 | 15.34 | 14.85 | 14.69 | 13.95 | 11.71 | 10.95 | 12.61 | 11.55 |
| | <-0.46>* | | <-0.70>* | | <0.04> | | <0.20> | | <0.87> | | <1.38> | | <0.51> | | <-0.49>* | | <-0.74>* | | <-0.76>* | | <-1.06>* | |
| 理科 | | | | | | | | | 9.39 | 9.85 | | | | | 6.98 | 6.70 | | | | | 5.04 | 4.96 |
| | | | | | | | | | <0.46> | | | | | | <-0.28>* | | | | | | <-0.08>* | |

平成 30 年度全国学力・学習状況調査結果 分析報告書

| | |
|-----|--------------------------------------|
| 発行日 | 平成 30 年 11 月 |
| 発行者 | 三重県教育委員会 〒514-8570 三重県津市広明町 13 番地 |